

相馬市教育要覧

令和8年度

相馬市の教育



(相馬・新地地区小・中学校音楽祭の様子)

相馬市教育委員会

	ページ		ページ
第1 相馬市の概況		第5 スポーツ	
1 沿革	- 1 -	1 スポーツの努力目標・事業計画	- 49 -
2 位置・地勢	- 1 -	2 各スポーツ施設	
3 地目別面積	- 2 -	1. スポーツアリーナそうま	- 50 -
4 人口及び年齢構成	- 2 -	2. 相馬市民プール	- 54 -
第2 教育行政		3. 黒木多目的広場	- 54 -
1 教育委員・教育長	- 4 -	4. 松川浦スポーツセンター	- 55 -
2 相馬市教育振興基本計画2023		5. 角田公園テニスコート	- 57 -
令和5年度～令和9年度（ダイジェスト）	- 4 -	6. 長友グラウンド	- 58 -
3 教育委員会組織図	- 8 -	7. 二の丸球場	- 58 -
4 教育委員会関係予算概要	- 9 -	8. 相馬光陽パークゴルフ場	- 58 -
第3 生涯学習		9. 相馬光陽ソフトボール場	- 59 -
1 生涯学習の努力目標・事業計画	- 11 -	10. 相馬こどもドーム	- 59 -
2 生涯学習・社会教育		11. 相馬光陽サッカー場	- 60 -
1. 相馬市公民館	- 13 -	12. 福島県相馬港庭球場	- 61 -
1-(1)中央公民館	- 15 -	13. 相馬市尾浜ビーチバレーボール場	- 62 -
1-(2)東部公民館	- 18 -	14. その他のスポーツ施設附属設備	
1-(3)大野公民館	- 20 -	使用料	- 62 -
1-(4)飯豊公民館	- 22 -	15. 学校開放	- 63 -
1-(5)八幡公民館	- 24 -	16. パークゴルフ入場者の推移	- 64 -
1-(6)山上公民館	- 26 -	第6 学校教育	
1-(7)日立木公民館	- 28 -	1 学校教育の重点目標・努力目標	- 66 -
1-(8)磯部公民館	- 30 -	2 市内学校及び幼稚園・保育園等概要	
1-(9)玉野公民館	- 32 -	1. 市立幼・小・中学校別学級数及び	
2. 相馬市図書館	- 34 -	児童・生徒数の推移	- 71 -
3. 相馬市生涯学習会館	- 39 -	2. 市内小・中学校概要	- 72 -
4. 相馬市LVMH子どもアート・メゾン	- 39 -	3. 幼稚園・保育園・高校・専修学校	
第4 文化		概要	- 74 -
1 文化振興の努力目標・事業計画	- 40 -	3 学校施設等の耐震診断結果と対応	- 76 -
2 国指定文化財	- 41 -	4 相馬市教育研究実践センター	- 78 -
3 登録有形文化財	- 41 -	第7 関係団体	
4 県指定文化財	- 41 -	1 文化関係団体	- 79 -
5 市指定文化財		2 相馬市スポーツ協会	- 80 -
(1)有形文化財	- 41 -	3 相馬市レクリエーション協会	- 81 -
(2)有形民俗文化財	- 42 -	4 相馬市スポーツ少年団	- 82 -
(3)天然記念物	- 42 -	第8 参考	
(4)史跡	- 43 -	1 歴代教育委員	- 84 -
6 文化施設		2 相馬市の教育史	- 88 -
1. 相馬市民会館	- 44 -		
2. 相馬市歴史資料収蔵館	- 47 -		
3. 相馬市郷土蔵	- 47 -		
4. 相馬市民ギャラリー	- 48 -		

第1 相馬市の概況



（雷神社での宇多郷神楽奉納の様子）

第 1 相馬市の概況

1 沿 革

本市の基礎となる城下町を築いた相馬氏は、平将門を祖とする関東の名族であり、源頼朝の奥州平定に従軍し、その功によって奥州行方郡の地を与えられ、奥州相馬氏成立の起因となりました。鎌倉時代の末、下総国より奥州へ移住した相馬氏は、南北朝の動乱期を経て、この地に領主権を確立した後、明治に至るまでその勢力を維持し、伝統と個性ある文化を培ってきました。

江戸時代初期の慶長16年（1611年）、相馬氏の本拠が宇多郡中村（相馬市）に移され、家臣の城下集住が行われて、近世城下町が形成されました。

相馬中村藩は、江戸時代後期、興国安民の法「御仕法」を採用し推進することによって、東北諸藩を襲った天明・天保の大飢饉の打撃から藩財政を立て直し、藩勢を復興しました。

「御仕法」の原理は、至誠・勤労・分度・推譲という基本理念を中心思想として、経済の復興と安定、そして民情を豊かにするというものであり、その精神は市民憲章にもうたわれており、今なお市民の心の支えとして生きています。

昭和29年、中村町、大野村、飯豊村、八幡村、山上村、玉野村、日立木村、磯部村の1町7村が合併して、相馬市制の施行に至っています。

現在の本市は、物流拠点である重要港湾相馬港や相馬中核工業団地の整備にともない、企業立地が進み、雇用の創出をはじめとする様々な経済活性化効果を地域に与えています。

また、首都圏や仙台市へ短時間でアクセスできる常磐自動車道が全線開通し、さらに常磐自動車道と東北自動車道を結び、本市と秋田県横手市を結ぶ東北中央自動車道も山形・秋田県境付近の3区間を残してほぼ開通したことで、物流や人的交流、広域観光などが活発になっています。

このように本市は、福島県北部沿岸地域において、産業・物流・歴史・文化の中心的な役割を担う地域のひとつです。

2 位置・地勢

本市は、福島県の東北端に位置し、総面積は、197.48km²（令和8年4月1日変更）で福島県の約1.4%を占めています。

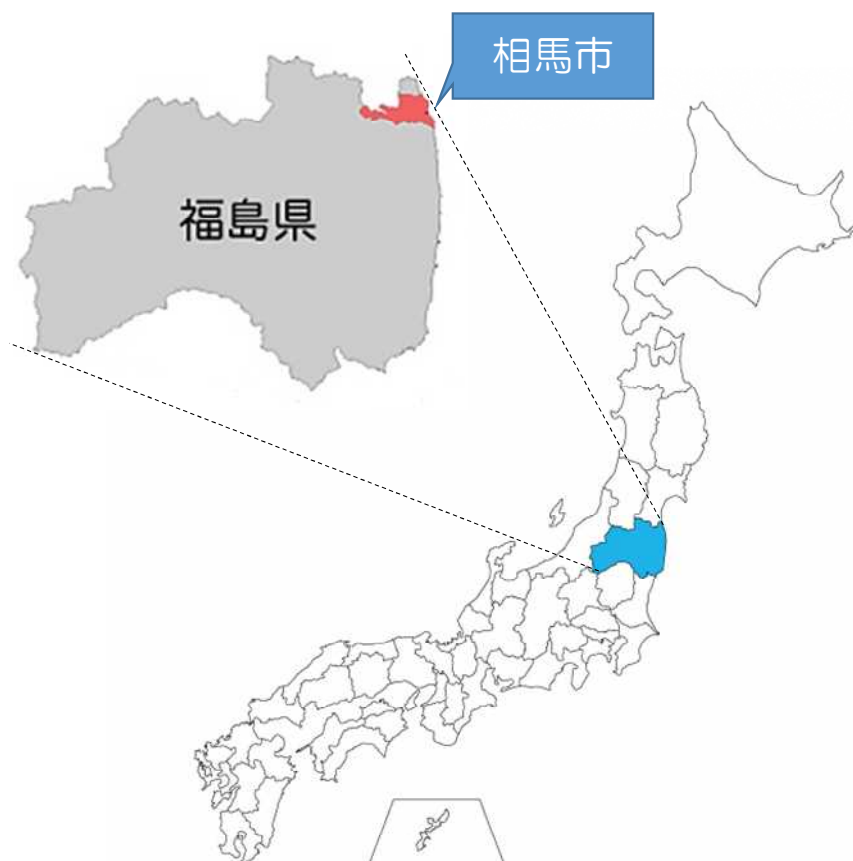
市の南北を常磐自動車道、国道6号線、JR常磐線が通り、東西を東北中央自動車道、国道113号線、国道115号線が通っています。

本市は、西部に阿武隈山系の山地・丘陵地を、中部・東部に平坦地と太平洋を配した「西高東低」の地勢を形成し、この平坦地には、北から地蔵川、小泉川、宇多川、梅川、日下石川の中小河川が東流し、太平洋及び内海の松川浦に注いでいます。

南部には、標高50～70mの丘陵地が海岸に向け扇状に展開し、海岸段丘を形成、その東端は侵食されて海蝕崖となっています。海岸線の出入りは少なく、平坦部では松川浦の砂州が弧状の砂浜として発達し、南部の海岸と対照的な景観を見せています。

このように、海、川、山と多様な自然環境を有し、海洋性気候により、東北地方の中では比較的温暖な地域であり、降雪も少なく年間平均気温も14.3℃（令和7年）と、全般的に快適な居住環境にあります。

(相馬市の位置)



3 地目別面積

(令和8年1月1日現在 / 単位:k m²)

地 目	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他	計
面 積	29.65	10.02	13.08	3.23	80.56	5.92	25.38	29.95	197.79

固定資産税概要調書

4 人口及び年齢構成

(令和8年4月30日現在 / 単位:人、世帯)

年齢層	令和8年(2026年) 住基人口			令和2年 (2020年)	平成27年 (2015年)	平成22年 (2010年)	平成17年 (2005年)
	男	女	計				
0歳～5歳	467	448	915	1,477	1,859	1,905	2,190
6歳～18歳	1,852	1,699	3,551	4,006	4,461	4,824	5,224
19歳～64歳	8,640	7,541	16,181	18,057	21,001	21,290	21,975
65歳以上	4,722	6,022	10,744	11,325	11,235	9,798	9,221
合 計	15,681	15,710	31,391	34,865	38,556	37,817	38,630
世帯数	14,278			13,875	15,209	13,227	12,594

令和2年、平成27年、平成22年、平成17年は国勢調査の実施年

第2 教育行政



(まちづくり出前講座 図書館見学の様子)

第2 教育行政

1 教育委員・教育長

(令和8年7月1日現在)

職 名	氏 名	委 員 任 期
教 育 長	福 地 裕 之	R8. 1. 5 ～ R11. 1. 4
教育長職務代理者	宗 形 明 子	R4. 10. 1 ～ R8. 9. 30
委 員	菅 野 明 彦	R5. 10. 1 ～ R9. 9. 30
委 員	森 陽 子	R7. 10. 31 ～ R11. 10. 30
委 員	関 根 進	R6. 7. 1 ～ R10. 6. 30

2 相馬市教育振興基本計画2023

令和5年度～令和9年度（ダイジェスト）

計画策定の趣旨

本市は、平成29年2月に目標とすべきまちの将来像を「たくましく。地域、暮らしをともに創り、誇りをもてる相馬市へ」とした『相馬市総合計画 相馬市マスタープラン2017』（以下、『相馬市マスタープラン2017』という。）を策定し、総合的、計画的にまちづくりを進めています。

これまで、読解力の向上のため、RST（リーディングスキルテスト）を活用した授業改善、中村第二中学校校舎改築や日立木小学校校舎長寿命化改良事業による老朽化校舎の解消、小・中学校の給食無料化による地元産食材の利用と食育の推進、生涯学習の拠点である各地区公民館での特色ある公民館活動、通史編・資料編合わせて全9巻10冊からなる『相馬市史』の編さん、各種大型スポーツ施設を活用した生涯スポーツの振興など各種施策に取り組むとともに、令和元年10月の集中豪雨、令和3年2月と令和4年3月の震度6強の地震と度重なる自然災害に加え、世界中に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症への対応を行ってきました。

近年、人口減少・高齢化の進展、人生百年時代の到来、AI等のICT技術の革新、さらに予期せぬ自然災害の発生など、取り巻く環境が激しく変化しています。そのような中で市は、市民の学びを確保し、市民一人一人が予測困難な変化の激しい社会を生き抜いていくための資質・能力を確実に身につけ、将来ともに充実して暮らすことができるような対応が求められています。

このような状況を踏まえ、令和5年度から令和9年度までの5年間に重点的に取り組むべき施策を明らかにし、本市教育の振興を図るため『相馬市教育振興基本計画2023』を策定しました。

基本理念

「地域づくりを支え、心豊かに力強く生き抜くひとづくり」

基本目標

- 1 生涯学習
 - (1) 生涯学習推進体制の充実
 - (2) 青少年健全育成活動の充実
 - (3) 男女共同参画社会づくりの推進
 - (4) ボランティア活動の充実
 - (5) 地域間交流の推進
 - (6) 公民館活動の推進
 - (7) 図書館機能の充実
- 2 文化
 - (1) 芸術文化振興策の充実
 - (2) 地域遺産の記録・配信
 - (3) 文化財の拡充と活用
 - (4) 身近な文化振興の拠点としての市民会館
- 3 スポーツ
 - (1) スポーツ・レクリエーション活動の充実
 - (2) スポーツを支える人材の育成と確保
 - (3) スポーツ施設の維持管理と利活用の促進
- 4 学校教育
 - (1) 健全な心身の基礎を培う幼児教育の充実
 - (2) 生き抜く力を育む学校教育の充実
 - (3) 学校施設の復旧と教育環境の適正管理

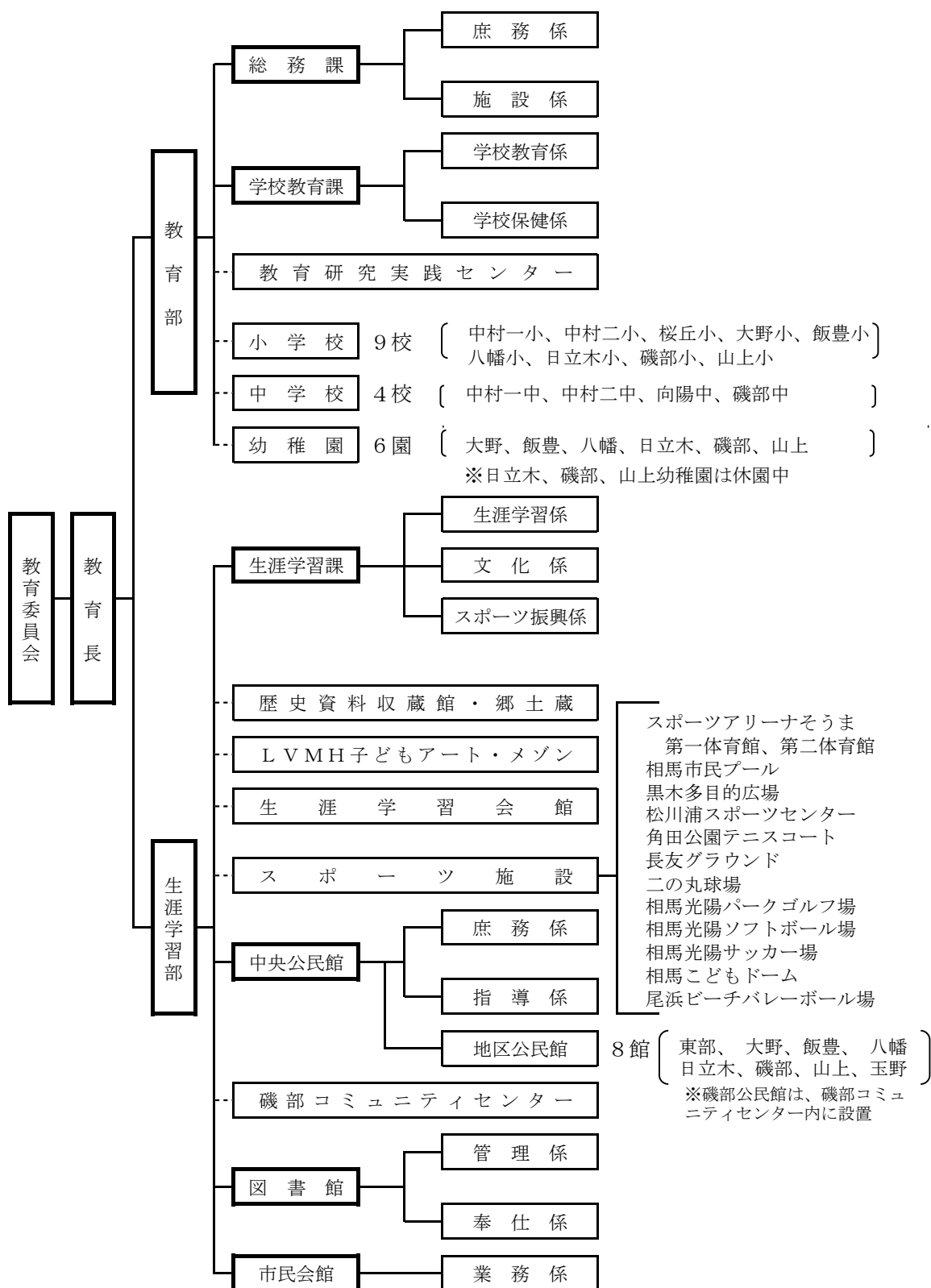
基本計画

部門	基本目標	施策名
生涯学習	(1) 生涯学習推進体制の充実	① 市を挙げての生涯学習推進体制の整備充実 ② 生涯学習意識の啓発と多様な学習内容の企画運営 ③ 生涯学習事業の拡充
	(2) 青少年の健全育成活動の充実	① 非行防止活動の充実 ② 豊かな人間性の育成 ③ 家庭教育の充実 ④ 青少年を育む地域活動の推進
	(3) 男女共同参画社会づくりの推進	① 男女平等・人権尊重の意識づくりの推進 ② 男女共同参画の拡大 ③ 社会環境の整備
	(4) ボランティア活動の拡充	① ボランティア活動の情報提供の充実 ② 人材登録の推進と活動場所の提供 ③ ボランティア活動の支援
	(5) 地域間交流の推進	① 姉妹都市との交流の推進
	(6) 公民館活動の推進	① 地域づくりを目指した公民館活動の推進 ② 地域教育力の向上を目指した学習機会の拡充と情報発信 ③ 特色ある公民館活動の推進 ④ 子ども科学フェスティバルの開催
	(7) 図書館機能の充実	① 開かれた図書館づくりの推進 ② 図書資料等の充実と読書活動の推進 ③ 点字図書及び音声資料の収集・保存と利用者サービスの充実 ④ 他の公共機関との連携・相互協力の推進
文化	(1) 芸術文化振興策の充実	① 芸術文化活動の促進
	(2) 地域遺産の記録・配信	① 歴史的伝統文化の保存伝承
	(3) 文化財の拡充と活用	① 各種調査資料の展示・公開
	(4) 身近な文化振興の拠点としての市民会館	① 市民会館の維持管理 ② 市民会館の利活用促進

部門	基本目標	施策名
スポーツ	(1) スポーツ・レクリエーション活動の充実	① 生涯スポーツの振興 ② スポーツ少年団の組織強化と活動支援
	(2) スポーツを支える人材の育成と確保	① 指導者・コーチなどの人材育成・確保
	(3) スポーツ施設の維持管理と利活用の促進	① スポーツ施設の維持管理 ② スポーツ施設の利活用促進
学校教育	(1) 健全な心身の基礎を培う幼児教育の充実	① 魅力ある幼稚園運営と家庭・地域との連携協力の推進 ② 幼児教育の質的向上
	(2) 生き抜く力を育む学校教育の充実	① 確かな学力の育成 ② 豊かな心の育成と生徒指導の充実 ③ 体力の向上と健康課題の改善の推進 ④ 特別支援教育の充実 ⑤ 食育（学校給食）の充実 ⑥ 学校保健・安全の充実 ⑦ 開かれた学校づくりの推進と家庭との連携 ⑧ 地域社会との連携 ⑨ 国際理解教育の充実 ⑩ ICTの活用による情報教育の充実と教職員の業務支援
	(3) 学校施設の復旧と教育環境の適正管理	① 学校施設の災害復旧 ② 学校施設の安全性の確保と機能性の維持 ③ 学校施設等の放射線量測定と測定結果の公表

3 教育委員会組織図

(令和8年4月1日)



4 教育委員会関係予算概要

1. 歳入

(単位：千円)

款・項	目	節	令和8年度 当初	令和7年度 当初	対前年度 増減
1 2. 1 負担金	6 教育費負担金	1 教育費負担金	1,162	1,196	△ 34
1 3. 1 使用料	7 教育使用料	1 総務使用料	391	440	△ 49
		2 幼稚園授業料	2	2	0
		3 市民会館使用料	1,959	1,593	366
		4 社会教育使用料	176	141	35
		5 体育施設使用料	6,707	6,138	569
	計		9,235	8,314	921
1 4. 2 国庫補助金	6 教育費国庫補助金	1 小学校費補助金	22,421	27,627	△ 5,206
		2 中学校費補助金	578	38,900	△ 38,322
	計		22,999	66,527	△ 43,528
1 5. 2 県補助金	6 教育費県補助金	1 社会教育費補助金	6,955	7,019	△ 64
1 5. 3 県委託金	6 教育費委託金	1 教育総務費委託金	2,911	2,862	49
		2 社会教育費委託金	9,219	9,843	△ 624
	計		12,130	12,705	△ 575
1 6. 1 財産運用収入	2 利子及び配当金	1 利子	6	6	0
	計		6	6	0
1 6. 2 財産売払収入	2 物品売払収入	1 物品売払収入	546	510	36
1 7. 1 寄附金	5 教育寄附金	1 教育寄附金	5	5	0
1 8. 2 基金繰入金	7 教育復興子育て基金 繰入金	1 教育復興子育て基金 繰入金	7,509	7,725	△ 216
	8 子育て食育支援基金 繰入金	1 子育て食育支援基金 繰入金	182,991	174,555	8,436
	計		190,500	182,280	8,220
2 0. 3 貸付金元利収入	4 奨学資金貸付収入	1 奨学資金貸付収入	700	1,080	△ 380
2 0. 5 雑入	3 雑入	7 教育費雑入	29,140	27,746	1,394
合 計			273,378	307,388	△ 34,010

2. 歳出

(款) 10 教育費

(単位：千円)

項	目	令和8年度 当初	令和7年度 当初	対前年度 増減
1 教育総務費	1 教育委員会費	1,904	1,879	25
	2 事務局費	161,253	159,730	1,523
	3 教育指導費	270,080	350,706	△ 80,626
	4 教育研究実践センター費	17,398	17,158	240
	計	450,635	529,473	△ 78,838
2 小学校費	1 学校管理費	213,428	191,070	22,358
	2 教育振興費	20,730	18,782	1,948
	計	234,158	209,852	24,306
3 中学校費	1 学校管理費	74,288	91,384	△ 17,096
	2 教育振興費	24,422	23,021	1,401
	計	98,710	114,405	△ 15,695
4 幼稚園費	1 幼稚園管理費	71,703	82,883	△ 11,180
	2 教育振興費	30,035	77,858	△ 47,823
	計	101,738	160,741	△ 59,003
5 社会教育費	1 社会教育総務費	88,940	79,054	9,886
	2 公民館費	139,050	145,235	△ 6,185
	3 図書館費	136,462	136,535	△ 73
	4 市民会館費	89,594	69,944	19,650
	5 歴史資料収蔵館費	18,019	20,281	△ 2,262
	6 文化振興費	16,188	21,749	△ 5,561
	7 女性青少年費	2,228	4,432	△ 2,204
	8 生涯学習会館費	2,422	2,508	△ 86
	9 子どもアート・メゾン費	5,025	4,703	322
	計	497,928	484,441	13,487
6 保健体育費	1 保健体育総務費	46,776	49,815	△ 3,039
	2 体育振興費	9,605	9,119	486
	3 体育施設費	510,115	306,135	203,980
	4 学校保健費	28,889	27,523	1,366
	5 学校給食費	461,852	447,276	14,576
	計	1,057,237	839,868	217,369
合	計	2,440,406	2,338,780	101,626

第3 生涯学習



(東部公民館 親子そば打ち講座の様子)

第3 生涯学習

1 生涯学習の努力目標・事業計画

1. 努力目標

- (1) 市民一人ひとりが自分に適した方法により学習することができ、その成果が適正に評価されるような「生涯学習社会」の実現を目指すため、学習機会や情報提供の充実に努める。
- (2) 家庭・学校・地域の連携を図り、市民が社会の一員として地域活動に積極的に参加し、生きがいを感じることができる環境づくりに取り組むとともに、子どもたちが安心して成長できる環境づくりに努める。
- (3) 男女共同参画社会構築へ向けて各種啓発行事の開催や情報の提供により、意識の高揚に努める。

2. 事業計画

(1) 生涯学習推進計画の推進

少子・高齢化や高度情報化、核家族化、国際化など様々な要素が絡み合っ社会が大きく変動する中であって、地域の教育力の再生と生涯学習の推進を図るため、生涯学習推進計画の積極的な推進に努める。

(2) 生涯学習事業の充実

市民一人ひとりが生きがいをもって暮らせる地域づくりと、地域の教育力の再生を図るため、多様な学習機会や、学んだことを互いに教えあう交流の場を提供することにより、生涯学習事業の充実に努める。

(3) 生涯学習（社会教育）施設の整備と活用

公民館、図書館、生涯学習会館、LVMH子どもアート・メゾン等の生涯学習施設が、生涯学習・社会教育の拠点として、市民により親しまれ活用される施設となるよう整備・充実に努める。

(4) 生涯学習情報の提供

適切な生涯学習情報を市民に提供するために、常に市民ニーズを捉え、広報紙等の基本的媒体による情報提供はもとより、相馬市ホームページに常に新しい情報の掲載に努める。

(5) 男女共同参画の推進

少子・高齢化の進展、国際化等の社会経済情勢の急激な変化に対応し、男女があらゆる分野の活動に参画し、共に責任を担う男女共同参画社会の形成を図るため、男女平等・人権尊重の意識づくりや意思決定過程への女性の参画の促進に努める。

(6)生涯学習関係団体の育成と活動支援

生涯学習活動に対する市民のニーズを捉え、生涯学習関係団体の育成に努める。

また、既成の団体の活動を支援し、市内団体の活性化に努める。

(7)家庭教育・学校教育・社会教育との連携（学社融合）

家庭の教育力、地域の教育力が低下していることが指摘されているが、家庭・地域の教育力の再生を促し、学校教育の特性を活かし、人づくりの視点から連携強化を図り、横断的・循環的なシステムの構築を模索し、相互補完の学習環境づくりに努める。

(8)姉妹都市等交流事業の充実

姉妹都市間で、互いの市町の気候・風土・慣習等の違いを理解しながら、友好親善を深めてきた実績を踏まえ、姉妹都市はもとより友好都市等との親睦を深めるため、事業内容や実施時期などを検討しながら交流の拡充に努める。

2 生涯学習・社会教育

1. 相馬市公民館

・設置状況

中央公民館・東部公民館・大野公民館・飯豊公民館・八幡公民館・山上公民館・日立木公民館
磯部公民館・玉野公民館

(1) 努力目標

- ①安心して利用できる生涯学習の拠点として、社会教育指導員を中心に教育の向上、生活文化の振興、健康の増進に努め、市民の学習ニーズを捉え、多様化する社会に対応した学習の機会を提供するなど、地域に親しまれる公民館の活動と運営を推進します。
- ②市民の高齢化が進むなか、地域に引き継がれてきた伝統芸能・文化の保護や青少年健全育成の活動を進めることにより、地域を担う人材の育成を図り、健康で明るく、いきがいに満ちた地域づくりができる地域創生の拠点となるような公民館を目指します。

(2) 事業計画

①地域づくりを目指した公民館活動の推進

ア 地域連携・学習支援の推進

地域と連携し、子どもの学びサポート事業を活用した学習支援を推進します。

イ 講師の把握と活用

地域における講師の把握に努め、積極的に活用し、多様な学習機会を提供します。

ウ 学習発表会の開催

学習発表の機会を提供し、学習意欲の促進を図ります。

エ 交通手段のない方への支援

公民館で開催する企画講座に参加を希望する高齢者などに対して、送迎を行います。

オ 生涯学習施設等との連携

歴史資料収蔵館、図書館等の社会教育施設との連携と併せ、市民会館やこどもドーム、文化施設等の生涯学習施設を活用した公民館活動を推進します。

②地域教育力の向上を目指した学習機会の拡充と情報発信

ア 家庭教育講座、仲間づくりや体験学習などの学習機会を提供します。

イ 公民館だよりやSNS等を活用し、積極的な情報発信に努めます。

③特色ある公民館活動の推進

地域住民が主体となって運営する各種教室の支援、地域住民の学習ニーズに応じて公民館が主催する企画講座の実施に努めるとともに、地区ごとに培われてきた特色ある事業を継続・発展させることにより、各地区のコミュニティ形成を支援します。

④子ども科学フェスティバルの開催

次世代を担う子どもたちに科学の楽しさや魅力を伝え、科学技術に対して興味、関心を高める機会を提供するため、市内外の多くの団体の協力を得ながら子ども科学フェスティバルを開催します。

(3) 全公民館教室等（教室数、延べ開催回数、延べ参加人数）

	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	教室数	延べ開催回数	延べ参加人数	教室数	延べ開催回数	延べ参加人数	教室数	延べ開催回数	延べ参加人数
教養コース	37	70	912	34	118	1,354	30	170	1,796
生きがい ・趣味コース	84	952	7,058	76	1,015	7,506	77	1,338	9,596
健康づくり ・社会体育コース	62	1,630	19,006	69	2,090	19,960	64	2,168	21,543
・社会体育事業 (各大会)	5	1	84	3	1	92	5	3	160
学習発表会等	0	0	0	2	2	2,040	3	3	2,360
企画講座	17	32	237	32	71	846	45	91	928
計	205	2,685	27,297	216	3,297	31,798	224	3,773	36,383

	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	教室数	延べ開催回数	延べ参加人数	教室数	延べ開催回数	延べ参加人数	教室数	延べ開催回数	延べ参加人数
教養コース	22	168	1,670	9	83	987	20	98	1,372
生きがい ・趣味コース	73	1,349	10,985	66	1,292	10,471	61	1,365	11,167
健康づくり ・社会体育コース	60	2,181	22,261	60	2,030	21,513	58	2,277	23,876
・社会体育事業 (各大会)	4	4	300	3	3	567	3	3	333
学習発表会等	13	4	1,225	20	6	1,476	15	14	2,137
企画講座	106	323	3,566	112	283	3,350	162	377	4,626
計	278	4,029	40,007	270	3,697	38,364	319	4,134	43,511

(4) 公民館利用状況

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	利用回数	延べ利用人数	利用回数	延べ利用人数	利用回数	延べ利用人数
学級教室関係	2,365	20,868	2,679	22,675	3,128	24,925
行政関係	295	3,508	336	4,667	420	6,352
各種団体関係	369	3,181	396	3,738	441	3,678
その他	252	1,447	381	2,189	203	1,471
計	3,281	29,004	3,792	33,269	4,192	36,426

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	利用回数	延べ利用人数	利用回数	延べ利用人数	利用回数	延べ利用人数
学級教室関係	3,367	29,351	3,192	28,094	3,260	30,484
行政関係	392	5,815	363	7,086	397	6,466
各種団体関係	563	5,693	566	8,545	414	5,078
その他	373	3,009	153	1,430	1,063	10,452
計	4,695	43,868	4,274	45,155	5,134	52,480

1－（１）中央公民館

施設内容 〒976-0042 相馬市中村字北町55番地1 電話：37-2198

- ・延床面積 472.07㎡（1階 233.58㎡ 2階 238.49㎡）
- ・建築構造 鉄骨造 2階建
- ・建築年月 平成27年2月

（１）事業内容

① 企画講座（13講座）

講座名	主な対象者	定員	期間	内容
家庭教育講座	成人	30	年4回	保護者向けの講義
バリスタ講座	成人	8	年6回	実習
相馬のお魚料理講座	成人	8	年3回	実習
お菓子・パン作り講座	成人	8	年4回	実習
フラワーアレンジ・寄せ植え講座	成人	20	年4回	実習
キャンドル作り講座	成人	15	年1回	実習
健康講座	成人	30	年3回	講義、実技など
歴史講座	成人	30	年3回	講義、関連施設見学
報徳講座	成人	30	年3回	講義、関連施設見学
自然講座	成人	30	年3回	講義、関連施設見学
中央こども教室	小学生	20	年12回	工作、調理、体験
施設見学体験講座	成人	20	年2回	市内スポーツ・文化施設見学体験
街中チャレンジ講座	成人・未成年	20	年2回	地域コミュニティづくり活動

② 教養コース（4教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
女性の学びカフェ教室	女性	20	4月～3月	教養、社会・生活への理解を深める
中央スクール「わの会」	高齢者	20		教養、健康づくり
こどもいけばな教室	未成年	15		実技・実習
こどもわくわくクッキング教室	未成年	12		実技・実習

③ いきがづくりコース（１１教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
絵 手 紙 教 室	成人	２０	４月～３月	講義・実習
手 編 み 教 室		３０		
陶 芸 教 室（火 曜）		１６		
陶 芸 教 室（金 曜）		１５		
書 道 教 室		１５		
オ カ リ ナ 教 室		３０		
ク レ イ ア ー ト 教 室		１０		
パ ッ チ ワ ー ク キ ル ト 教 室		２０		
メ ロ デ ィ ー い け ば な 教 室		２０		
民 謡 手 踊 り 教 室		１５		
琴 教 室		１０		

④ 健康づくりコース（１３教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
３ Ｂ 体 操 教 室（昼）	成人	３２	４月～３月	講義・実習
水 曜 ３ Ｂ 体 操 教 室		３２		
気 功 教 室		１５		
社 交 ダ ン ス 教 室		２０		
武 術 太 極 拳 教 室（昼）		３０		
武 術 太 極 拳 教 室（夜）		３０		
太 極 拳 教 室（昼）		３２		
太 極 拳 教 室（夜）		１５		
チ ェ ア ロ ビ ク ス 教 室		２０		
ヨ ガ 教 室（昼）		２５		
ヨ ガ 教 室（夜Ａ）※オンライン含む		３０		
ヨ ガ 教 室（夜Ｂ）※オンライン含む		３０		
ス ト レ ッ チ 体 操 教 室		２０		

⑤ その他

事業名	期間	内容
子 ども 科 学 フ ェ ス テ ィ バ ル	１０月	体験・展示ブース
中 央 公 民 館 学 習 展	１１月	展示・体験・実技発表
地 域 ふ れ あ い 敬 老 会	９月	地区敬老会の開催支援
子 ども の 学 び サ ポ ー ト 事 業	随時	講師派遣の調整
公 民 館 だ よ り の 発 行	４月～３月	公民館事業・活動の広報

(2) 重点事業

① 家庭教育講座の開催

子どもの教育は、学校と家庭が相互連携して行われることが重要であることから、保護者に対する学習活動の場として、家庭教育講座を開催します。

② 学習展の開催

各種教室の活動内容を地区住民に発表することにより、教室生の学習意欲の促進を図るとともに地区住民の交流の場の提供に努めます。

(3) 学校、社会教育団体、地域組織との連携

小・中学校や地域組織と連携し、子どもの学びサポート事業や企画講座の開催に努めます。

1-(2) 東部公民館

施設内容 〒976-0021 相馬市原釜字北高野56番地 電話：38-8105

- ・建築面積 519.91㎡ 延床面積 471.31㎡
- ・建築構造 鉄骨造ガルバリウム鋼板葺 平屋建
- ・建築年月 平成13年11月

(1) 事業内容

① 企画講座（10講座）

講座名	主な対象者	定員	期間	内容
ウォーキング教室	成人	30	5、10月	健康づくり
シニアスポーツ教室	高齢者	30	11月	パークゴルフ大会
骨太けんこう体操教室& オレンジカフェ	成人	20	4月～3月 毎月実施	体操、コミュニケーション
親子教室	小中学生 成人	20	夏・冬休み	教養、体験、学力向上等
シルバー教室	高齢者	20	12月	教養、健康づくり講座等
女性教室	女性	20	9月	教養、体験学習等
美術鑑賞教室	成人	30	美術展期間	教養（美術館企画展の鑑賞）
美術教室	成人	20	5月～3月 複数回実施	教養（絵画、彫刻、鑑賞等）
お菓子づくり教室	成人	8	6月～複数回	練習・実技
健康マージャン教室	成人	22	5月～3月 毎月1回	初心者対象。講習、実技

② いきがづくりコース（7教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
民謡教室	成人	15	5月～3月 毎月実施	練習・実技、発表等
歌謡教室		25		
川柳教室		20		
パッチワーク教室		10		
のびのび学級		30		
料理教室		20	4・8月除く 毎月1回	練習、実技、会食
そば打ち教室		20	毎月1回	練習、実技

③ 健康づくりコース（7教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
バドミントン教室	成人	35	5月～3月 毎月実施	練習・実技、試合等
パークゴルフ教室		65		
卓球教室		30		
吹矢教室		20		
3B体操教室		15		
チェアロビクス教室		20		
盆ダンスクラブ		15		

④ その他

事業名	期間	内容
公民館学習発表会	10月	学習発表・作品展示・交流
敬老会事業		地区敬老会の開催（中部地区（一部除く）との合同開催）
公民館だより発行	毎月1回	広報（各戸配布）
地域市民活動等	通年	地区環境整備事業支援、ボランティア活動支援
各種団体の育成・支援		地区区長会、地区老人クラブ協議会等の支援、広報・助言等

（2）重点事業

① 健康寿命延伸の取り組み

健康志向の時代のなか、健康増進を目的とする教室の充実を図ります。介護・認知症予防や症状の改善となるよう運動習慣を啓発し、仲間づくりを通じて楽しみながら継続できるよう、環境を整えます。企画講座においては、交通弱者の方への送迎も継続して行います。

② 地域コミュニティの再生

東日本大震災の津波被害地域のため、一行政区が無くなり、高台の住民だけ残され行政区内人口が極端に減り、移転先では新たなコミュニティの再編などで地域力が弱体化しました。公民館が中心となり、地区区長会や地区老人会、地区の小中学校と連携し地域活性化に取り組めます。また、公民館教室生が学んだ学習の成果の活用場として、学習発表会や敬老会の開催、ボランティア（社会貢献活動）を通じて地域住民の繋がりに結びつく活動を行います。

（3）学校、社会教育団体、地域組織との連携

① 学校や東部子ども公民館、地域との連携（子育て、児童、青少年事業）

ア 中村第二小学校、第二中学校、東部子ども公民館（児童館）、民生委員及び地域の方々等と連携、協力しながら、子供たちの体験学習等の支援を行います。

イ 中村第二小学校、第二中学校、地域と連携しながら、学区内の教育力向上に努めていきます。

② 地域、各種団体等との連携

ア 地元行政区を中心に、地区老人クラブの協力をいただき、花苗を道路等の花壇に植栽し、地域の環境美化に取り組めます。

イ 「公民館だより」で地域の行事等の情報を発信しながら地域の活性化に取り組めます。

1-(3) 大野公民館

施設内容 〒976-0006 相馬市石上字鵜沢326番地の1 電話：35-2326

- ・ 建築面積 505.25㎡ 延床面積 450.00㎡
- ・ 建築構造 鉄骨造長尺亜鉛メッキ鋼板葺 平屋建
- ・ 建築年月 平成5年2月

(1) 事業内容

① 企画講座（6講座）

講座名	主な対象者	定員	期間	内容
サマースクール	小学生	20	年1回	各種体験学習
スマートフォン講座	成人	8	年6回	基本操作など
相馬のお魚料理講座	成人	16	年4回	実習
お菓子づくり講座	親子	8組16	年1回	親子（家族）での実習
そば打ち講座	成人	12	年3回各3回	実習
味噌造り講座	成人	10	年2回	実習

② 教養コース（1教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
豊 齢 者 教 室	高齢者	60	5月～3月	一般教養、健康保持・世代間交流を深める

③ いきがいくくりコース（13教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
生 花 教 室	成人	20	5月～3月	講義・実習・発表
一 閑 張 り 教 室		15		実習・発表
歌 声 教 室		30		練習・発表
木 彫 り 教 室		12		講義・実習・発表
習 字 教 室		20		講義・実習・発表
手 芸 教 室		10		実習・発表
ハ ー モ ニ カ 教 室		20		練習・発表
パ ン 教 室		12		講義・実習
フラワーアレンジメント教室		18		講義・実習・発表
中高年のやさしいピアノ教室		15		練習・発表
料 理 教 室		20		講義・実習
お 菓 子 教 室		16		講義・実習
女 声 コ ー ラ ス 教 室	成人女性	30		練習・発表

④ 健康づくりコース（８教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
ウォーキング教室	成人	30	5月～3月	実習
3B体操教室		20		練習・発表
社交ダンス教室		30		練習・発表
太極拳教室		30		練習・発表
パークゴルフ教室		75		練習・競技
ピンポン教室		30		練習
さわやか教室		20		練習・発表
よさこい教室	親子等	30		練習・発表

⑤ その他

事業名	期間	内容
生き生きふれあいまつり	11月	学習発表・作品展示・交流
公民館だより発行	毎月1回	広報(各戸配布)
大野地区対抗パークゴルフ大会	10月	住民の健康増進・交流
ふれあい敬老会	9月	演芸会（大野地区の団体）
各種団体の育成・支援	通年	指導・助言

(2) 重点事業

①常設展示コーナー（大野ギャラリー）運営事業等

公民館教室の創作活動の活性化と、公民館利用者の創作活動に取り組む契機とするため、常設の大野公民館教室作品展示コーナーの充実に努めます。また、公民館まつり、はまなす館まつり、図書館のプチミュージーコーナー等での展示の機会を設けます。

②健康づくり事業

地域住民の健康保持・増進に資するため、大野行政区対抗のパークゴルフ大会、老人クラブを対象にグラウンドゴルフ大会を開催し、健康づくりや地域住民交流の場を提供します。

③サマースクール（全5回）と親子教室（冬休み）の家庭教育事業

小学生を対象に夏休みを利用して体験型講座を開講し、地元企業と連携したキャリア教育、教育支援施設への見学学習、公民館教室生の協力による親子で「お菓子づくり」等を体験し、家族の絆を深め、また世代間の交流を図ります。

(3) 学校、社会教育団体、地域組織との連携

① 学校との連携

小中学生を対象とした公民館主催事業にあたり、企画内容協議、募集協力を依頼するとともに、児童の地域学習(まち探検)や自然学習等の活動支援に努めます。

② 地域の社会団体との連携

・地元行政区長を中心に豊齢者教室生などと一緒に地区内道路の沿線等花を植栽し、地域の環境美化活動を実施します。

・大野地区区長会、民生児童委員協議会、各団体(防犯協会他)と連携し情報の共有に努めます。

1-(4) 飯豊公民館

施設内容 〒976-0035 相馬市程田字明神前142番地の4 電話：35-2409

- ・建築面積 404.00㎡ 延床面積 404.00㎡
- ・建築構造 鉄骨造 平屋建
- ・建築年月 平成6年2月

(1) 事業内容

① 企画講座（10講座）

講座名	主な対象者	定員	期間	内容
芸 術 鑑 賞 講 座	成人	20	年2回	美術館等芸術鑑賞
高 齢 者 講 座	高齢者	50	4月～12月	各種講座・パークゴルフ
ス マ ー ト フ ォ ン 講 座	成人	8	7月～8月	初心者向けの基本操作
ハ ゼ ッ 子 教 室	児童・保護者	30	6月～2月	3～6年生、体験学習等
美 文 字 講 座	成人	20	6月・10月	講義・実習
お 菓 子 作 り 講 座	成人	8	6・11・2月	講義・実習
珈 琲 講 座	成人	8	9月・1月	講義・実習
そ ば 打 ち 講 座	成人	15	11月～12月	講義・実習
お 正 月 生 け 花 講 座	成人	20	12月	講義・実習
ウ ォ ー キ ン グ 講 座	成人	20	年3回	屋外実習

② いきがいつくりコース（8教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
生 け 花 教 室	成人	20	5月～3月	講義・実習
絵 手 紙 教 室		20		
女 声 コ ー ラ ス 教 室		30		
中高年のやさしいピアノ教室		20		
俳 句 教 室		10		
フラワーレッスン教室		20		
民 謡 踊 り 教 室		20		
料 理 教 室		16		

③ 健康づくりコース（9教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
気 功 教 室	成人	20	5月～3月	講義・実習
3 B 体 操 教 室		20		講義・実習
女 子 卓 球 教 室		20		競技
ス ト レ ッ チ ク ラ ブ 教 室		20		講義・実習
パ ー ク ゴ ル フ 教 室		40		競技
ピ ン ポ ン 教 室		20		競技
骨 太 け ん こ う 体 操 教 室		20		実習
ヨ ー ガ A 教 室 （ 午 前 ）		20		講義・実習
ヨ ー ガ B 教 室 （ 午 後 ）		20		講義・実習

④ その他

事業名	期間	内容
公民館まつり（学習発表会）	10月	学習発表・作品展示・住民交流
公 民 館 だ よ り の 発 行	4月～3月	公民館事業・活動の広報（全戸配布）
地 域 ふ れ あ い 敬 老 会	9月	地区敬老会の実施
各 種 団 体 の 育 成 支 援 及 び 協 働	随時	地区内各団体の活動支援・連絡調整

（2）重点事業

① ハゼッ子教室の開催

飯豊小学校3～6年生の児童を対象に「ハゼッ子教室」を開催します。体験学習や集団活動を通じて、学年をこえた協力を学び、豊かな心や社会性を育成できるよう、保護者、高齢者等と協力しながら進めます。

② 公民館まつりの開催

公民館教室生の学習発表会として「公民館まつり」を開催し、各種教室の活動内容を発表するとともに、展示等で公民館活動の情報を提供し、教室生の学習意欲の向上や地区住民の交流を図ります。

（3）学校、社会教育団体、地域組織との連携

① 小学校・幼稚園との連携

飯豊小学校・飯豊幼稚園と連携し、児童の「ハゼッ子教室」への参加や、児童・園児の公民館まつりや地域ふれあい敬老会への参加・作品展示を通じて、地域住民との交流を深めます。

② 地域の社会団体との連携

地区区長会や民生委員協議会をはじめ、老人クラブ等地域組織との連絡連携を密にし、情報を共有して、地域住民が集まる施設、各種団体の活動拠点としての役割を果たしていきます。

1-(5) 八幡公民館

施設内容 〒979-2533 相馬市坪田字北田68番地 電話：35-2408

- ・建築面積 347.90㎡ 延床面積 311.51㎡
- ・建築構造 鉄骨造トタン葺 平屋建
- ・建築年月 昭和60年6月（平成10年4月1日所管換）

(1) 事業内容

① 企画講座（9講座）

講座名	主な対象者	定員	期間	内容
そば打ち講座	成人	10	年8回	実習
お菓子づくり講座	成人、児童・保護者	10	年2回	実習
剪定講座	成人	10	年1回	講義、実習
パン作り講座	成人	6	年1回	実習
ウォーキング講座	成人	30	年2回	屋外実習
珈琲講座	成人	8	年3回	実習
陶芸講座	成人、児童・保護者	10	年1回	実習
ふるさと伝承講座	八幡小児童（6年生）	—	4・5月	相馬盆唄の笛・太鼓・唄の学習
健康料理講座	成人	10	年1回	講義・実習

② いきがづくりコース（8教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
料理教室	成人	10	5月～3月	練習・実技・実習
生花教室		10		
水墨画教室		10		
和布教室		20		
ハーモニカ教室		10		
フルート教室		10		
安来節教室		15		
歌声教室		20		

③ 健康づくりコース（7教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
3 B 体 操 教 室	成人	20	5月～3月 (一部4月より)	練習・実技・実習
パークゴルフ教室		50		
はつらつ健康体操教室		15		
ウォーキング教室		30		
夜の卓球教室		15		
卓球教室		15		
華の道太極拳		15		

④ その他

事業名	期間	内容
地域ふれあい敬老会・公民館まつり	9月	敬老会・学習成果の発表と地域住民との交流
公民館だよりの発行	4月～3月	学習情報の提供
各種団体の育成・支援	通年	連絡・支援

(2) 重点事業

① ふるさと伝承教室

八幡小学校の児童が、相馬盆唄の笛・太鼓・唄を地域の経験者から学び、その成果を春の運動会で披露するため「ふるさと伝承講座」で学習する機会を設けて、ふるさとに伝わる文化を大切にしています。

② ふれあい敬老会と公民館まつり合同開催

各種教室の活動内容を地区住民に発表することにより、教室生の学習意欲の促進を図るとともに、敬老会対象の方々を地区全体でお祝いし、敬老会と公民館まつりを大いに盛り上げていくため合同開催を実施します。

③ 夏休みの流しそうめん大会等イベント・「みどりのふれあい広場」の開催

夏休みの流しそうめん大会や「みどりのふれあい広場」スタッフによる夏休みの勉強会や秋の餅つき大会等のイベントを行い、地域の子どもたちや保護者の方々に参加いただき公民館での世代間交流を図ります。

(3) 学校、社会教育団体、地域組織との連携

- ① 八幡小学校をはじめ、社会教育団体、地域の方々と連携し、企画講座等に関する募集・チラシの配布・集約などの協力をいただきながら開催するとともに、八幡小学校や地域の方々とともに、児童の安全な場を確保しながら、健全な育成を図るよう努めます。（「子ども110番の家」等）
- ② 「公民館だよりの発行」で地域の行事等や公民館活動の情報を発信し地域の活性化を図ります。
- ③ 地元行政区長と連携し、道路沿線の花壇に花苗を植栽し、地域の環境美化に取り組みます。

1-(6)山上公民館

施設内容

〒976-0151 相馬市山上字上ノ台1番地の1 電話：32-5009

- ・建築面積 385.08㎡
- ・延床面積 377.98㎡
- ・建築構造 鉄骨造鋼板葺平屋建
- ・建築年月 平成7年3月

(1) 事業内容

① 企画講座（9講座）

講座名	主な対象者	定員	期間	内容
陶芸教室	児童	20	随時	講義・実習
料理教室	成人	6	随時	講義・実習
コーヒー講座	成人	6	随時	講義・実習
スマホ教室	高齢者	6	随時	使用方法・注意点など
ふるさと教室	成人	20	随時	地区内外の自然・歴史探訪等
里山ハイキング教室	成人	30	4月～11月	実技（山登り・ハイキング）
少年仲間づくり教室	児童	15	随時	体験学習など
歌声喫茶	高齢者	20	随時	実技
教養講座	成人・高齢者	20	随時	講義

② 教養コース（1教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
高齢者教室	高齢者	30	随時	教養講座・研修旅行

③ いきがづくりコース（7教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
手芸教室	成人	10	5月～3月	講義・実習
俳句教室		15		講義・実習
紅会（日本舞踊）		10		講義・実習
民謡教室		15		講義・実習
混声合唱		10		講義・実習
スコープ三味線		10		実技
eスポーツコミュニティ	対象者不問	20		実技

④ 健康づくりコース（3教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
山上元気モール	成人	20	5月～3月	実技（運動・体操等）
ニュースポーツ教室		20		実技（ボッチャ・スカットボール等）
民武		10		実技

⑤ その他

事業名	期間	内容
公 民 館 だ よ り 発 行	毎月	広報（各戸配布）
学 習 発 表 会	9 月	敬老会と同時開催
敬 老 会	9 月	学習発表会と同時開催
ボ ッ チ ャ 大 会 や ま び こ 広 場	1 1 月	地区ふれあい体育大会 やまびこ広場（グランドゴルフ・輪投）
塩 手 山 山 開 き	1 1 月	山開き・実技
各 種 団 体 の 育 成 ・ 支 援	通年	助言など

(2) 重点事業

①やまびこ広場ポッチャ大会

山上地区の老若男女が参加してスポーツに興じる地区最大の恒例行事と位置付けている。40 余年間にわたり体育振興会をはじめとする地域組織と本館とが共催して地域活性化に貢献してきた。地域住民と本館とが結束して交流を深める絶好の機会であり、本館の最重点事業に位置付けている。

②塩手山山開き

市観光協会や地域組織と連携し、毎年 11 月に『日本一遅い山開き』と銘打って共催している。地区のシンボルである塩手山の山開きは地域振興や登山者の健康促進につながることから、本館としては、やまびこ広場と並ぶ地区最大の恒例行事として重点事業に位置付けている。

③歌声喫茶

市内のギター愛好会の協力を得て、ギターやハーモニカの生伴奏で童謡や歌謡曲を合唱する新規講座を 7 年度に実施したところ、これまで講座への参加がなかった地区住民が参加するなど、年度内に 3 回開催することができたので、今後も継続して実施していくことを目指す。

④ニュースポーツ教室

当教室の活動支援策として、教室生の日頃の練習の成果を発揮する場の提供を考え、隣接する玉野公民館でもポッチャ教室を開催していることから、両館共催でポッチャ交流戦を企画し、新たな地域間交流が生まれた。

⑤e スポーツ教室

元々休日の児童を対象にした教室であったが、高齢者の脳トレに有効であることから、高齢者にも参加を呼びかけた結果、今では多世代間交流の教室として定着している。また、本館が市民会館大ホールで e スポーツの体験講座を企画したところ、迫力ある大画面を使用した講座に多くの市民が集まり、本教室を P R することができたので、今後とも継続して市民会館の活用も図っていききたい。

(3) 学校、社会教育団体、地域組織との連携

①山上小学校との連携について

小学校や青少年健全育成市民会議山上地区協議会等と連携し、「少年仲間づくり教室」を継続して実施している。また、『子どもたちは地区の宝』と位置付けて、小学校の各種活動は積極的に『公民館だより』に掲載することで、本館が小学校と地域との橋渡し役を担うことを目指している。

②地域の社会教育団体との連携について

青少年健全育成市民会議、体育振興会、防犯協会等の地域組織との連携を強化し、地区の 2 大行事である「やまびこ広場ポッチャ大会」と「塩手山山開き」の継続実施を目指す。

1-(7) 日立木公民館

施設内容 〒979-2522 相馬市日下石字高根沢31番地 電話：35-2901

- ・建築面積 403.00㎡ 延床面積 359.86㎡
- ・建築構造 鉄筋コンクリート造 陸屋根 2階建
- ・建築年月 昭和55年3月

(1) 事業内容

① 企画講座（10講座）

講座名	主な対象者	定員	期間	内容
芸 術 鑑 賞 講 座	成人	20	年2回	美術館等芸術鑑賞
教 養 ・ 文 化 講 座	成人	20	年5回	伝承館見学など
スマートフォン講座	成人	8	年2回	初心者向けの基本操作
お 菓 子 作 り 講 座	成人・日立木小児童・保護者	8	年4回	季節のお菓子作り等
健 康 ・ 福 祉 講 座	成人	20	年3回	生涯学習課出前講座
健 康 体 操 講 座	成人	15	年3回	体操体験
そば打ち講座	成人	10	年3回	そば打ち体験
フラワーアレンジメント講座	成人	10	年2回	講義・実習
小学生向け教養講座	日立木小児童	10	年5回	体験学習等
ウォーキング講座	成人	15	年1回	屋外実習

② 教養コース（3教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
す み れ 学 級	成人女性	15	5月～3月	教養、体験学習等
高 齢 者 教 室	高齢者	40		心・体の健康づくり等
母 子 草 教 室	小学2～中学3年生	20		習字（毛筆・硬筆）

③ いきがづくりコース（9教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
書 道 教 室	成人	10	5月～3月	講義・実習
園 芸 教 室		20		
パッチワーク教室		10		
生 け 花 教 室		10		
料 理 教 室		5		
民 謡 教 室		10		
ペーパークラフト教室		10		
そば打ち教室		15		
絵 手 紙 教 室		15		

④ 健康づくりコース（３教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
３　Ｂ　体　操　教　室	成人	１８	５月～３月	実技
ハ　イ　キ　ン　グ　教　室		１８		
パークゴルフ教室、交流大会		４０		実技・大会

⑤ その他

事業名	期間	内容
公　民　館　学　習　展	１１月	学習発表・地域交流
公　民　館　だ　よ　り	毎月発行	広報（各戸配布）
三　世　代　交　流　会 （お祭り広場）	１１月ごろ	青少年健育交流
各　種　団　体　の　育　成　支　援	随時	支援・助言・連携協働
ふ　れ　あ　い　敬　老　会	９月	敬老会（演芸会）

（２）重点事業

① 少年仲間づくり教室

小学生を対象に、子どもたちの健全育成を目指し、体験学習や集団活動などを通して、子どもたちの社会性の育成や仲間づくりを進めていきます。

② 青少年健全育成活動

青少年健全育成日立木地区連絡協議会の各種事業を協働で実施し、地域交流活動、道路美化活動や三世代交流会等での各行政区の地域と世代間の交流を図ります。

（３）学校、社会教育団体、地域組織との連携

① 学校との連携その具体策

ア 小学校と連携し、「少年仲間づくり教室」等を実施します。

イ 小学校と連携し、「三世代交流会」等を開催します。

ウ 小学校で実施する社会科見学などへの協力に努めます。

② 地域の社会教育団体との連携

ア 長寿会と連携し、高齢者教室を開催し、市天然記念物の松並木の草刈、健康講座、グラウンドゴルフ大会、パークゴルフ大会を実施します。

イ 女性団体と連携し、女性学級（すみれ学級）を実施します。

ウ 公民館の各教室と地域の文化団体が連携し、敬老会のアトラクションへの協力に努めていきます。

1-(8) 磯部公民館（磯部コミュニティセンター内）

施設内容 〒979-2501 相馬市磯部字狐穴647番地の4 電話：33-5561

- ・建築面積 建築面積430.18㎡ 延床面積419.28㎡
- ・建築構造 鉄骨造瓦葺 平屋建
- ・建築年月 平成25年6月

(1) 事業内容

① 企画講座（12講座）

講座名	主な対象者	定員	期間	内容
芸術鑑賞講座	成人	15	年1回	実習
スマートフォン講座	成人	8	年2回	初心者向けの基本操作など
お菓子作り講座	成人	8	年2回	講義・実習
パン作り講座	成人	8	年2回	講義・実習
料理講座	成人	15	年3回	講義・実習
フラワーデザイン講座	成人	10	年2回	講義・実習
健康麻雀講座	成人	10	年3回	講義・実習
高齢者講座	高齢者	15	年1回	講義
健康体操講座	成人	12	年2回	実習
そば打ち体験講座	成人	6	年1回	実習
ウォーキング講座	成人	15	年1回	実習
いそべ絆づくり事業	小学生 保護者	10	夏季	家族体験学習・地域児童による体験学習

② 教養コース（1教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
お茶教室	成人	20	5月～3月	講義・実習

③ いきがいつくりコース（6教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
編み物教室	成人	10	5月～3月	講義・実習
カラオケ教室		20		
トールペイント教室		10		
民舞踊教室		20		
パッチワーク教室		15		
ハーモニカ教室		10		

④ 健康づくりコース（6教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
3 B 体 操 教 室	成人	10	5月～3月	講義・実習
太 極 拳 教 室		10		
卓 球 教 室		10		
健 康 ピ ン ポ ン 教 室		10		
パ ー ク ゴ ル フ 教 室		30		
グ ラ ウ ン ド ゴ ル フ 教 室		30		

⑤ その他

事業名	期間	内容
教 室 発 表 会	9月	学習発表・作品展示・交流
地 域 ふ れ あ い 敬 老 会	9月	地区敬老会
公 民 館 だ よ り の 発 行	4月～3月	活動内容の情報提供

(2) 重点事業

① いそべ絆づくり事業

遊びや身近な食に関する体験学習の機会を提供し、家族や地域の交流を深めていきます。

② 各種企画講座の開催

企画講座に関するアンケートの結果を反映させながら、地域住民の学習意欲を満足させる内容の講座を開講します。

(3) 学校、社会教育団体、地域組織との連携

① 学校との連携

民舞踊教室生が小学生に「相馬盆踊り」、中学生に「磯部の手踊り」をそれぞれ手ほどきし、ともに踊りながら後世に伝統を継承していきます。

② 社会教育関係団体との連携

ア 磯部地区盆踊り

磯部地区盆踊り実行委員会と連携しながら、地区のコミュニティづくりに欠かせない伝統行事「磯部地区盆踊り」の開催を支援します。

イ オレンジカフェ

認知症の方への支援や高齢者の孤立予防のため令和4年度から社会福祉協議会主催により実施している事業を支援します。

ウ 地区環境美化運動

行政区長を中心に老人クラブ等と連携しながら、地区内の花壇等に県から提供される花苗を植栽する「地区環境美化運動」を支援します。

1-(9) 玉野公民館

施設内容 〒976-0154 相馬市玉野字町56番地の1 電話：34-2001

- ・建築面積 412.56㎡ 延床面積 335.68㎡
- ・建築構造 鉄骨造 平屋建
- ・建築年月 昭和53年11月

(1) 事業内容

① 企画講座（6講座）

講座名	主な対象者	定員	期間	内容
福祉けん玉、ボッチャe-スポーツ等	成人及び 高齢者	10	年8回	筋力・脳力トレーニング
調理実習		8	年2回	実習（レシピを作成）
スマホ講座		8	年1回	基礎・応用編等
インテリア・アレンジメント講座		10	年2回	製作（アレンジ）
スコップ三味線講座		10	年8回	演奏（演歌等）
見学学習等		20	年1回	市内・近隣の施設見学

② 教養コース（1教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
ペーパークラフト教室	成人及び 高齢者	10	年8回	製作（バック等）

③ いきがづくりコース（1教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
健康マージャン教室	成人	4	4月～3月	認知症予防

④ 健康づくりコース（4教室）

教室名	主な対象者	定員	期間	内容
パークゴルフ教室	成人及び 高齢者	20	4月～11月	練習・競技
ラージボール教室		10	4月～3月	練習・競技
骨太けんこう体操		10		体操
ちょこっとダンス教室		10	年8回	ダンス

⑤ その他

事業名	期間	内容
地域市民活動	6月	地区環境美化活動
地域ふれあい敬老会	9月	地区敬老会の実施
公民館だよりの発行	4月～3月	活動内容の情報提供

(2) 重点事業

- ① 各種教室継続実施のため、公民館だよりの参加者募集掲載や各教室の環境整備に努めます。
- ② 教室や企画講座の学習成果を、館内展示や地域ふれあい敬老会披露により参加者の増員や意欲向上に努めます。

(3) 学校、社会教育団体、地域組織との連携

① 学校との連携

企画講座の周知や協力を状況に応じて山上小学校と連携強化を図ります。

② 地域組織との連携

ア 行政区長及び農地水環境保全会と連携を図り、道路の沿線等に花苗を植える環境美化活動に取り組みます。

イ 玉野地区区長会、民生児童委員会、保健協力員、防犯協会、社会福祉協議会等との連携を図り、公民館だより掲載による必要な広報活動に努めます。

社会福祉協議会と連携を図り、オレンジカフェ健康座談会の広報に務め、認知症の予防や孤独防止を推進します。

2. 相馬市図書館

(1) 努力目標

- ① 誰もが利用しやすく、親しまれ、魅力のある図書館運営を行い、図書館の利活用の促進を図ります。
- ② 利用者の知識意欲や読書ニーズに応え、図書資料等を整備し、図書館としての機能の充実を図ります。
- ③ 利用者が求める情報を的確に提供するために、職員の接遇能力の向上や図書に関する知識の習得に努めます。

(2) 事業計画

- ① 施設・設備の充実について
 - ア 利用者サービスの向上を図るため、分かりやすい案内表示や、適切な掲示物の作成を行います。
 - イ 書籍の収納スペースの確保に努めます。
 - ウ 書籍の閲覧スペースの整備・充実を図ります。
 - エ 感染症対策など、利用者が安全に安心して利用できる環境づくりに努めます。
- ② 資料の収集・整理・保存について
 - ア 図書資料の充実を図るために、収集計画『相馬市図書館ステップアップ計画』に基づき、一般図書の収集を重点的に行い、かつ合理的に整理保存を行います。
 - イ 相馬に関する地域資料の収集や整理及び保存を行います。
 - ウ ノーマライゼーションの理念により、大活字本や点字図書、朗読CD等の資料収集や整理及び保存を行います。また、音声読上げ対応の電子書籍・デジター図書・オーディオブック等の誰もが利用しやすい資料の導入について検討を行います。
 - エ 利用者が利用しやすいように、本棚の整理を徹底します。
 - オ 蔵書の入替や除籍など、計画的合理的な整理保存を行います。
- ③ 資料の提供について
 - ア 利用者の要望に応えるため、レファレンスサービスの充実に努めます。
 - イ リクエストや相互貸借制度の周知を図り、利用者のニーズに応えるよう努めます。
 - ウ 関係機関と連携を図り、関係団体や公民館及び学校への図書の貸出など、サービスの向上と充実に努めます。
 - エ 目の不自由な方がより利用しやすいように、点字図書や音声資料の郵送サービスの利用拡大に努めます。
 - オ 話題の本やおすすめの本について、積極的に情報提供します。
 - カ 行政機関等の行事（月間・週間など）を啓発するため、関係部署との連携により資料提供を積極的に行います。
 - キ インターネットによる書籍検索をはじめ、他の利用者が借受している書籍の予約や、貸し出し期間の延長手続きについて、利用者の利便性の向上のため、検索や予約の仕方を周知します。
- ④ 広報活動について
 - ア 図書館報「うぐいす」を年3回（7月・11月・3月）発行します。また、小中学生を対象とした「こどもうぐいす」を長期休暇前等に発行します。
 - イ 広報そうまに新着おすすめ本や図書の展示等の情報を毎月掲載します。
 - ウ 相馬市のホームページやSNS等で、新着本や館内利用及び催し物の案内等の情報提供を行います。
 - エ 館内に相馬市に関する情報とともに、図書館の企画展示やイベント等の掲示物作成による周知

を図ります。

オ 図書館についての理解が深まるよう、施設見学や職場体験の受け入れを行います。

⑤ 催し物の開催について

ア 「おはなしの部屋」：毎月第1土曜日及び第3月曜日に幼児～児童を対象とした、絵本・童話の読み聞かせ会を開催します。

イ 「古文書学習会」：毎月第2木曜日に、相馬中村藩政時代の古文書を学びます。

ウ 「文学講座」：毎月第1土曜日（5～1月）に文学作品を親しむ講座を開催します。

エ 「企画展示」：テーマに沿った図書の展示を行います。

オ 「ブックスタート」：子どもの言語能力と豊かな心を育てるため絵本を手渡しする事業です。若い親世代が図書館を身近に感じるきっかけを作り、継続的な読書活動促進のため、今後の利用につなげます。

カ 「ぬいぐるみおとまり会」：児童のお気に入りのぬいぐるみを預かり、おはなし会等を実施し、おすすめの絵本を貸出します。

キ 「こども司書体験講座」：小学校中学年～中学校までの児童生徒を対象に、図書館探検、絵本読み聞かせ、オススメ本の紹介作成、受付窓口体験等を実施し、図書館に親しむ機会を提供します。

ク 「ボランティア入門講座」：ボランティアを育成するため、図書館の利用者、特に小学生以下の子どもの保護者を対象に、本の基礎的な修繕や装備の仕方を学ぶ機会を提供します。

ケ 「古本市」：図書館の除籍本のほか、市民から不用本の寄贈を募り、図書の有効活用を図ります。

コ 「プチ・ミュゼ」：市民に作品を発表する場を提供し、市民文化の向上に努めます。

サ 「出前講座」：生涯学習事業である「まちづくり出前講座」において「施設見学」や「本の読み聞かせ」を実施し、生涯学習及び図書館利用の促進を図ります。

シ 「読書週間イベント」：「読書週間」「こども読書週間」にあわせてイベントを実施し、読書活動を推進します。

ス 「本の福袋」：新年最初の開館日に初売りの福袋に見立て、職員が選書したおすすめ本セットの貸出を実施し、利用者に対し新たな本との出会いを提供します。

⑥ 職員の資質向上について

ア 職員の事務処理や接遇能力向上のため、公共図書館協会や相馬市が開催する会議や研修及び講座などへ積極的に参加します。また、職場内においても定期的に自主研修（ミーティング）を行います。

イ インターネットや情報誌等に掲載される関係機関の情報等を収集し、専門的な知識の習得に努め、催し物などの事例研究により職員の資質の向上を図ります。

ウ 自然災害や火災、人命救助などに対応するため、防災訓練や各種講習会に参加します。

エ 職員の読み聞かせ研修のため、「おはなしの部屋」参加による実体験によるレベルアップを行います。

⑦ 利用者の実態や要望の把握について

事務事業の効果や必要性を判断するため、「図書館の利用に関する調査（アンケート）」を行います。また、調査結果や利用者の要望については、館内掲示やホームページで公表し、業務の改

善や改良に努めます。

(3) 施設及び事業内容

①施設 〒976-0042 相馬市中村字塚ノ町65番地の16 (振興ビル内)

TEL: 0244-37-2630/FAX 兼用: 0244-37-2631

E-mail: tosyo-kan@city.soma.lg.jp

2階: 図書館 (開架書庫、閉架書庫、閲覧室、こどもの部屋) 延べ床面積: 764.18 m²

1階: 図書館事務室、閉架書庫、学習室、市民サロン、知っ得 (情報取得支援) コーナー

延べ床面積: 482.23 m² 1・2階延べ床面積: 1,246.41 m²

図書館の情報を、相馬市の公式ホームページにも掲載しております。
収蔵している本の検索も可能です。
また、企画展示や新着図書、開館日などの情報を掲載しております。

詳しくは、こちらのQRコードをお使いいただけます。



②事業内容

ア 資料収蔵状況: 130, 109冊 (巻) (令和8年3月31日現在)

《図書資料: 126, 585冊》

分類	項目	蔵書冊数
0	総記	3,454冊
1	哲学・宗教	3,725冊
2	歴史・地理	12,862冊
3	社会科学	13,253冊
4	自然科学	7,593冊
5	技術	6,852冊
6	産業	3,512冊

分類	項目	蔵書冊数
7	芸術	7,921冊
8	言語	1,853冊
9	文学	53,309冊
E	絵本	11,795冊
PS	紙芝居	456冊
合計		126,585冊

《視聴覚資料: 3, 524巻》

分類	巻数
カセットテープ	409巻
C D	1,772巻
ビデオテープ	309巻
D V D	999巻
地図	35巻
合計	3,524巻

○定期購入雑誌 58種

○定期購入新聞 14種

イ 利用状況

開館日数	入館者数	館外貸出数		
		図書資料	視聴覚資料	計
335 日	76,499 人	78,640 冊(巻)	2,661 冊(巻)	81,301 冊(巻)
予約貸出件数		団体貸出数	個人登録者(有効)	文献複写
1,104 件		5,164 冊(巻)	1,713 名	941 枚

ウ 寄贈

図書資料	視聴覚資料
731 冊(巻)	12 冊(巻)

エ 利用案内

(ア) 開館時間

- ・平日：午前10時～午後7時
- ・土・日・祝日：午前10時～午後5時

(イ) 休館日

- ・年末・年始：12月29日～1月3日
- ・館内整理日：毎月末日
- ・特別整理期間：毎年1月中において館長が定める15日間

(ウ) 利用できる人（個人貸出券を作成できる人）

- ・相馬市の住民
- ・南相馬市、伊達市、新地町、飯舘村、丸森町の住民
- ・相馬市内に通勤・通学している人

(4) 図書館統計

①開館日数・入館者数・貸出数

年 度	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
開館日数	335	330	308	321	292	336	324	335
入館者数	99,987	97,699	55,861	62,420	55,317	74,667	78,248	76,499
貸出数	87,466	86,372	77,706	84,256	84,391	93,249	88,008	81,301
	83,895	82,764	75,087	81,514	82,204	90,911	85,251	78,640
	一般書	51,431	49,316	44,943	46,086	44,306	48,594	44,595
	児童書	29,033	30,213	26,786	30,543	32,801	37,244	28,888
	団 体	3,431	3,235	3,358	4,885	5,097	5,073	5,157
	3,571	3,608	2,619	2,742	2,187	2,338	2,757	2,661
	視聴覚 個 人	3,560	3,544	2,579	2,708	2,178	2,311	2,757
	団 体	11	64	40	34	9	27	0
								7

②貸出者数

年 度	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
貸出者	24,911	24,419	21,366	22,826	17,893	19,917	19,142	18,496
	幼 児	1,417	1,618	1,654	1,985	1,221	1,479	935
	小学生	3,213	3,184	2,685	2,997	2,354	2,254	1,843
	中学生	699	821	555	395	225	328	396
	成 人	19,582	18,796	16,472	17,449	14,093	15,856	15,013
貸出団体	208	310	317	304	330	333	294	309

③収蔵状況

(ア) 図書資料

年 度	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
分類項目	116,959	117,509	118,401	120,226	121,759	123,772	125,823	126,585
	総 記	3,874	3,502	3,526	3,592	3,580	3,570	3,454
	哲学・宗教	3,421	3,458	3,488	3,563	3,616	3,662	3,704
	歴史・地理	12,543	12,700	12,728	12,923	13,115	13,048	13,123
	社会科学	12,408	12,327	12,435	12,731	13,011	13,177	13,256
	自然科学	6,981	7,060	7,092	7,250	7,444	7,540	7,627
	技 術	6,294	6,320	6,372	6,515	6,697	6,759	6,852
	産 業	3,264	3,234	3,262	3,330	3,387	3,434	3,512
	芸 術	7,243	7,285	7,372	7,466	7,607	7,703	7,855
	言 語	1,779	1,757	1,779	1,807	1,845	1,856	1,876
	文 芸	49,052	49,607	50,104	50,582	50,516	51,526	52,555
	絵 本	9,537	9,786	9,814	10,036	10,501	11,042	11,457
	紙 芝 居	563	473	429	431	440	455	449
								456

(イ) 視聴覚資料

年 度	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
項 目	3,561	3,641	3,737	3,745	3,770	3,561	3,584	3,524
	カセット	505	505	507	521	421	421	409
	地 図	36	36	36	36	36	36	35
	ビデオ	598	596	596	528	490	318	309
	C D	1,518	1,584	1,668	1,704	1,723	1,759	1,772
	D V D	904	920	930	970	1,000	1,027	999

(ウ) 逐次刊行物及び付属資料

年 度	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
逐次刊行物	4,457	4,483	4,386	4,360	4,352	4,279	4,140	3,267
付属資料	471	465	435	437	437	431	439	431

(エ) (ア) + (イ) + (ウ) 収蔵資料合計

年 度	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
収蔵資料合計	125,448	126,098	126,959	128,768	130,318	132,043	133,986	133,807

(オ) 点字資料

年 度	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
点字資料	1,209	1,225	1,253	1,283	1,285	1,314	1,323	1,343

3. 相馬市生涯学習会館

所在地	〒976-0042 相馬市中村一丁目 5-4 TEL37-2240
閉館日	12月28日から1月4日
利用時間	午前9時～午後9時30分
利用申込	午前8時30分～午後5時（平日のみ）
施設内容	①建築面積 525.10 m ² ②建築構造 鉄筋コンクリート造2階建て ③開館 平成16年4月1日

市内で活動している各種のボランティア団体やNPO団体など市民活動団体の活動拠点として、各種作業、会議及び情報交換等に利用できるスペースを提供している。さらに、コピー機、印刷機、自動紙折り機などの事務機器も備えており、市民の多様な社会貢献活動の促進を図る。

4. 相馬市LVMH子どもアート・メゾン

所在地	〒976-0042 相馬市中村二丁目 2-15 TEL26-7415
閉館日	12月29日から1月3日
利用時間	午前10時～午後5時
施設内容	①建築面積 268.19 m ² ②建築構造 木造2階建て ③開館 平成26年7月2日 ④絵本蔵書 約2,500冊

次世代を担う子どもたちの情操教育や芸術活動の支援を行うとともに、幅広い年齢層の生涯学習の振興の場としての活用を図っていく。

また、子どもたちの心のケアの活動拠点として活用を図っていく。

第4 文 化



(子ども民謡教室の様子)

第4 文化

1 文化振興の努力目標・事業計画

1. 努力目標

- (1) 芸術文化の振興充実を図り、すぐれた芸術文化にふれる機会を創出して、市民の積極的な活動を促し、文化の薫り高いまちづくりの推進に努める。
- (2) 郷土愛を育み、創造性豊かな地域文化をさらに向上させるため、歴史的伝統文化の保存伝承に努める。

2. 事業計画

(1) 文化芸術の振興

市民の優れた芸術・学術業績を顕彰し、文化芸術の向上発展を図る。

また、市民が生涯にわたり優れた文化に親しむことができるよう文化芸術の学習・鑑賞環境を整えるとともに、自主的な文化活動を支援し、心の豊かさを実感できる文化芸術の振興に努める。

(2) 芸術文化交流の推進

精神的豊かさに満ちた市民文化の振興と文化の薫り高いまちづくりのため、芸術文化団体の育成支援や他市町村との芸術文化交流の推進に努める。

(3) 文化財保護意識の啓発

市民が恵まれた自然や心やすらぐ城下町に住んでいることを実感できるよう、歴史資料・歴史的建造物・史跡・民俗芸能などの貴重な文化財の学習会や鑑賞の機会の提供を図り、歴史と伝統が息づく潤いのあるまちづくりに努める。

(4) 文化財の調査研究、収集、保存、継承と活用

文化財の発掘・調査・研究を推進するとともに、維持管理と保護対策を強化するとともに、市史編さん事業により収集した資料の活用を推進し、さらなる郷土史の理解と文化遺産の保存・伝承に努める。

2 国指定文化財

指定年月日	名 称	員数	所有者（又は管理者）	所有地（又は管理者所）
S 9・ 5・ 1	霊山		国・霊山神社	相馬市玉野・伊達市
S 53・ 5・ 22	相馬野馬追		相馬野馬追保存会	相馬市・南相馬市他
S 58・ 1・ 7	相馬中村神社本殿・幣殿・拝殿	1棟	相馬中村神社	左同所
H 24・ 7・ 9	八幡神社本殿・幣殿・拝殿等	4棟	八幡神社	左同所

3 登録有形文化財

登録年月日	名 称	員数	所有者（又は管理者）	所有地（又は管理者所）
H 30・ 5・ 10	旧福島県立相馬中学校講堂	1棟	福島県	福島市杉妻町2-16

4 県指定文化財

指定年月日	名 称	員数	所有者（又は管理者）	所有地（又は管理者所）
S 28・ 10・ 1	紙本著色千葉妙見寺縁起	2巻	歓喜寺	左同所
S 30・ 2・ 4	中村城跡		相馬中村神社ほか	中村字北町ほか
S 42・ 12・ 8	髪飾用具コレクション	270点	相馬市教育委員会	〈歴史資料収蔵館〉
S 43・ 12・ 10	田代駒焼登窯	1基	相馬市教育委員会	中村字新町
S 44・ 4・ 1	相馬家系図	1巻	歓喜寺	左同所
S 54・ 3・ 23	絹本著色名跡不離阿弥陀画像	1幅	歓喜寺	左同所
S 56・ 3・ 31	万蔵院御正体（銅造十一面観音懸仏）	1面	万蔵院	左同所
S 56・ 3・ 31	相馬岡田文書	2巻	個人蔵	〈歴史資料収蔵館〉
S 62・ 3・ 27	旧修験岩崎家所蔵修験資料	410点	個人蔵	左同所
H 4・ 3・ 24	相馬宇多郷の神楽	25団体	相馬市神楽保存会	
H 13・ 3・ 30	絹本著色熊野曼荼羅図	1幅	歓喜寺	左同所
H 13・ 3・ 30	絹本著色普賢菩薩像	1幅	歓喜寺	左同所

5 市指定文化財

（1）有形文化財

指定年月日	名 称	員数	所有者（又は管理者）	所有地（又は管理者所）
S 36・ 9・ 12	成田出土人物はにわ	6体	相馬市教育委員会	〈歴史資料収蔵館〉
S 36・ 9・ 12	相馬中村神社神輿	1基	相馬中村神社	左同所
S 36・ 9・ 12	成田藤堂塚出土藤堂塚式土器	6個	県立相馬高等学校	左同所
S 36・ 9・ 12	旧中村城時鐘	1口	個人蔵	〈歴史資料収蔵館〉
S 36・ 9・ 12	相馬大膳亮義胤遺言状	2通	蒼龍寺	左同所
S 37・ 11・ 14	反亀甲菊蝶紋刀筒	1個	個人蔵	〈歴史資料収蔵館〉
S 40・ 4・ 26	紅顔黎色阿弥陀像	1軀	歓喜寺	左同所
S 40・ 4・ 26	梵鐘	1口	歓喜寺	左同所
S 40・ 4・ 26	中村城下町人町屋敷地図	1幅	相馬市教育委員会	〈歴史資料収蔵館〉
S 40・ 4・ 26	御家給人根元之記	1冊	個人蔵	〈歴史資料収蔵館〉
S 42・ 9・ 30	船越観音像	1軀	尾浜区長管理	船越観音
S 42・ 9・ 30	育英館額	1面	個人蔵	中村第一小学校保管
S 48・ 11・ 17	佐藤玄々遺作品	47点	相馬市教育委員会	〈歴史資料収蔵館〉
S 49・ 6・ 6	紙本著色相馬昌胤公画像	1幅	興仁寺	左同所
S 49・ 6・ 6	木造狛犬	1対	歓喜寺	左同所
S 49・ 6・ 6	打敷	4枚	興仁寺	左同所
S 49・ 6・ 26	朱漆塗萌黄糸威横矧五枚胴具足（附纏一旒）	1領	個人蔵	左同所
S 49・ 6・ 26	絹本著色松川十二景和歌色紙帖	1帖	相馬市教育委員会	〈歴史資料収蔵館〉
S 49・ 6・ 26	中村城下地図	1幅	相馬市教育委員会	〈歴史資料収蔵館〉
S 49・ 6・ 26	双竜文環頭太刀柄頭	1個	県立相馬高等学校	〈県立相馬高校郷土資料室〉

指定年月日	名 称	員数	所有者（又は管理者）	所有地（又は管理者所）
S 49・ 6・ 26	土面	1個	県立相馬高等学校	〈県立相馬高校郷土資料室〉
S 51・ 3・ 2	紅糸威二枚胴具足	1領	個人蔵	左同所
S 51・ 3・ 2	中村城下地図	1幅	相馬市教育委員会	〈歴史資料収蔵館〉
S 51・ 3・ 2	相馬藩主像版木	1枚	個人蔵	〈歴史資料収蔵館〉
S 56・ 3・ 5	紙本著色十二天画像	6曲1双	歓喜寺	左同所
S 56・ 3・ 5	絹本著色光明曼荼羅	1幅	歓喜寺	左同所
S 56・ 3・ 5	銅製華瓶	1対	歓喜寺	左同所
S 56・ 3・ 5	木造扁額 「養眞殿」	1面	都玉神社	左同所
S 59・ 3・ 6	都玉神社の本殿	1棟	都玉神社	左同所
S 59・ 3・ 6	金銅救世観音菩薩像	1軀	個人蔵	〈歴史資料収蔵館〉
S 59・ 3・ 6	旧妙見宮（相馬中村神社）棟札	10枚	歓喜寺	左同所
S 59・ 3・ 6	天明救荒録	1冊	個人蔵	〈歴史資料収蔵館〉
S 60・ 5・ 7	奥相志の原本	179冊	相馬市教育委員会	〈歴史資料収蔵館〉
S 60・ 5・ 7	報徳記の原本	8巻	相馬市教育委員会	〈歴史資料収蔵館〉
S 60・ 5・ 7	奥相秘鑑の原本	10巻	相馬市教育委員会	〈歴史資料収蔵館〉
S 60・ 5・ 7	中村城下絵図	1幅	相馬市教育委員会	〈歴史資料収蔵館〉
S 60・ 5・ 7	長命寺の山門	1棟	長命寺	左同所
S 60・ 5・ 7	正西寺の山門	1棟	正西寺	左同所
S 61・ 5・ 29	都玉神社関係資料	12点	都玉神社	〈歴史資料収蔵館〉
S 62・ 4・ 9	相馬神社のぼり	2枚	相馬神社	左同所
S 63・ 7・ 5	丸塚古墳出土馬型埴輪 他	1体他	相馬市教育委員会	〈歴史資料収蔵館〉
H 4・ 5・ 26	北野神社本殿	1棟	相馬中村神社	左同所
H 4・ 5・ 26	国王社本殿	1棟	相馬中村神社	左同所
H 9・ 6・ 16	黒木諏訪神社棟札	8枚	諏訪神社	左同所
H 12・ 3・ 23	絹本著色涅槃図	1幅	歓喜寺	左同所
H 15・ 6・ 5	木造聖観音菩薩立像	1軀	程田自治会	〈歴史資料収蔵館〉
H 16・ 3・ 4	絹本墨画 白衣観音図	1幅	歓喜寺	左同所
H 16・ 3・ 4	銅造菩薩形立像	1軀	歓喜寺	左同所
H 16・ 3・ 4	厨子入木造勝軍地藏菩薩及び眷属像	8軀	愛宕神社	左同所
H 17・ 6・ 7	黒木田遺跡出土瓦（軒丸瓦）	瓦13点他	相馬市教育委員会	〈歴史資料収蔵館〉
H 22・ 9・ 9	相馬尊胤起請文	1通	相馬市教育委員会	〈歴史資料収蔵館〉
H 22・ 9・ 9	木造扁額「講武堂」	1面	個人蔵	（福島県立相馬高等学校）
R 2・ 7・ 13	熊野神社奉納和歌	1巻	八幡神社	左同所
R 2・ 7・ 13	相馬怨胤遺品	1式	八幡神社	左同所

（２）有形民俗文化財

指定年月日	名 称	員数	所有者（又は管理者）	所有地（又は管理者所）
S 36・ 9・ 12	仏立寺古鏡群	1,203面	仏立寺	左同所
S 37・ 11・ 14	宇多雷神社奉納舞神楽面	20頭	各部落	左同所
H 15・ 6・ 5	絵馬 神馬図（相馬怨胤奉納絵馬）	1面	相馬中村神社	左同所
H 15・ 6・ 5	絵馬 神馬図（相馬祥胤奉納絵馬）	1面	相馬中村神社	左同所

（３）天然記念物

指定年月日	名 称	員数	所有者（又は管理者）	所有地（又は管理者所）
S 47・ 7・ 11	ケシ子沼モリアオガエル生息地			山上字小豆畑
S 48・ 11・ 17	旧陸前浜街道松並木		福島県・相馬市	立谷字北山・赤木字鬼越

指定年月日	名 称	員数	所有者（又は管理者）	所有地（又は管理者所）
S 51・ 3・ 2	椎木の種蒔ザクラ（権左エ門桜）	1本	個人蔵	左同所
S 51・ 3・ 2	旧寛徳寺のタラヨウ	1本	個人蔵	左同所
S 53・ 9・ 11	中村神社の親子スギ	1本	相馬中村神社	左同所
S 54・ 7・ 3	正西寺の大イチョウ	1本	正西寺	左同所
S 54・ 7・ 3	中村城跡のフジ	1株	相馬神社	左同所
S 56・ 3・ 5	長命寺の大ツツジ	1株	長命寺	左同所
S 56・ 3・ 5	物倉の大ツツジ	2株	個人蔵	左同所
S 59・ 3・ 6	都玉神社のサカキ群		都玉神社	左同所
S 59・ 3・ 6	八幡神社の夫婦スギ	1本	八幡神社	左同所
S 61・ 5・ 29	諏訪神社の大イチョウ	1本	諏訪神社	左同所
S 63・ 5・ 13	鹿島神社のモチの木	1本	鹿島神社	左同所

（４） 史 跡

	名 称	員数	所有者（又は管理者）	所有地（又は管理者所）
S 52・ 11・ 1	北山史跡		個人蔵	左同所
S 61・ 5・ 29	相馬都胤廟と都玉神社社地		都玉神社	左同所

6 文化施設

1. 相馬市民会館

(1) 努力目標

①「使いたい・使いやすい」市民会館、そして身近な文化振興の拠点となる施設を目指し、利活用促進を図ります。

②利用者が安全に安心して利用できるよう、市民会館の適正な管理運営に努めます。

(2) 事業計画

市民会館利用申請に基づき貸館業務を行い、施設の利活用促進及び適切な維持管理に努めます。

①施設の利活用促進について

- ・芸術にふれる機会や発表の場をより多く提供するため、自主事業開催を企画し、施設の利活用促進に努めます。
- ・幼稚園や学校、公民館などの市役所関係各課等の利用や屋外スペースを活用した地域の活性化を促進するマルシェの利用など、新規利用者の確保に努めます。
- ・広報そうま、市ホームページ、地域情報誌、会館内外の掲示板、市SNS、各公民館等に主な催し物を掲示するなど、イベントの情報発信に努めます。
- ・市民会館接遇方針に基づき、職員の接遇向上に努めます。

②設備等の管理及び施設の運営について

- ・設備等の定期保守点検と日常的な巡回点検を行い、設備の不具合や破損等の早期発見に努めます。また、経年劣化した設備等への修繕やLED照明への切替など計画的に行います。
- ・各設備等の運用に関し、研修を通じて職員の知識向上に努めるとともに、設備の操作方法を利用者が安全かつ適切に使用できるよう分かりやすい説明を行います。

(3) 施設の概要

〒976-0042 相馬市中村字北町 51-1 Tel 37-2197

- ・施設：建築面積 3,204.99 m² 延床面積 4,004.82 m²
- ・構造：鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 瓦葺 地上2階建
- ・開館：平成25年10月7日
- ・開館時間：午前9時～午後10時
- ・休館日：12月31日と1月1日
- ・主な設備：大ホール 922席（車椅子席4席分を含む。）
リハーサル室兼多目的ホール（約220 m²、約100席分）
楽屋（2室）
和室（3室）
練習室（1室）
会議室（1室）

(4) 相馬市民会館使用料

1 大ホール等使用料

(単位 円)

種別			午前	午後	夜間	午前 ～午後	午後 ～夜間	全日
			午前9時 ～ 正午	午後1時 ～ 午後5時	午後6時 ～ 午後10時	午前9時 ～ 午後5時	午後1時 ～ 午後10時	午前9時 ～ 午後10時
大ホール	入場料を徴収しないとき		9,000	13,000	16,000	21,000	27,000	33,000
	入場料を徴収するとき	A	17,000	26,000	30,000	40,000	50,000	62,000
		B	21,000	32,000	38,000	50,000	62,000	76,000
		C	28,000	42,000	51,000	67,000	83,000	102,000
	冷暖房を利用するとき		5,000	7,000	9,000	11,000	14,000	18,000
リハーサル室兼多目的ホール	入場料を徴収しないとき		3,000	4,000	5,000	6,000	7,000	10,000
	入場料を徴収するとき	A	4,000	5,000	6,000	8,000	10,000	13,000
		B	5,000	6,000	7,000	10,000	12,000	16,000
		C	6,000	8,000	9,000	13,000	15,000	20,000
	冷暖房を利用するとき		1,000	1,000	1,000	2,000	2,000	3,000

備考

- 「入場料を徴収するとき」とは、利用者が入場料金（入場料、会費、会場整理費等その名称のいかんを問わず、入場者から受けた若しくは受けるべき金額の給付をいう。）を徴収する場合をいい、「入場料を徴収しないとき」とは、その他の場合をいう。
- 入場料金の最高額が1,500円以下のものをA、1,500円を超え3,000円以下のものをB、3,000円を超えるものをCとする。
- 準備又は練習のため大ホールのうちステージのみを利用する場合（全日にわたり客席を入場者が利用しないときに限る。以下同じ。）の使用料は、上記にかかわらず1回（午前、午後、夜間の区分をそれぞれ1回とする。以下同じ。）につき2,000円とする。
- 利用時間の繰上げ又は延長をする場合は、管理上支障のない限り1時間を限度として利用を承認し、延長分の使用料は、延長利用直後又は直前の1時間当たりの料金の100分の130に相当する額とする。
- この表に基づいて算出された料金の額に100円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。

2 その他の施設の使用料

(単位 円)

施設名	1回当たりの料金	備考
楽屋1	1,000	大ホールの利用（ステージのみを利用する場合を除く。）又はリハーサル室兼多目的ホールの利用を伴わない利用に限り徴収する。
楽屋2	1,000	
和室1	1,000	
和室2	1,000	
和室3	1,000	
練習室	2,000	
玄関ロビー	2,000	
会議室	2,000	上記施設の冷暖房を利用するときに加算する。
冷暖房	500	

3 附属設備使用料

(単位 円)

種類	名称	単位	使用料	備考
舞台用具	天井反射板	1 式	2,400	ライトを含む。
	平台	1 台	100	
	指揮者台	1 台	150	譜面台を含む。
	演奏者用譜面台	1 台	50	
	太鼓	1 組	100	
	演台	1 台	300	
	金屏風	1 双	300	
	紗幕	1 枚	300	
	地絨	1 枚	300	
	照明器具	ボーダーライト	1 列	1,200
	第1 サスペンションライト	1 列	1,600	
	第2 サスペンションライト	1 列	1,600	
	第3 サスペンションライト	1 列	1,600	
	アッパーホリゾンライト	1 列	1,600	
	ローアーホリゾンライト	1 列	1,600	
	シーリングライト	1 式	1,600	
	フロントサイドスポットライト	1 式	2,000	
	センターフォロースポットライト	1 式	1,200	
	ミラーボール	1 式	600	
	スモークマシン	1 式	600	スモーク液を除く。
音響設備	場内拡声装置	1 式	1,600	
	録音機器再生ワゴン	1 式	1,000	
	移動型プロジェクター	1 式	1,600	
	ワイヤレスマイクロフォン	1 組	1,600	
	マイクロフォン	1 組	600	スタンドを含む。
	リハーサル兼多目的ホール音響設備	1 式	1,600	
	フルコンサートピアノ	1 台	3,000	調律代を除く。
その他	持込器具電力料金	1kw	150	

備考 持込器具を利用する場合において、1kw 未満の端数が生じたときは、これを 1kw とする。

(5) 令和7年度の市民会館の利用者数

年 月	利用者数 (人)	利用者数累計 (人)
令和7年4月	3,255	—
令和7年5月	1,696	4,951
令和7年6月	3,411	8,362
令和7年7月	3,493	11,855
令和7年8月	7,838	19,693
令和7年9月	5,572	25,265
令和7年10月	7,257	32,522
令和7年11月	9,176	41,698
令和7年12月	4,614	46,312
令和8年1月	1,424	47,736
令和8年2月	3,543	51,279
令和8年3月	2,530	53,809
合 計	53,809	

2. 相馬市歴史資料収蔵館

①施設内容

〒976-0042	相馬市中村字北町 51-1	TEL : 37-2191
施設	延床面積 1,061.76 m ²	
内 訳	1階 561.76 m ² 2階 500 m ²	
建築構造	鉄骨造瓦葺 2階建	
開 館	平成 26 年 7 月 26 日	
開館時間	午前 9 時～午後 4 時	
休 館 日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は、次の平日）、12 月 29 日～1 月 3 日	
観 覧 料	一般 100 円 小・中・高生 50 円 団体（20 名以上）半額 市内の小・中・高校生、市内に居住する小・中・高校生無料	

②主な収蔵資料

相馬中村藩関係資料、考古資料、相馬野馬追関係資料、二宮仕法関係資料、佐藤玄々関係資料、相馬駒焼関係資料

3. 相馬市郷土蔵

①施設内容

〒976-0042	相馬市中村字北町 51-1	TEL : 32-1234
施設	延床面積 265.45 m ²	
内 訳	1階 129.60 m ² 2階 129.60 m ² 鐘楼（木造）6.25 m ²	
建築構造	鉄骨造瓦葺 2階建	
開 館	平成 26 年 7 月 26 日	
開館時間	午前 9 時～午後 4 時	
休 館 日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は、次の平日）、12 月 29 日～1 月 3 日	
観 覧 料	無料	

②主な収蔵資料

震災で被災し喪失の恐れがあった民俗資料（農具、民具などの道具類）

4. 相馬市民ギャラリー ※令和7年度より当面の間休止

所在地 〒976-0042 相馬市中村字塚ノ町 65-16 (振興ビル7階)
面積 展示室A (B + C) 236 m²、展示室B 140 m²、展示室C 96 m²
利用申込 相馬市図書館 TEL 37-2630

(1) 運営方針

市民の芸術文化の向上及び福祉の増進を図るため、展示会や発表会の施設としての活動の場を提供する。

(2) 施設使用料

①基本使用料

	商品販売を目的としない場合	商品販売を目的とする場合
展示室A (236 m ²)	1日 2,000 円	展示室Aに限る。 一時間 6,000 円
展示室B (140 m ²)	1日 1,200 円	
展示室C (96 m ²)	1日 800 円	

②特別使用料

冷暖房を利用した場合又は入場料を徴収した場合は、それぞれ各利用区分の各基本使用料に百分の二十を乗じて得た額。(ただし、冷暖房を利用し、かつ、入場料を徴収した場合は、各利用区分の各基本使用料に百分の四十を乗じて得た額)

第5 スポーツ



(子ども駅伝大会の様子)

第5 スポーツ

1 スポーツの努力目標・事業計画

1. 努力目標

- (1) 市民の誰もが気軽にスポーツやレクリエーション活動に参加でき、生涯にわたり健康で豊かな生活を送れるよう、スポーツイベントの機会や情報提供に努めます。
- (2) スポーツを行うだけではない、多様なかわり方ができる地域社会の実現に向けて、関連団体との連携と協力に努めます。
- (3) スポーツ・レクリエーションを活用したまちづくりに向けて、各スポーツ施設の維持管理と利活用に取り組みます。

2. 事業計画

(1) スポーツ・レクリエーション活動の充実

市民一人ひとりが日常生活のなかで気軽にスポーツやレクリエーションに親しみ、健康の保持増進、豊かな人間関係づくりができるよう、市主催の大会やイベントを行うとともに、各団体や支援団体等が開催するスポーツイベントにも積極的に協力支援を行います。

(2) 各スポーツ団体との連携強化

スポーツ・レクリエーション活動を推進する体制の整備や充実のため、市スポーツ推進委員や市スポーツ協会、スポーツ関連のNPO法人、各スポーツ団体、各地区公民館、及び学校関係機関、健康・福祉関係機関との有機的な連携に努めます。

(3) スポーツを支える人材の育成と確保

スポーツ・レクリエーションを楽しみながら競技を行うには、指導者、コーチ、審判員、トレーナーの他、スタッフ、ボランティアなど様々な「ささえる」方々の協力が必要になります。

スポーツを「ささえる」人材の育成と確保をはかるため、スポーツ指導者講習会に一般参加者を含めるなどの改善をはかり、さらなる人材の発掘を進めます。

(4) スポーツ施設の維持管理と利活用の推進

市民のスポーツ活動を支援していくうえで、既存スポーツ施設の点検・整備や、老朽施設の改修等を計画的に進めます。

また、インターネットを介して各施設の利用状況や施設予約ができる環境を提供し、市民のスポーツ活動の利便性の向上に努めます。

2 各スポーツ施設

1. スポーツアリーナそうま

(1) 施設内容

〒976-0042 相馬市中村字北町 55-1 TEL 37-2309 FAX 35-0140

・敷地面積 11,826.01 m²

・第一体育館 建築構造 鉄筋コンクリート造 3階 延床面積 2,995.84 m²
建築年度 平成10年度

・第二体育館 建築構造 鉄骨造 2階 延床面積 1,521.70 m²
建築年度 令和元年度

(2) 使用申込 使用日の3カ月前から当日までスポーツアリーナそうまで受付

(3) 利用時間 午前9時～午後9時30分

(4) 休館日 毎月末日、12月31日、1月1日

※1 ただし、末日が土・日曜日及び休日に当たるときはこれらの日の翌日。

※2 災害時の避難所等になる場合など利用日時については制限があります。

(5) スポーツアリーナそうま施設使用料

利用場所		利用 申請	利用 区分	利用目的等		利用 単位	使用料				
第一 体育館	アリーナ、柔・剣 道場、弓道場	個人 利用	1人 当 た り	午前9時から午後5時まで		1時間 につき	100 円				
				午後5時から午後9時30分まで		1時間 につき	140 円				
	アリーナ	専用 利用	全面 利用	アマチュアスポーツ を目的とする行事で ある場合	入場料を徴しない場 合		1時間 につき	1,500 円			
					入場料を徴する場合		1時間 につき	3,000 円			
				その他の行事である 場合	入場料を 徴しない 場合	非営利目 的の場合	1時間 につき	6,000 円			
						営利目的 の場合	1時間 につき	30,000 円			
					入場料を 徴する場 合	非営利目 的の場合	1時間 につき	15,000 円			
						営利目的 の場合	1時間 につき	30,000 円			
				柔・剣道場		全面 利用	アマチュアスポーツ を目的とする行事で ある場合	入場料を徴しない場 合		1時間 につき	500 円
								入場料を徴する場合		1時間 につき	1,000 円
	その他の行事である 場合	入場料を 徴しない 場合	非営利目 的の場合				1時間 につき	2,000 円			
			営利目的 の場合				1時間 につき	10,000 円			
		入場料を 徴する場 合	非営利目 的の場合				1時間 につき	5,000 円			
			営利目的 の場合				1時間 につき	10,000 円			
	弓道場			全面 利用	アマチュアスポーツ	入場料を徴しない場 合	1時間 につき	150 円			

			を目的とする行事である場合	入場料を徴する場合	1時間につき	300円
			その他の行事である場合	入場料を徴しない場合	非営利目的の場合	1時間につき 600円
					営利目的の場合	1時間につき 3,000円
				入場料を徴する場合	非営利目的の場合	1時間につき 1,200円
					営利目的の場合	1時間につき 6,000円
	会議室 1	入場料を徴しない場合		非営利目的の場合	1時間につき	400円
				営利目的の場合	1時間につき	1,200円
		入場料を徴する場合		非営利目的の場合	1時間につき	800円
				営利目的の場合	1時間につき	2,400円
	会議室 2	入場料を徴しない場合		非営利目的の場合	1時間につき	200円
				営利目的の場合	1時間につき	600円
		入場料を徴する場合		非営利目的の場合	1時間につき	400円
				営利目的の場合	1時間につき	1,200円
	役員室	入場料を徴しない場合		非営利目的の場合	1時間につき	80円
				営利目的の場合	1時間につき	240円
		入場料を徴する場合		非営利目的の場合	1時間につき	160円
				営利目的の場合	1時間につき	480円
	控室	入場料を徴しない場合		非営利目的の場合	1時間につき	80円
				営利目的の場合	1時間につき	240円
		入場料を徴する場合		非営利目的の場合	1時間につき	160円
				営利目的の場合	1時間につき	480円
	審判室	入場料を徴しない場合		非営利目的の場合	1時間につき	80円
				営利目的の場合	1時間につき	240円
		入場料を徴する場合		非営利目的の場合	1時間につき	160円

第二 体育館	アリーナ、軽運動場	個人 利用	1 人 当 た り	午前 9 時から午後 5 時まで			1 時間 につき	100 円			
				午後 5 時から午後 9 時 30 分まで			1 時間 につき	140 円			
	アリーナ	専用 利用	全面 利用	アマチュアスポーツ を目的とする行事で ある場合	入場料を徴しない場 合		1 時間 につき	1, 500 円			
					入場料を徴する場合		1 時間 につき	3, 000 円			
				その他の行事である 場合	入場料を 徴しない 場合	非営利目 的の場合	1 時間 につき	6, 000 円			
						営利目的 の場合	1 時間 につき	30, 000 円			
					入場料を 徴する場 合	非営利目 的の場合	1 時間 につき	15, 000 円			
						営利目的 の場合	1 時間 につき	30, 000 円			
					軽運動場	全面 利用	アマチュアスポーツ を目的とする行事で ある場合	入場料を徴しない場 合		1 時間 につき	230 円
								入場料を徴する場合		1 時間 につき	460 円
	その他の行事である 場合	入場料を 徴しない 場合	非営利目 的の場合	1 時間 につき			920 円				
			営利目的 の場合	1 時間 につき			4, 600 円				
		入場料を 徴する場 合	非営利目 的の場合	1 時間 につき			2, 300 円				
			営利目的 の場合	1 時間 につき			4, 600 円				
	打合せ室			入場料を徴しない場合	非営利目的の場合		1 時間 につき	200 円			
					営利目的の場合		1 時間 につき	600 円			
入場料を徴する場合				非営利目的の場合		1 時間 につき	400 円				
				営利目的の場合		1 時間 につき	1, 200 円				

(6) スポーツアリーナそうま附属設備使用料

附属設備名			利用区分		利用単位	使用料
第一 体育館	専用利用の場合	アリーナ照明設備	全面利用	全点灯	1 時間につき	2,100 円
		柔・剣道場照明設備	全面利用	全点灯	1 時間につき	400 円
		弓道場照明設備	全面利用	全点灯	1 時間につき	80 円
	アリーナの吊物設備		一式		1 時間につき	100 円
	音響設備		一式		1 時間につき	500 円
	一般放送設備		一式		1 時間につき	200 円
	フロアシート		1 本		1 日につき	200 円
	仮設ステージ		一式		1 時間につき	100 円

	椅子(施設内貸出の場合)		1脚(30脚を超える分)		1日につき	10円
	椅子(施設外貸出の場合)		1脚		1日につき	10円
	机(施設内貸出の場合)		1台(15台を超える分)		1日につき	20円
	机(施設外貸出の場合)		1台		1日につき	20円
	電気供給設備(持込機器に限る。)		1時間		1キロワットにつき	100円
	オイルヒーター		一式		1時間につき	300円
	温水シャワー		一式		1回につき	100円
	コインロッカー		1日(8時間限度)		1回につき	30円
	エア・ハン		一式		1時間につき	100円
	会議室1 冷暖房設備		一式		1時間につき	100円
	会議室2 冷暖房設備		一式		1時間につき	50円
	弓道場役員室 冷暖房設備		一式		1時間につき	50円
	弓道場控室 冷暖房設備		一式		1時間につき	50円
	弓道場審判室 冷暖房設備		一式		1時間につき	50円
	アリーナ観覧席 暖房設備		一式		1時間につき	1,200円
第二 体育館	専用利用の場合	アリーナ照明設備	全面利用	全点灯	1時間につき	2,100円
		軽運動場照明設備	全面利用	全点灯	1時間につき	100円
	スポットエアコン		一台		1時間につき	100円
	一般放送設備		一式		1時間につき	200円
	椅子(施設内貸出の場合)		1脚(30脚を超える分)		1日につき	10円
	椅子(施設外貸出の場合)		1脚		1日につき	10円
	机(施設内貸出の場合)		1台(15台を超える分)		1日につき	20円
	机(施設外貸出の場合)		1台		1日につき	20円
	電気供給設備(持込機器に限る。)		1時間		1キロワットにつき	100円
	打合せ室 冷暖房設備		一式		1時間につき	50円

(7) 令和7年度利用状況

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
第1体育館	利用者	1,887	2,400	3,254	2,138	1,798	3,023	2,972	1,669	2,756	2,562	1,837	1,113	27,409
第2体育館	利用者	1,423	1,296	1,263	939	1,684	2,323	2,396	1,625	2,319	1,528	1,752	1,596	20,134
軽運動場	利用者	260	201	227	170	213	233	363	148	617	232	245	170	3,079
柔道場	利用者	756	729	995	866	690	402	529	559	1,407	831	817	652	9,233
剣道場	利用者	1,085	792	331	576	659	736	661	855	1,562	750	733	520	9,260
弓道場	利用者	406	406	444	445	345	909	12	454	628	273	444	515	5,281
第1会議室	利用者	86	72	68	70	98	78	76	49	68	81	78	81	905
第2会議室	利用者	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	30
合 計	利用者	5,903	5,896	6,582	5,204	5,517	7,704	7,009	5,349	9,357	6,257	5,906	4,647	75,331

2. 相馬市民プール

(1) 施設内容

〒976-0042 相馬市中村字桜ヶ丘 54-2 TEL 32-0021

- ・施設 1,438.58 m² 一般用プール 25m、8 コース(水深 90 c m～120 c m)
幼児用プール 10.5m×3.5m(水深 50 c m～ 60 c m)

・開設 平成 29 年 5 月

- (2) 使用期間
- ・通常利用 5 月～10 月：午前 9 時～午前 12 時、午後 1 時～午後 4 時
 - ・ナイト利用 7 月中旬～8 月下旬：午後 5 時～午後 8 時

(3) 休業日 毎週火曜日 ※火曜日が祝日等で休日となる場合は最も近い休日ではない日

(4) 使用料

利用申請	利用区分	利用目的等	利用単位	使用料
個人利用	一人当たり		1 回当たり	200 円
専用利用	全面利用	入場料を徴しない場合	1 時間につき	3,000 円
		入場料を徴する場合	1 時間につき	6,000 円

(5) 附属設備使用料

附属設備名	利用区分	利用単位	利用料
ロッカー	1 日(3 時間限度)	1 回	無料

(6) 令和 7 年度利用状況

単位:人

区分	未就学児	高校生以下	一般	減免利用	授業利用	合計
5 月	4	118	58	0	501	681
6 月	52	534	244	0	1,654	2,484
7 月	123	998	523	0	938	2,945
8 月	227	1,064	772	0	356	2,741
9 月	35	114	137	0	1,319	1,605
10 月	1	11	36	0	36	84
合計	442	2,839	1,770	0	4,804	10,540

3. 黒木多目的広場 ※令和 6 年度から休止中

(1) 施設内容

〒976-0052 相馬市黒木字芹谷地 46-2

- ・施設 10,000 m²(芝生広場：サッカー 1 面(ジュニアサッカー 2 面・ニュースポーツ等)
- ・開設 平成 11 年 11 月 1 日

(2) 使用時間 午前 9 時～午後 9 時(但し、ゲートボール場は夜間照明無し)

(3) 使用申込先 使用日の 3 カ月前から当日までスポーツアリーナそうまで受付

(4) 休場日 12 月 31 日・1 月 1 日

(5) 使用料

利用場所	利用区分	利用目的等		利用単位	使用料
芝生場	全面利用	アマチュアスポーツを目的とする行事である場合	入場料を徴しない場合		1時間につき 800円
			入場料を徴する場合		1時間につき 1,600円
		その他の行事である場合	入場料を徴しない場合	非営利目的の場合	1時間につき 2,400円
				営利目的の場合	1時間につき 7,200円
			入場料を徴する場合	非営利目的の場合	1時間につき 4,800円
				営利目的の場合	1時間につき 14,400円
	2分1面利用	アマチュアスポーツを目的とする行事である場合	入場料を徴しない場合		1時間につき 600円
			入場料を徴する場合		1時間につき 1,200円
		その他の行事である場合	入場料を徴しない場合	非営利目的の場合	1時間につき 1,800円
				営利目的の場合	1時間につき 5,400円
			入場料を徴する場合	非営利目的の場合	1時間につき 3,600円
				営利目的の場合	1時間につき 10,800円

(6) 附属設備使用料

附属設備名	利用区分	利用単位	使用料
専用利用 芝生場照明設備	全点灯	1時間	800円

(7) 令和7年度 利用なし ※休止中

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

4. 松川浦スポーツセンター

(1) 施設内容

〒976-0025 相馬市岩子字長谷地 10-1 TEL 36-4355 (FAX 同)

- ・屋内施設：松川浦体育館、相撲道場
- ・屋外施設：松川浦パークゴルフ場 4 コース (36 ホール)、松川浦野球場 1 面

(2) 利用時間

- ・松川浦体育館 午前9時～午後9時30分
- ・松川浦野球場及び松川浦パークゴルフ場
3月～10月 午前9時～午後5時 その他の月 午前9時～午後4時
- ・相撲道場 午前7時～午後5時

(3) 休館日 毎月第2、第4月曜日、12月31日、1月1日

※毎月第2、第4月曜日が休日のときは、その日後において最も近い休日でない日

(4) 使用料

利用場所	利用申請	利用区分	利用目的等		利用単位	使用料
パークゴルフ場	個人利用	1人	パークゴルフ		1日	500円
体育館	専用利用	全面利用	アマチュアスポーツを目的	入場料を徴しない場合	1時間	600円
				入場料を徴する場合	1時間	1,200円
			その他の行事である場合	入場料を徴しない場合	非営利目的	1時間 2,000円
						1時間 6,000円
				入場料を徴する場合	非営利目的	1時間 4,000円
						1時間 12,000円

野球場		全面利用	アマチュアスポーツを目的	入場料を徴しない場合		1 時間	300 円
				入場料を徴する場合		1 時間	600 円
			その他の行事である場合	入場料を徴しない場合	非営利目的	1 時間	900 円
					営利目的	1 時間	2,700 円
				入場料を徴する場合	非営利目的	1 時間	1,800 円
					営利目的	1 時間	5,400 円
相撲道場		風呂・調理場を除く全館利用	アマチュアスポーツを目的	入場料を徴しない場合		1 時間	300 円
				入場料を徴する場合		1 時間	600 円
			その他の行事である場合	入場料を徴しない場合	非営利目的	1 時間	900 円
					営利目的	1 時間	2,700 円
				入場料を徴する場合	非営利目的	1 時間	1,800 円
					営利目的	1 時間	5,400 円
パークゴルフ場	専用利用	全面利用	入場料を徴しない場合		1 日	200,000 円	
			入場料を徴する場合		1 日	300,000 円	
会議室	専用利用	1 部屋	入場料を徴しない場合		非営利目的	1 時間	400 円
					営利目的	1 時間	1,200 円
			入場料を徴する場合		非営利目的	1 時間	800 円
					営利目的	1 時間	2,400 円

(5) 附属設備使用料

附属設備名	利用区分		利用単位	使用料
体育館照明設備	全面利用	全点灯	1 時間	600 円
相撲道場調理場利用	相撲道場の利用者に限定		1 時間	400 円
相撲道場風呂利用	相撲道場の利用者に限定		1 時間	1,000 円
パークゴルフクラブ	1 本		1 日	150 円
パークゴルフボール	1 個		1 日	50 円
椅子(施設内貸出の場合)	1 脚(30脚を超える分)		1 日	10 円
椅子(施設外貸出の場合)	1 脚		1 日	10 円
机(施設内貸出の場合)	1 台(15台を超える分)		1 日	20 円
机(施設外貸出の場合)	1 台		1 日	20 円
折りたたみ簡易ステージ	1 台		1 日	100 円
折りたたみ簡易ステージ用階段	1 個		1 日	100 円
会議室 冷暖房設備	1 部屋		1 時間	100 円

(6) 令和7年度 利用状況

単位：人

月	パークゴルフ場			体育館	野球場	相撲道場	会議室
	利用人数	大人	子供				
4月	1,756	1,747	9	1,065	75	0	199
5月	1,779	1,770	9	1,007	30	0	201
6月	1,986	1,975	11	936	40	0	230
7月	1,517	1,516	1	1,305	38	0	50
8月	1,749	1,730	19	972	25	60	116
9月	1,825	1,825	0	1,284	250	0	278
10月	1,771	1,763	8	2,145	90	0	317
11月	2,296	2,276	20	1,284	70	0	212
12月	1,586	1,585	1	1,408	0	0	131
1月	1,762	1,752	10	1,259	31	0	117
2月	1,717	1,715	2	1,000	105	0	122
3月	1,840	1,840	0	1,664	68	0	228
合 計	21,584	21,494	90	15,329	822	60	2,201

5. 角田公園テニスコート

(1) 施設内容

〒976-0014 相馬市北飯渕一丁目15-1 TEL 35-5091(FAX同)

- ・施設 人工芝(砂入り)テニスコート 8面(夜間照明付)
- ・開設 平成15年4月(平成24年3月7.8コート増設)

(2) 利用時間 午前9時～午後9時

(3) 休場日 12月31日、1月1日

(4) 使用料

施設名	利用区分	利用者	利用単位	使用料
テニスコート	1面 (普通券)	一 般	1時間	500円
		高校生以下	1時間	250円
	1面 (回数券)	一 般	11回	5,000円
		高校生以下	11回	2,500円
テニスコート照明施設	1面 1時間			200円
公園管理棟休憩室	1時間			500円

(5) 使用申込

- ・平日の午前9時～午後3時の当日利用 スポーツアリーナそうま
- ・平日の午後3時～午後9時の当日利用 角田公園テニスコート管理棟
- ・後日利用の予約や休日の利用 角田公園テニスコート管理棟
- ・団体の場合は使用する日の3日前までに、角田公園テニスコート管理棟で受付。

(6) 令和7年度 利用状況

単位：人

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	1,487	2,054	1,595	1,412	2,032	1,849	1,660	1,708	1,173	1,318	1,027	1,332	18,647

6. 長友グラウンド

(1) 施設内容

〒976-0042 相馬市中村字北町 94-2

多目的グラウンド(夜間照明付)

(2) 使用時間 午前5時00分～午後9時30分

(3) 使用申込 使用日の3カ月前から当日までスポーツアリーナそうまで受付

(4) 休 場 日 年中無休

(5) 使 用 料 グラウンド使用は無料 照明使用料 1,400円(1時間/全点灯)

(6) 令和7年度 利用状況

単位：人

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	965	1,573	3,422	360	764	5,495	2,552	986	612	743	783	968	19,223

7. 二の丸球場

(1) 施設内容

〒976-0042 相馬市中村字北町 96-1

野球場(夜間照明付)

(2) 使用時間 午前5時00分～午後9時30分

(3) 使用申込 使用日の3カ月前から当日までスポーツアリーナそうまで受付。

(4) 休 場 日 年中無休 ※ただし、照明の利用期間は4月1日～10月31日

(5) 使 用 料 グラウンド使用は無料 照明使用料 2,000円(1時間)

(6) 令和7年度 利用状況 ※9月から3月はスタンド改修工事により利用停止

単位：人

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	678	705	682	667	659	774	508	250	250	780	250	250	6,453

8. 相馬光陽パークゴルフ場

(1) 施設内容

〒976-0005 相馬市光陽四丁目 2-5

・敷地面積 118,776 m²(9コース、81ホール)

・コース総延長 4,289m

・管理棟 1棟 153.31 m²、東屋 2棟、倉庫 1棟、トイレ 3棟、アテスト棟 1棟

・駐車場 普通車 129台、車椅子用 4台、マイクロバス 2台

・開 設 平成19年4月1日(平成23年4月1日3コース、27ホール増設)

(2) 使用時間

・3月～10月まで 午前9時～午後5時

・11月～2月まで 午前9時～午後4時

(3)使用申込 相馬光陽パークゴルフ場 0244-26-8009 F A X 0244-36-1112

(4)休場日 12月31日・1月1日

(5)使用料

利用申請	利 用 区 分	利用単位	使用料
個人利用	1人	1日	500円

(6)附属設備使用料

附属設備名	利用区分	利用単位	使用料
パークゴルフクラブ	1本	1日	150円
パークゴルフボール	1個	1日	50円
テント	1張	1日	300円

(7) 令和7年度 利用状況

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大人	4,770	4,869	4,808	3,444	3,059	3,477	4,927	7,295	5,623	5,198	5,092	4,725	57,287
子供	12	20	4	2	23	9	11	29	15	12	17	33	187
合計	4,782	4,889	4,812	3,446	3,082	3,486	4,938	7,324	5,638	5,210	5,109	4,758	57,474

9. 相馬光陽ソフトボール場

(1) 施設内容

〒976-0005 相馬市光陽四丁目 2-5

- ・敷地面積 40,562 m²(ソフトボール・少年野球4面)
- ・管理棟 1棟、審判員棟 3棟、トイレ 3棟、東屋 1棟、物置 2基、倉庫 1棟
- ・駐車場 365台
- ・開 設 平成19年4月1日(平成26年10月にリニューアル)
- (内、相馬光陽多目的交流広場(わいわい広場))
- ・敷地面積 2,082 m²、トイレ 1棟、東屋 1棟、駐車場 30台
- ・開 場 平成23年4月1日

(2) 使用申込 NP0 法人オール相馬軍ソフトボール倶楽部事務局(タカクニススポーツ内)

TEL 0244-35-4254 FAX 0244-36-8233

(3) 休 場 日 12月31日、1月1日

(4) 使用時間 ・3月～10月 午前9時～午後5時

・11月～2月 午前9時～午後4時(12月～2月芝生養生のため使用禁止期間あり)

(5) 使用料

利用申請	利用区分	利 用 目 的 等		利用単位	使用料
専用利用	1面	アマチュアスポーツを目的	入場料を徴しない場合	1時間	300円
			入場料を徴する場合	1時間	600円
		その他の行事である場合	非営利目的の場合	1時間	1,800円
			営利目的の場合	1時間	5,400円

(6) 附属設備使用料

附属施設名	利用区分	使用料
相馬光陽多目的交流広場(わいわい広場)	全面利用	無料

(7) 令和7年度 利用状況

単位：人

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	1,030	690	1,270	430	785	890	4,770	1,545	200	0	180	510	12,300

10. 相馬こどもドーム

(1) 施設内容

〒976-0005 相馬市光陽四丁目 2-5

- ・開 設 平成26年12月22日
- ・面 積 1,200m² 多目的屋内運動場

(2) 使用申込 相馬光陽ソフトボール場に同じ

(3) 利用時間 午前9時～午後9時

- ・個人利用 午前9時～午前12時
- ・専用利用 午後1時～午後9時(事前予約必要)

※午後1時から午後5時までは、予約利用がなければ個人利用可能

(4) 休 場 日 12月31日、1月1日

(5) 使用料

利用申請	利用区分	利用目的等		利用単位	使用料
個人利用	1人当たり			1回につき	100円
専用利用	全面利用	入場料を徴しない場合	非営利目的の場合	1時間につき	1,000円
			営利目的の場合	1時間につき	2,000円
		入場料を徴する場合	非営利目的の場合	1時間につき	6,000円
			営利目的の場合	1時間につき	9,000円

(6) 令和7年度 利用状況 ※10月中旬から3月中旬まで幕張替工事により利用停止 単位：人

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	774	790	1,016	466	795	1,116	342	0	0	0	0	122	5,421

11. 相馬光陽サッカー場

(1) 施設内容

〒976-0005 相馬市光陽三丁目3-1

- ・敷地面積 110,000 m² (6面；天然芝コート3面、人工芝コート2面、サブコート1面)
- ・クラブハウス 631 m² (相馬市復興交流支援センター：木造平屋建)
- ・管理棟 1棟 33.12 m²、トイレ 2棟、物置 2基 (18.60 m²)
- ・夜間照明 6基 (人工芝Dコート)
- ・駐車場 845台
- ・開場 サッカー場：平成23年4月1日 (平成25年10月19日にリニューアル)
相馬市復興交流支援センター：平成26年9月15日

(2) 使用申込 NPO法人ドリームサッカー相馬 (相馬市復興交流支援センター)

TEL 0244-35-0127 FAX 0244-32-1877

(3) 休場日 12月31日、1月1日

(4) 使用時間 午前9時～午後9時 (人工芝Dコートのみナイター設備有)

(5)-1 相馬光陽サッカー場施設使用料

利用申請	利用区分	利用目的等		利用単位	使用料
専用利用	1面当たり	アマチュアスポーツを目的とする行事である場合	入場料を徴しない場合	天然芝メインコート	1時間につき 4,000円
				天然芝サブコート	1時間につき 2,000円
				人工芝コート	1時間につき 1,000円
				練習用コート	1時間につき 無料
		入場料を徴する場合		天然芝メインコート	1時間につき 5,000円
				天然芝サブコート	1時間につき 3,000円
				人工芝コート	1時間につき 2,000円
				練習用コート	1時間につき 1,000円
		その他の行事である場合	非営利目的の場合	天然芝メインコート	1時間につき 5,000円
				天然芝サブコート	1時間につき 4,000円
				人工芝コート	1時間につき 2,000円
				練習用コート	1時間につき 2,000円
			営利目的の場合	天然芝メインコート	1時間につき 10,000円
				天然芝サブコート	1時間につき 8,000円
				人工芝コート	1時間につき 4,000円
				練習用コート	1時間につき 4,000円

(5)-2 相馬光陽サッカー場附属施設使用料

利用場所	利用申請	利用区分	利用目的等			利用単位	使用料
復興交流支援センター	専用利用	1区画当たり (23 m ²)	入場料を徴しない場合	非営利目的の場合	会議室	1時間につき	400 円
				営利目的の場合	会議室	1時間につき	1,200 円
			入場料を徴する場合	非営利目的の場合	会議室	1時間につき	800 円
				営利目的の場合	会議室	1時間につき	2,400 円

(5)-3 相馬光陽サッカー場附属設備使用料

附属設備名	利用区分		利用単位	使用料
人工芝コート照明設備	全面利用	全点灯	1時間につき	1,000 円
		2分の1点灯		500 円
	半面利用	3分の1点灯		300 円
温水シャワー	一 式		1回につき	100 円

(6)-1 令和7年度 サッカーコート利用状況

単位：人

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	4,325	3,555	3,851	4,386	4,647	3,800	3,890	3,699	2,319	3,540	3,559	6,866	48,437

(6)-2 令和7年度 相馬市復興交流支援センター利用状況

単位：人

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	シャワールーム	15	15	9	5	11	41	3	0	13	0	15	141
	会議室	325	568	400	381	1,550	150	390	400	926	1034	542	7,828

12. 福島県相馬港庭球場

(1) 施設内容

〒976-0021 相馬市原釜字大津 267

砂入人工芝テニスコート3面

(2) 使用料

利用区分		利用者	利用の単位	使用料
1 面	普通券(1回)	高校生以上	1時間	500 円
		中学生以下	1時間	250 円
	回数券(11回)	高校生以上	1時間	5,000 円
		中学生以下	1時間	2,500 円

(3)使用時間 午前9時～午後6時

(4)使用申込

・使用日時の1ヶ月前から前日まで

・申込先 角田テニスコート TEL35-5091

(5)休 場 日 12月29日～1月3日

(6)令和7年度 利用状況

単位：人

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	17	41	54	46	18	47	30	24	0	35	10	10	332

13. 相馬市尾浜ビーチバレーボール場

(1) 施設内容

〒976-0022 相馬市尾浜字須賀畑地内

- ・敷地面積 2,259.25 m²
- ・ビーチバレーコート 4面(日本ビーチバレーボール連盟規格)
- ・開 場 令和2年7月18日

(2) 使用料 無料

(3) 使用時間 4月～9月 午前9時～午後5時、10月～3月 午前9時～午後4時

(4) 使用申込

尾浜子ども公園(尾浜交流館)TEL 0244-32-1732

受付は、午前8時30分から午後5時までで、3か月前から予約可能。

(5) 休 場 日 12月31日、1月1日

(6) 令和7年度 利用状況

単位：人

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	91	120	685	900	990	493	114	103	25	12	88	73	3,694

14. その他のスポーツ施設附属設備使用料

(1) 使用申込

使用する日の7日前までに、生涯学習課(37-2278)に直接申し込み。

附 属 設 備 名	利用区分	利用単位	使用料
テント	1 張	1 日	300 円
屋外放送設備	1 式	1 日	300 円

(2) 令和7年度 利用状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
テント	利用なし												
屋外放送設備	利用なし												

15. 学校開放

令和7年度利用状況

単位：人

		大野 小学校	山上 小学校	八幡 小学校	中村 第一 小学校	中村 第二 小学校	桜丘 小学校	飯豊 小学校	磯部 小学校	日立 木小 学校	中村 第一 中 学 校	中村 第二 中 学 校	向陽 中 学 校	磯部 中 学 校	合 計	
4月	グ	0	0	0	8	38	17	22	0	0	0	0	0	4	89	479
	体	23	13	26	28	71	44	52	70	0	7	24	32	0	390	
5月	グ	0	0	0	9	35	20	15	0	0	0	0	0	4	83	588
	体	33	22	24	28	94	55	48	81	5	36	36	43	0	505	
6月	グ	0	0	0	9	39	18	20	0	0	0	0	0	5	91	616
	体	34	22	27	38	93	46	63	77	4	32	40	49	0	525	
7月	グ	0	0	0	8	39	19	17	0	0	0	0	0	4	87	618
	体	34	21	27	30	97	57	61	79	5	36	31	53	0	531	
8月	グ	0	0	0	10	40	21	14	0	0	0	0	0	5	90	532
	体	34	14	19	32	100	55	44	60	4	26	16	38	0	442	
9月	グ	0	0	0	7	39	17	17	0	0	0	0	0	4	84	588
	体	36	14	23	36	92	53	51	72	4	34	39	50	0	504	
10月	グ	0	0	0	8	33	17	20	0	0	0	0	0	4	82	485
	体	31	21	18	41	49	48	19	67	5	32	37	35	0	403	
11月	グ	0	0	0	9	34	23	19	0	0	0	0	0	5	90	612
	体	36	28	26	27	92	63	64	74	4	34	29	45	0	522	
12月	グ	0	0	0	8	39	16	20	0	0	0	0	0	4	87	591
	体	35	24	28	41	90	59	55	69	4	30	26	43	0	504	
1月	グ	0	0	0	7	38	17	20	0	0	0	0	0	4	86	562
	体	27	21	24	36	91	61	63	57	4	32	18	42	0	476	
2月	グ	0	0	0	8	36	20	15	0	0	0	0	0	4	83	565
	体	31	24	25	39	85	57	57	60	4	31	26	43	0	482	
3月	グ	0	0	0	9	40	22	22	0	0	0	0	0	5	98	309
	体	13	6	9	0	26	39	0	34	2	26	31	25	0	211	
計	グ	0	0	0	100	450	227	221	0	0	0	0	0	52	1,050	6,545
	体	367	230	276	376	980	637	577	800	45	356	353	498	0	5,495	
合 計		367	230	276	476	1,430	864	798	800	45	356	353	498	52	6,545	

(凡例) 「グ」・・・グラウンド

「体」・・・体育館

16. パークゴルフ入場者の推移

	松川浦パークゴルフ場			光陽パークゴルフ場			総入場者数合計
平成25年度	総入場者数		33,906 人	総入場者数		78,580 人	112,486人
	内訳	市内入場者数	22,309 人	内訳	市内入場者数	30,034 人	
		市外入場者数 (内県外)	11,597 人 1,604 人		市外入場者数 (内県外)	48,546 人 19,148 人	
平成26年度	総入場者数		34,840 人	総入場者数		82,240 人	117,080人
	内訳	市内入場者数	23,559 人	内訳	市内入場者数	30,293 人	
		市外入場者数 (内県外)	11,281 人 1,632 人		市外入場者数 (内県外)	51,947 人 20,878 人	
平成27年度	総入場者数		36,588 人	総入場者数		81,553 人	118,141人
	内訳	市内入場者数	24,576 人	内訳	市内入場者数	24,298 人	
		市外入場者数 (内県外)	12,012 人 1,922 人		市外入場者数 (内県外)	57,255 人 23,986 人	
平成28年度	総入場者数		32,100 人	総入場者数		71,897 人	103,997人
	内訳	市内入場者数	22,029 人	内訳	市内入場者数	22,509 人	
		市外入場者数 (内県外)	10,071 人 2,037 人		市外入場者数 (内県外)	49,388 人 24,523 人	
平成29年度	総入場者数		27,560 人	総入場者数		64,279 人	91,839人
	内訳	市内入場者数	22,270 人	内訳	市内入場者数	21,256 人	
		市外入場者数 (内県外)	5,290 人 1,521 人		市外入場者数 (内県外)	43,023 人 27,576 人	
平成30年度	総入場者数		25,671 人	総入場者数		65,097 人	90,768人
	内訳	市内入場者数	20,684 人	内訳	市内入場者数	20,446 人	
		市外入場者数 (内県外)	4,987 人 1,522 人		市外入場者数 (内県外)	44,651 人 30,017 人	
令和元年度	総入場者数		23,399 人	総入場者数		63,152 人	86,551人
	内訳	市内入場者数	18,913 人	内訳	市内入場者数	19,652 人	
		市外入場者数 (内県外)	4,486 人 1,207 人		市外入場者数 (内県外)	43,500 人 27,915 人	
令和2年度	総入場者数		23,221 人	総入場者数		56,736 人	79,957人
	内訳	市内入場者数	18,980 人	内訳	市内入場者数	19,002 人	
		市外入場者数 (内県外)	4,241 人 953 人		市外入場者数 (内県外)	37,734 人 25,518 人	
令和3年度	総入場者数		25,228 人	総入場者数		63,999 人	89,227人
	内訳	市内入場者数	19,498 人	内訳	市内入場者数	19,418 人	
		市外入場者数 (内県外)	5,730 人 1,084 人		市外入場者数 (内県外)	44,581 人 27,914 人	
令和4年度	総入場者数		22,952 人	総入場者数		64,738 人	87,690人
	内訳	市内入場者数	18,337 人	内訳	市内入場者数	20,288 人	
		市外入場者数 (内県外)	4,615 人 1,192 人		市外入場者数 (内県外)	44,450 人 31,561 人	
令和5年度	総入場者数		22,350 人	総入場者数		62,359 人	84,709人
	内訳	市内入場者数	17,846 人	内訳	市内入場者数	19,208 人	
		市外入場者数 (内県外)	4,504 人 1,221 人		市外入場者数 (内県外)	43,151 人 30,439 人	
令和6年度	総入場者数		21,921 人	総入場者数		62,974 人	84,895人
	内訳	市内入場者数	17,523 人	内訳	市内入場者数	20,815 人	
		市外入場者数 (内県外)	4,398 人 1,270 人		市外入場者数 (内県外)	42,159 人 29,790 人	
令和7年度	総入場者数		21,584 人	総入場者数		57,474 人	79,058人
	内訳	市内入場者数	17,176 人	内訳	市内入場者数	18,437 人	
		市外入場者数 (内県外)	4,408 人 1,411 人		市外入場者数 (内県外)	39,037 人 27,944 人	

※平成25年度～令和7年度(13年間を掲載)

第6 学校教育



(全国学力・学習状況調査の様子)

第6 学校教育

1 学校教育の重点目標・努力目標

重点目標 地域づくりを支え、心豊かに力強く生き抜く子どもの育成

【方針】

相馬市の子どもたちに、これからの時代を生き抜くための必要な力を身に付けさせるために、R S T・I C T活用の取組を継続していく。

【努力目標】

確かな学力の育成

◇ 児童生徒に基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して問題解決に必要な思考力、判断力、表現力等の能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を育成します。

I 授業改善

1	さらなる読解力向上を目指し、R S の視点を意識した授業改善を推進します。 ・ R S T 活用 ・ 指導主事訪問 ・ 要請訪問 ・ 研修の充実 ・ 授業力向上研修会	◇学校教育指導の重点 ・ 「ふくしまの授業スタンダード」 ・ 「『学びの変革』授業デザイン」 ・ 授業改善グランドデザイン ・ 「ふくしま活用力育成シート」
2	個別最適化された学びを推進するため、I C T の積極的な活用を促します。 ・ I C T 活用 ・ I C T 支援員の配置と活用・校内研修の充実 ・ プログラミング学習	◇GIGAスクール構想 ・ 「福島県教育ダッシュボード」 ・ 「キビタンシート」、「自分手帳」
3	外国語学習への興味関心を高め、コミュニケーション能力の向上を推進します。 ・ A L T、英語活動支援員配置	◇ふくしま外国語推進リーダー活用事業 ・ 「イングリッシュ・コンパス」

II 家庭との連携の充実

4	学校と家庭との連携を推進し、家庭学習の質的向上と習慣化を図ります。 ※「自己マネジメント力(自分で学習や生活を改善する力)」の育成 ・ 教科書を活用した家庭学習の取組 ・ 「相馬市家庭学習の手引き」の活用 ・ 読書の推進 ・ 家庭との連携 「心の支え」「環境づくり」「習慣づくり」	・ 「ふくしまの家庭学習スタンダード」 ・ 「家庭での学習・生活チェックシート」
---	--	---

豊かな心の育成

◇ 道徳教育や生徒指導の充実を図り、生命の大切さや思いやり・感謝の心、規範意識の醸成等、豊かな心を育成します。

Ⅲ 道徳教育の充実

1	一人一人の内面に根ざした道徳性の育成を図るため、「考え、議論する道徳」を進めます。 ・要請訪問 ・授業参観等での授業公開 ・人権作文	◇道徳教育総合支援事業 ・「道徳教育アーカイブ」 ・「道徳のとびら」 ・「ふくしま道徳教育資料集」 ・「モラル・エッセイコンテスト」
---	---	--

Ⅳ 生徒指導・心のケアの充実

2	思いやりをもって関わり合い、互いのよさを認め合いながら、親和的な学級づくりに努めます。 ・Q-Uアンケート	◇スクールカウンセラー派遣事業 ◇スクールソーシャルワーカー派遣事業 ◇不登校・いじめ等対策推進事業 ◇不登校児童生徒支援センター（room F） ・「ふくしまサポートガイド」
3	いじめの早期発見、早期対応のための組織的対応を徹底し、積極的な認知と未然防止に努めます。 ・Q-Uアンケート ・いじめ防止宣言 ・SCの活用	
4	一人一人に寄り添ったきめ細かな指導を徹底し、心のケアの充実に努めます。 ・相馬フォロアーチーム ・SSW ・メンタルヘルスサポート ・適応指導教室	

健やかな体の育成

◇ 子どもたちが心身ともに健やかで安全に成長していけるよう、自らの体力向上や健康課題の改善に進んで取り組む態度を育成します。

Ⅴ 健康・体力・運動能力の向上

1	一人一人の健康・体力の課題を明確にし、その解決策を具体的に策定し、課題改善に向けた取組を推進します。 ・第3次健康相馬21（相馬市健康増進計画） ・新体力テスト ・体力向上推進計画 ・「自分手帳」の活用	◇ふくしまっ子体力向上プロジェクト ・「運動身体づくりプログラム」 ・「ふくしまっ子児童期運動指針」 ・「自分手帳」 ・「ふくしま情報モラル診断」
2	家庭と連携したより良い生活習慣の形成を推進します。 ・情報モラル教育の充実（ゲーム・ネット依存予防） ・市連P「携帯・スマホ等使わせ方宣言」	

VI 食育の充実		
3	家庭と連携した望ましい食習慣の形成を推進し、肥満傾向児出現率の低減を目指します。 ・栄養教諭・栄養士の活用 ・栄養教室 ・市朝食摂取率調査 ・「自分手帳」の活用	◇第四次福島県食育推進計画 ◇「ふくしまっ子食育指針」 （食べる力・感謝の心・郷土愛） ・ふくしまっ子栄養教室 ・「朝食について見直そう週間運動」 ・「ふくしまっ子ごはんコンテスト」 ・「肥満対応ガイドライン」 ・「自分手帳」
4	安全・安心な学校給食を提供するとともに、地元産食材の積極的な活用や地域の伝統的な料理を献立とすることにより、学校給食を通じた食育を推進します。 ・第3次健康相馬21（相馬市食育推進計画） ・給食無償化 ・食物アレルギー対応 ・地元食材の積極的活用 ・関係機関との連携 ・「自分手帳」の活用 ・SDGsとの関連性	
VII 安全教育の充実		
5	防災教育を推進し、一人一人が自らの命を守り抜く力を育成します。 ・学校安全計画 ・学校災害対応マニュアル ・防災担当教諭レベルアップ研修会 ・そうまジュニア防災マスター ・関係機関との連携	◇第3次学校安全の推進に関する計画 ・「放射線教育・防災教育指導資料」 ・「放射線教育・防災教育実践事例」 ・「放射線副読本」
6	放射線教育を推進し、「正しく恐れ、賢く避ける」等、主体的に判断し行動する力を育成します。 ・「放射線教育指導資料」を使用した指導 ・放射線教育研修会	

特別支援教育		
◇ 障がいについての基本的な理解のもと、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな教育を展開し、個々の能力を最大限に伸ばします。		
VIII 特別支援教育の充実		
1	多様な教育的ニーズをふまえ、きめ細かな支援の充実を推進します。 ・合理的配慮 ・特別支援教育支援員配置 ・就学指導の充実 ・個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成・活用 ・特別支援教育コーディネーターの活用 ・校内研修の充実 ・特別支援教育研修会	◇ふくしまの誰一人取り残さない教育体制整備事業 ・「特別支援学校・特別支援学級・通級による指導にかかわる就学支援の手引」 ～障がいのある子どもの就学に関わる人のために～ ・「就学事務の手引き」

キャリア教育

◇ キャリア教育を充実させ、一人一人の社会的・職業的自立に向け、基礎的・汎用的能力を育成します。

IX キャリア教育の充実

1	組織的・計画的なキャリア教育の推進により、望ましい勤労観、職業観の定着を図ります。 ・企業等による出前講座 ・出張実験教室 ・先生ちょっぴり体験 ・主権者教育 ・「まちづくり出前講座」の活用 ・「子どもの学びサポート事業」の活用	・「キャリア・パスポート」
2	豊かな体験活動や歴史・伝統文化の学習を通して、相馬市への「郷土愛」を育みます。 ・「ふるさと相馬」の活用 ・「報徳仕法」の学び ・子ども科学フェスティバル	・「わたしたちのふるさと福島県」の活用（小学校社会科地域副読本） ・「うつくしま電子辞典」の活用
3	地域社会の課題解決や魅力発信に向けた探究的な学びを通して、主体的に社会に参画する態度を育みます。 ・地域・企業との連携 ・連携型による中高一貫教育事業『中高連携合同発表会』	◇第7次福島県総合教育計画「第3章、第4章 施策4」

幼児教育

◇ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をふまえた特色ある教育活動を展開し、「生き抜く力」の基礎を育成します。

X 幼児教育の充実

1	幼児教育の質的向上を図るため、市公立幼稚園会の組織を生かした研究・実践を推進します。 ・研修の充実 ・要請訪問 ・幼稚園教員研修会 ・保護者アンケートの実施	◇ふくしまの誰一人取り残さない教育体制整備事業 ・「障害のある子供の教育支援の手引き」 ・「就学事務の手引き」
2	小学校教育へのスムーズな移行を図るため、小学校との連携を充実させます。 ・園長の兼務 ・幼小接続期プログラム（幼：アプローチカリキュラム・小：スタートカリキュラム・幼小：架け橋期のカリキュラム〔Bambi Sheet：幼稚園会の取組〕）	・「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き」
3	多様な教育的ニーズに応じた、きめ細かな支援の充実を図ります。 ・特別支援教育支援員配置 ・個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成・活用 ・成長の記録ファイル「そうま」の活用（市地域自立支援協議会子ども支援部会作成）	

教育環境

◇ すべての子どもの学びを保障するため、家庭、地域及び関係機関と連携を図りながら、安全・安心かつ時代の要請に応える教育環境の整備・充実に努めます。

XI 教育環境の充実

1	教職員の資質向上と授業力の向上を図るため、現職教育の活性化や本市の課題に対応した各種研修等を開催します。 ・ R S T 活用研修 ・ 実践センター研修等	◇サポートティーチャー派遣事業 ◇スクール・サポート・スタッフ事業 ◇GIGAスクール構想
2	学校評価等の結果を効果的に活用し、学校経営の改善を図り、地域から信頼される学校づくりを目指します。 ・ 学校評価 ・ コミュニティ・スクール	
3	より豊かな学びが提供できるよう学習環境を整備します。 ・ 一人一台端末の活用 ・ 校務支援システムの活用 ・ 相馬寺子屋学習会 ・ 熱中症対策 ・ 放射線量測定 ・ 感染症対策	

2 市内学校及び幼稚園・保育園等概要

1. 市立幼・小・中学校別学級数及び児童・生徒数の推移

①小学校	学級数	児童数の推移									
学 校 名	R8. 4	R8. 4	R7. 4	R6. 4	R5. 4	H30. 4	H25. 4	H20. 4	H15. 4	H10. 4	H1. 4
大野小学校	8	128	140	152	148	175	195	180	182	175	241
山上小学校	3	20	22	24	20	35	64	62	83	106	99
玉野小学校						閉校 (H29. 3. 31)	11	27	27	21	55
八幡小学校	8	78	91	99	105	111	99	138	146	140	209
中村第一小学校	15	298	340	343	331	360	387	396	423	469	657
中村第二小学校	16	308	333	375	392	369	415	494	539	577	674
桜丘小学校	18	399	444	441	464	488	494	523	492	566	798
飯豊小学校	9	176	192	199	210	213	210	251	288	308	288
磯部小学校	2	8	14	15	19	36	63	130	125	127	211
日立木小学校	7	72	80	82	86	91	98	99	100	153	194
計 10校	86	1, 487	1, 656	1, 730	1, 775	1, 878	2, 036	2, 300	2, 405	2, 642	3, 426

②中学校	学級数	生徒数の推移									
学 校 名	R8. 4	R8. 4	R7. 4	R6. 4	R5. 4	H30. 4	H25. 4	H20. 4	H15. 4	H10. 4	H1. 4
玉野中学校						閉校 (H29. 3. 31)	12	12	6	27	29
中村第一中学校	16	419	385	392	385	400	417	421	443	599	687
中村第二中学校	10	198	186	167	167	204	220	253	294	303	300
向陽中学校	12	311	324	328	335	340	402	411	490	574	693
磯部中学校	2	9	4	11	22	22	46	68	66	90	117
計 5校	40	937	899	898	909	966	1, 097	1, 165	1, 299	1, 593	1, 826

③幼稚園	学級数	園児数の推移									
幼 稚 園 名	R8. 4	R8. 4	R7. 4	R6. 4	R5. 4	H30. 4	H25. 4	H20. 4	H15. 4	H10. 4	H1. 4
大野幼稚園	1	3	7	10	14	28	31	24	15	26	55
山上幼稚園(休園中)	-	-	-	-	-	-	17	16	11	19	33
玉野幼稚園(閉園)						閉園 (H29. 3. 31)	休園中	4	11	10	18
八幡幼稚園	2	8	8	7	11	32	20	34	33	37	54
飯豊幼稚園	2	18	19	17	16	38	33	32	34	48	56
磯部幼稚園(休園中)	-	-	-	-	-	-	11	22	40	42	61
日立木幼稚園(休園中)	-	-	8	10	9	14	20	27	26	27	51
計 7園	5	29	42	44	50	112	132	159	170	209	328

2. 市内小・中学校概要

学 校 名	創立年月	所 在 地	電 話	校 長 氏 名	教 頭 氏 名	学 級 数	
						普通	特支
大野小学校	明治 6. 1 0	相馬市大坪字東畑7	3 5 - 2 0 7 3 F 2 6 - 7 4 8 0	吉 田 広	板 倉 正 哉	6	2
山上小学校	明治 6. 1 0	〃 山上字柳下32-2	3 2 - 5 0 0 2 F 3 2 - 1 8 3 0	佐 藤 孝 浩	佐 藤 紗 織	③	0
玉野小学校	明治 7. 5	〃 玉野字町74	平成29年3月31日閉校				
八幡小学校	明治 2 3. 1 1	〃 坪田字清水前9-3	3 5 - 3 2 0 8 F 3 5 - 3 2 2 7	坂 本 剛	大 槻 さおり	6	2
中村第一小学校	明治 6. 9	〃 中村字大手先1	3 5 - 3 1 6 8 F 3 6 - 8 6 4 4	目 黒 信 浩	武 澤 裕 二	11	4
中村第二小学校	明治 6. 1 0	〃 尾浜字細田1	3 8 - 8 1 0 4 F 3 8 - 8 1 5 9	織 田 島 賢 嗣	佐 藤 芳 幸	12	4
桜丘小学校	昭和 3 1. 4	〃 中村字桜ヶ丘179	3 5 - 3 1 4 8 F 3 5 - 2 0 2 7	荒 博 史	橘 寿 史	14	4
飯豊小学校	明治 6. 9	〃 大曲字天神前42	3 5 - 3 2 0 9 F 3 6 - 7 4 9 9	芳 賀 沼 智	亀 岡 洋	7	2
磯部小学校	明治 7. 3	〃 磯部字上ノ台467-2	3 3 - 5 0 0 9 F 3 3 - 5 0 2 4	酒 井 泰	伏 見 哲 矢	②	0
日立木小学校	明治 6. 1 1	〃 日下石字神明前14	3 5 - 2 9 0 6 F 3 5 - 2 9 4 1	竹 元 俊 文	高 橋 泰 明	6	1
計 9校						67	19
玉野中学校	昭和 2 4. 1 0	相馬市玉野字坂口4	平成29年3月31日閉校				
中村第一中学校	昭和 2 2. 4	〃 中村字本町132-1	3 5 - 2 2 3 7 F 3 5 - 2 3 5 5	志 賀 嘉 津 美	嶋 原 和 敬	12	3
中村第二中学校	昭和 2 2. 4	〃 和田字北迫185-13	3 8 - 7 1 0 1 F 3 8 - 7 1 0 2	高 瀬 永 志	柏 木 真 由 美	7	3
向陽中学校	昭和 3 6. 4	〃 中野字桜町76	3 5 - 2 3 4 8 F 3 5 - 2 8 4 9	青 田 亮 一	千 葉 正 俊	11	2
磯部中学校	昭和 2 2. 4	〃 磯部字上ノ台467-2	3 3 - 5 5 1 0 F 3 3 - 5 0 2 4	穂 積 隆 志	齊 藤 雄 策	1+①	0
計 4校						32	8
合 計 13校						99	27

○は複式学級

(令和8年5月1日現在)

児童生徒数			教職員数				市職員数			面積(m ²)			PTA会長
男	女	計	教員	養護	事務	栄養	用務	給食	その他	校地	校舎	屋内運動場	
71	57	128	11	1	1	0	1	0	③	19,687	3,194	708	町田 和哉
9	11	20	6	1	1	0	①	0	0	16,789	1,966	536	齊藤 智英
										6,136	1,323	308	
36	42	78	12	1	1	①(市)	①	0	③	10,609	2,159	525	白 梶 清 人
157	141	298	23	1	1	1(県)	①	4	⑥	11,660	4,252	856	菊 地 翔 也
155	153	308	21	1	1	1(県)	①	0	⑥	25,413	5,365	1,258	高 橋 伸 弥
215	184	399	30	1	1	1(県)	①	5	⑥	19,860	5,824	1,053	水 嶋 翔
104	72	176	14	1	1	0	①	3	③	16,126	3,299	859	紺 野 洋 子
4	4	8	6	1	1	0	1	0	0	16,559	2,251	683	佐 藤 淳
35	37	72	11	1	1	①(市)	1	0	②	11,463	2,075	517	木 幡 好 孝
786	701	1,487	134	9	9	県3 市②	3	12	②⑨				
										8,238	1,679	382	
229	190	419	32	1	1	2(県)	①	0	①	30,369	5,921	1,200	澁 谷 典 男
103	95	198	22	1	1	0	1	0	①	26,326	3,984	1,029	三 瓶 建 明
160	151	311	25	1	1	1(県)	①	0	③	20,892	6,119	1,253	小 迫 政 人
2	7	9	7	1	1	0	0	0	0	16,704	1,915	709	石 橋 由 加 里
494	443	937	86	4	4	県3	1	0	②⑤				
1,280	1,144	2,424	220	13	13	県6 市②	4	12	⑧⑫				

※教職員数については学校基本調査に基づく

(兼)は兼務

○は臨時職員

3. 幼稚園・保育園・高校・専修学校概要

市 立 幼 稚 園	園 名	創立年月	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
	大野幼稚園	昭43. 4	相馬市大坪字東畑7	35－1962	吉 田 広
	山上幼稚園	昭44. 4	〃 山上字柳下32－2	休園中	
	玉野幼稚園	昭46. 4	〃 玉野字町74	平成29年3月31日閉園	
	八幡幼稚園	昭44. 4	〃 坪田字清水前9－3	36－3808	坂 本 剛
	飯豊幼稚園	昭47. 4	〃 大曲字天神前42	35－6756	芳 賀 沼 智
	磯部幼稚園	昭47. 4	〃 磯部字上ノ台467－2	休園中	
	日立木幼稚園	昭45. 4	〃 日下石字神明前14	休園中	
	計 7園				

私 立 幼 稚 園	園 名	創立年月	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
	中村幼稚園	昭 5.4	相馬市新沼字坪ヶ迫506-2	35-3030	荒 崇 志
	原釜幼稚園	昭29.4	〃 原釜字由沼8-18	38-6281	高 橋 司
	計 2園				

認 定 こ ど も 園	園 名	創立年月	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
	認定こども園 みどり幼稚園 (幼保連携型)	昭33.4	相馬市中村字大手先39	35-2463	永 井 清 美

私 立 保 育 園	園 名	創立年月	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
	中村報徳保育園	昭 6.6	相馬市中村字川原町50	36-1800	種 田 亜 希 子
	相馬保育園	昭28.5	〃 中野字寺前37-8	35-2570	和 田 信 智
	みなと保育園	昭36.4	〃 尾浜字原189	38-8045	和 田 信 寿
	さくらがおか保育園	平14.4	〃 中村字川沼298	37-7211	濱 名 郁 子
	スクルドエンジェル保 育園そうま園	平28.3	〃 塚ノ町二丁目7-1	41-9042	阿 部 千 春
	計 5園				

県 立 学 校	校 名	創立年月	所 在 地	電 話	校 長 氏 名
	相馬高等学校	明31.4	相馬市中村字大手先57-1	36-1331	伊 藤 靖 隆
	相馬総合高等学校	令4.4	〃 北飯渕字阿弥陀堂200	36-6231	櫻 田 涉
	計 2校				

専 修 学 校	校 名	創立年月	所 在 地	電 話	校 長 氏 名
	相馬看護専門学校	平13.4	相馬市石上字南蛭沢344	37-8118	高 山 純

(令和8年5月1日現在)

4歳児		5歳児		園児計	校 医	P T A会長
男	女	男	女			
0	0	1	2	3	小兼任	町 田 和 哉
-	-	-	-	-	-	-
1	2	1	3	7	小兼任	白 桃 清 人
5	6	7	1	19	小兼任	紺 野 洋 子
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
6	8	9	6	29		

園 児 数			
3歳児	4歳児	5歳児	計
40	35	42	117
6	14	19	39
46	49	61	156

認定区分	園 児 数				
	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1号認定	0	16	17	11	44
2号認定	0	56	68	43	167
計	0	72	85	54	211

園 児 数			備 考
3歳未満	3歳	4歳以上	
59	0	0	59 社 会 福 祉 法 人
39	25	44	
59	21	54	
46	2	7	134 社 会 福 祉 法 人
8	2	7	
17	2	7	
46			社 会 福 祉 法 人
17			S O Uキッズケア(株)
364			

教 科	学級数	生徒数	P T A 会 長 名
理 数	3	425	荒 武 範
普 通	9		
総 合	14	473	遠 藤 一 美
		898	

教 科	学級数	生徒数
看 護	3	103

3 学校施設等の耐震診断結果と対応

(令和8年4月1日現在)

幼稚園名・学校名	区 分	棟 名	構 造	階数	建築年	延 べ 床面積 (㎡)	耐震性能	対 応
磯部幼稚園	校 舎	園 舎	S	1	H05	320	新耐震	
飯豊幼稚園	校 舎	園 舎	R C	1	S61	447	新耐震	
大野幼稚園	校 舎	園 舎	S	1	H06	398	新耐震	
八幡幼稚園	校 舎	園 舎	S	1	S62	400	新耐震	
山上幼稚園	校 舎	園 舎	S	1	S61	320	新耐震	
日立木幼稚園	校 舎	園 舎	S	1	H03	320	新耐震	
中村第一小学校	校 舎	教室管理室棟	W	2	H23	4,252	新耐震	
	屋内運動場	屋 内 運 動 場	S	2	S42	856	A・D	H 2 1 ・ 2 2 年度 耐震補強工事実施
中村第二小学校	校 舎	教室管理室棟	R C	3	H10	5,365	新耐震	
	屋内運動場	屋 内 運 動 場	R C	2	H11	1,258	新耐震	
大野小学校	屋内運動場	屋 内 運 動 場	R C	2	S58	708	新耐震	
	校 舎	教室管理室棟	R C	3	H06	3,130	新耐震	
山上小学校	校 舎	教室管理室棟	R C	2	S61	1,966	新耐震	H 3 0 年度 大規模改修実施
	屋内運動場	屋 内 運 動 場	S	2	H24	536	新耐震	
八幡小学校	屋内運動場	屋 内 運 動 場	S	1	S48	525	D・D	H 2 2 年度 耐震補強工事実施
	校 舎	教室管理室棟	R C	3	H05	2,159	新耐震	
飯豊小学校	校 舎	特 別 教 室 棟 (東 棟 1、2 階)	R C	3	H01 (S54)	761	新耐震	
	校 舎	特 別 教 室 棟 (東 棟 3 階)	R C	3	H01	318	新耐震	
	校 舎	教室管理室棟	R C	3	H01	2,220	新耐震	
	屋内運動場	屋 内 運 動 場	S	2	H19	859	新耐震	
磯部小学校	校 舎	教室管理室棟	R C	2	H08	2,251	新耐震	
	屋内運動場	屋 内 運 動 場	S	1	H26	683	新耐震	
日立木小学校	校 舎	教室管理室棟	R C	2	S47	1,630	B・A	H 2 1 年度 耐震補強工事実施
	校 舎	特 別 教 室 棟	R C	2	S49	445	A・A	
	校 舎	職員室増築棟	S	1	R2	68	新耐震	
	校 舎	便 所 増 築 棟	S	1	R2	33	新耐震	
	屋内運動場	屋 内 運 動 場	S	2	S48	517	C・A	H 2 1 ・ 2 2 年度 耐震補強工事実施
桜丘小学校	校 舎	教 室 棟 (北 校 舎 東 棟)	R C	2	S54	584	A・A	
	校 舎	教室管理室棟 (北 校 舎 西 棟)	R C	3	H02	2,660	新耐震	
	校 舎	教 室 棟 (北 校 舎 東 棟)	R C	2	H02	181	新耐震	
	校 舎	教 室 棟 (南 校 舎)	R C	3	H03	2,399	新耐震	
	屋内運動場	屋 内 運 動 場	S	1	H25	1,053	新耐震	
中村第一中学校	校 舎	教 室 棟 (南 校 舎 中央 棟)	R C	3	S53	1,554	D・C・A	H 2 1 年度 耐震補強工事実施
	校 舎	教 室 棟 (南 校 舎 西 棟)	R C	3	S53	671	D・C・A	
	校 舎	特 別 教 室 棟 (音 楽 室 棟)	R C	2	S53	354	B	
	校 舎	教室管理室棟 (東 校 舎)	R C	3	S54	2,834	C・C・B	
	校 舎	特 別 教 室 棟 (北 校 舎)	R C	3	S54	508	C・C・A	
	屋内運動場	屋 内 運 動 場	S	2	S56	1,200	A・A	

(令和8年4月1日現在)

幼稚園名・学校名	区 分	棟 名	構 造	階数	建築年	延 べ 床面積(m ²)	耐震性能	対 応
向陽中学校	校 舎	教室管理室棟	R C	3	H15	6,119	新耐震	
	屋内運動場	屋 内 運 動 場	R C	2	H17	1,253	新耐震	
中村第二中学校	校 舎	教室管理室棟	R C	3	H30	3,779	新耐震	
	校 舎	給 食 室 棟	S	1	H30	205	新耐震	
	屋内運動場	屋 内 運 動 場	R C	2	S59	1,029	新耐震	
	屋内運動場	柔 剣 道 場	S	1	S59	220	新耐震	
磯部中学校	校 舎	教室管理室棟	R C	2	S57	1,915	新耐震	
	屋内運動場	屋 内 運 動 場	R C	2	S58	709	新耐震	

* 耐震性能の欄の表示は、1・2・3階の順に表示しています

1 建築物の耐震診断の基準

旧耐震基準の建築物について、その構造（RC、S）により、以下の基準のいずれかにて耐震診断を行っています。

- ・RC造 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」
(財団法人 日本建築防災協会)
- ・S 造 「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」
(財団法人 日本建築防災協会)
- 「屋内運動場の耐震性能診断基準」
(文部科学省大臣官房文教施設企画部)

2 これらの基準等で診断した建築物の構造耐震指標値（Is）により、耐震性能を次表の区分により表示しています。

区 分	建築物の構造 耐震指標値 (Is)	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性 （耐震性能）
A	$Is \geq Iso$	大地震の振動及び衝動に対して倒壊し、又は、倒壊する危険性が低い。
B	$Iso > Is \geq 0.6$	大地震の振動及び衝動に対して倒壊し、又は、倒壊する危険性が低い、施設機能が確保できないおそれがある。
C	$0.6 > Is \geq 0.3$	大地震の振動及び衝動に対して倒壊し、又は、倒壊する危険性がある。
D	$0.3 > Is$	大地震の振動及び衝動に対して倒壊し、又は、倒壊する危険性が高い。
新 耐 震	新耐震基準の建築物は、耐震診断の必要がありません。	

3 用語の説明

新耐震基準の建築物 (以下「新耐震基準」)	昭和56年6月1日に施行された建築基準法施行令の耐震関係の基準により建設した建築物。（建築物の耐用年限中に一度は遭遇するかもしれない程度の地震（震度6強～7程度）に対し、建築物の柱、壁、梁、斜材などに部分的なひび割れ等の損傷を生じて、最終的に崩壊からの人命の保護を図るもの。）
旧耐震基準の建築物 (以下「旧耐震基準」)	上記以前の基準により建設した建築物。
Is (建築物の構造 耐震指標値)	構造物の構造体の耐震性能をあらわす指標値。
Iso	想定した地震動レベル（震度6強程度を想定）に対して建築物が所要する耐震性能が安全であるために必要とされる指標値。
構造耐力上主要な部分	柱、壁、梁、斜材などで建築物の自重、積載荷重、積雪および地震などの衝撃や振動を支えるもの。
RC	鉄筋コンクリート造
S	鉄骨造
W	木造

4 相馬市教育研究実践センター

〒976-0041 相馬市西山字表西山92-1
 T E L 36-2119 36-2114
 F A X 36-2118

(1) 施設概要 鉄筋コンクリート造 2 階建

建築延面積 6 4 8 . 4 3 m² 敷地面積 1 , 6 2 2 . 9 1 m²

開設年度平成 1 6 年度

1 階 事務室、相談室、教室、 2 階 会議室、和室

(2) 事業内容 教職員の研修会の実施、英語教育の推進、A L T 勤務計画作成

【適応指導教室】不登校児童生徒への登校復帰の支援、児童・生徒についての教育相談、
家庭教育上の悩みに対する相談

(3) 事業計画

会議・研修会等名	対象者	回数	延べ人数	会 場
授業力向上研修会	教諭及び講師	4	80	市内各小中学校
幼稚園教員研修会	各園幼稚園教員	1	6	相馬市教育研究実践センター
特別支援教育研修会	特別に支援を必要とする児童生徒が在籍する学級の担任、希望者	2	26	相馬市教育研究実践センター
学級経営研修会	学級担任、校長、教頭等	2	60	市民会館多目的ホール
特別支援教育支援員研修会	特別支援教育支援員	1	34	相馬市役所
学力向上推進会議	推進委員	5	65	相馬市教育研究実践センター 相馬市役所
小中学校初任者研修	初任者の教員	4	24	相馬市教育研究実践センター、 市内小中学校、スマイルセンターほか
小中学校 2 年次教員フォローアップ研修	教職 2 年目の教員	1	14	ホテルみなとや、丸三旅館ほか
放射線教育研修会	各校 1 名以上、希望者	1	15	相馬市教育研究実践センター
相馬市英語教育推進会議	推進員、英語活動支援員、ALT 担当者	3	45	相馬市教育研究実践センター 市内小・中学校
教育研究実践センター事業検討会	代表者	1	15	相馬市教育研究実践センター

第7 関係団体



(相馬市芸能大会の様子)

第7 関係団体

1 文化関係団体

名称等 区分			団体名	代表者	会員数
			市文化団体連絡協議会	荒 秀 一	—
芸 能	1	1	相馬民謡同好会	伏見とみ子	15
	2	2	日本舞踊花柳流花橘会	花柳花久美	7
	3	3	新日本舞踊村井流相竜会	松 本 巻 子	36
	4	4	日本舞踊藤乃流	藤 乃 豊 紫	8
	5	5	相馬太極拳教室	吉 田 和 子	17
	6	6	ナラニ&レイラニ フラスクール	門 馬 智 枝	46
	7	7	リリアフラスクール相馬	門馬美恵子	24
	8	8	まきばバレエ	澁 谷 直 美	8
	9	9	民謡手踊り 秀寿美会	佐久間秀子	12
	10	10	相馬民謡 聖真会	高 玉 良 一	18
美 術	1	11	相美会	羽 根 田 隆	24
	2	12	相馬書道会	遠 藤 利 男	53
	3	13	相馬写友会	新 妻 芳 延	8
文 芸	1	14	相馬短歌会	佐 藤 長 子	5
趣 味	1	15	日本棋院相双支部相馬部会	澁 谷 健 司	21
	2	16	相馬市華道教授会	千 枝 浩 美	15
	3	17	相馬釣りの友会	柳 澤 實	8
			会員数合計	325	

2 相馬市スポーツ協会

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	渡 部 卓	幹 事	針ヶ谷 克 之
副 会 長	太 田 昌 彦	幹 事	清 水 孝 弘
副 会 長	若 林 満 男	幹 事	木 下 久 美
副 会 長	松 下 洋 子	幹 事	荒 陽 子
監 事	小 川 泰 司	幹 事	板 倉 素 子
監 事	鈴 木 誠 一	幹 事	上 田 和 真
監 事	鳥 居 恒 紀		

理 事		代 議 委 員	
所 属	氏 名	氏 名	
射 撃	小 川 泰 司	久米本 秋 雄	大 浦 典
卓 球	小 泉 直 人	堀 内 邦 康	鈴 木 誠 一
野 球	若 林 満 男	伊 東 正 光	高 橋 純
ソ フ ト ボ ー ル	渡 部 卓	清 水 孝 弘	渡 部 忠 夫
弓 道	木 下 久 美	渡 邊 千 秋	菊 池 良 規
剣 道	菅 谷 孝 生	齋 藤 裕 保	西 村 昌 浩
柔 道	佐 藤 智 英	清 信 守 雄	荒 一 晴
ソ フ ト テ ニ ス	黒 田 修 一	早 川 文 雄	板 倉 哲 夫
バ ド ミ ン ト ン	太 田 昌 彦	坂 本 剛	大 宮 雅 美
バ レ ー ボ ー ル	篠 木 美 佐 子	菊 池 智 亜 希	秋 山 操
ス キ ー	青 田 秀 満	鹿 又 幸 也	横 山 厚 子
テ ニ ス	松 下 洋 子	渡 辺 和 彦	荒 日 出 男
サ ッ カ ー	新 妻 公 夫	佐 藤 光 崇	上 田 和 真
ゴ ル フ	宇 野 文 洋	平 澤 貞 昭	今 野 健 児
ラ ン ナ ー ズ	荒 陽 子	大 須 賀 正 巳	荒 武 彦
バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	神 戸 伸 一	宗 像 健 治	岸 昌 彦
ス ポ ー ツ 少 年 団	石 田 義 広		
武 術 太 極 拳	杉 本 田 鶴 子	植 木 正 明	草 野 真 弓
ス ポ ー ツ 吹 矢	佐 伯 裕 一	伊 東 猛	板 倉 素 子
パ ー ク ゴ ル フ	後 藤 實	荻 野 利 夫	徳 田 勝 廣

3 相馬市レクリエーション協会

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	村 上 精 一	監 事	水 谷 修
副会長	宇 佐 見 誠 一	監 事	泉 幸 子
副会長	青 田 治 子	事務局長	渡 辺 英 尊
		会 計	石 田 ハツヨ

団 体 名	理 事	評 議 委 員
	氏 名	氏 名
ア マ チ ュ ア ダ ン ス	村 上 精 一	岡 崎 三 也
		森 節 子
グ ラ ウ ン ド ゴ ル フ	宇佐見 誠 一	岡和田 晴 夫
		刈 宿 オヤマ
ソ フ ト バ レ ー ボ ー ル	伊 東 チエ子	佐 藤 啓 子
		臺 區 恵美子
タ ー ゲ ッ ト バ ー ド ゴ ル フ	宇佐見 誠 一	渡 邊 和 夫
		斉 藤 武 夫
ラ ー ジ ボ ー ル 卓 球	小 泉 直 人	水 谷 修
		荒 木 良 子
パ ー ク ゴ ル フ	後 藤 實	荻 野 利 夫
		菊 地 清 次
ブ レ イ ク ダ ン ス	渡 辺 英 尊	田 代 悦 子
		高 橋 司
レ ク リ エ ー シ ョ ン ク ラ ブ	齋 藤 朋 子	齋 藤 かおる
		伊 東 チエ子
ス ポ ー ツ ウ ェ ル ネ ス 吹 矢	板 倉 素 子	青 田 治 子
		八 巻 宏 子
パ ド ル テ ニ ス	泉 幸 子	上 田 佳 子
		門 馬 良 恵

4 相馬市スポーツ少年団

N O	団 名 称	代表者名	種 目	指 導 者			団 員		
				男	女	計	男	女	計
1	相馬サッカースポーツ少年団	目黒 良	サッカー	2	0	2	16	4	20
2	相馬東部サッカークラブスポーツ少年団	小泉 誠	サッカー	4	0	4	39	2	41
3	相馬FCスポーツ少年団	菅野 和則	サッカー	2	0	2	15	2	17
4	八幡ジュニアバレーボールクラブスポーツ少年団	佐藤 睦	バレーボール	2	1	3	0	9	9
5	磯部白波クラブスポーツ少年団	佐藤 龍也	バレーボール	7	0	7	12	10	22
6	山上JVCスポーツ少年団	島田 光司	バレーボール	2	0	2	1	4	5
7	相馬市少年剣道教室スポーツ少年団	菅谷 孝生	剣道	4	0	4	10	2	12
8	相馬市柔道教室スポーツ少年団	亀岩 正寛	柔道	4	0	4	6	5	11
9	相馬籠球倶楽部スポーツ少年団	横山 弘文	バスケットボール ミニバスケットボール	3	0	3	25	0	25
10	相馬市空手道スポーツ少年団	延原 了英	空手道	2	0	2	11	6	17
11	飯豊みずほバレーボールスポーツ少年団	横山 貴司	バレーボール	2	0	2	0	13	13
12	相馬学童野球クラブスポーツ少年団	志賀 謙寿	軟式野球	2	0	2	19	1	20
13	相馬女子ミニバスケットボールスポーツ少年団	山田 英雄	バスケットボール	4	2	6	0	30	30
14	相馬サッカークラブ	新妻 公夫	サッカー	2	0	2	18	8	26
15	大野ジュニアバレーボールクラブ	佐藤 憲夫	バレーボール	4	0	4	6	8	14
16	相馬キッズボクシングクラブ	船山 剛史	ボクシング	2	0	2	8	2	10
17	相馬STジュニア	佐藤 幸男	ソフトテニス	2	0	2	5	19	24
18	泉武館	荒 崇志	剣道	3	0	3	27	9	36
19	若駒クラブスポーツ少年団	加藤 大輔	バレーボール	1	2	3	8	9	17
20	相馬サザンFCスポーツ少年団	坂本 和夫	サッカー	2	0	2	18	2	20
21	Nexus one	荒 陽子	陸上競技	0	2	2	6	6	12
22	相馬ブラックジャガーズ	赤田 恒二	軟式野球	2	0	2	17	0	17
23	SOMACITY GUNNERS U15	村上 紘一	バスケットボール	2	0	2	16	0	16
24	RISE相馬stc	井上 諭	ソフトテニス	1	1	2	7	7	14
	合 計			61	8	69	290	158	448

※令和7年度登録団体

第 8 参 考



(相馬松川浦全国パークゴルフ大会の様子)

第 8 参 考

1 歴代教育委員

(氏名の前の月日は就任月日、氏名の後の月日は退任月日)

年代	委員長名	委員長職務代理者	委 員 名	教育長名
昭 和 29 年			今野 繁 立谷 勝義 唯野 正雄 八幡 義晃 太田 宗慈	7/11 鈴木 久義
昭 和 30 年			今野 繁 立谷 勝義 唯野 正雄 八幡 義晃 太田 宗慈 5/ 5/ 武澤 蕃知	鈴木 久義
昭 和 31 年	10/1 半谷 虎雄	10/1 荒 利美	今野 繁 9/30 立谷 勝義 9/30 唯野 正雄 9/30 10/1 木村 フミ 八幡 義晃 9/30 10/1 八幡 義晃 武澤 蕃知 9/30	鈴木 久義 9/30 10/1 鈴木 久義
昭 和 32 年	半谷 虎雄	荒 利美	木村 フミ 八幡 義晃 9/30 10/1 小島 重信	鈴木 久義
昭 和 33 年	半谷 虎雄 9/30 10/1 荒 利美	荒 利美 9/30 10/1 小島 重信	小島 重信 9/30 10/1 半谷 虎雄 木村 フミ	鈴木 久義 9/30 10/1 鈴木 久義
昭 和 34 年	荒 利美	小島 重信	半谷 虎雄 木村 フミ 9/30 10/1 佐藤 コウ	鈴木 久義
昭 和 35 年	荒 利美 9/30 10/1 荒 利美	小島 重信	半谷 虎雄 9/30 12/21 八幡 義晃 佐藤 コウ	鈴木 久義
昭 和 36 年	荒 利美	小島 重信 9/30 10/1 小島 重信	佐藤 コウ 八幡 義晃	鈴木 久義
昭 和 37 年	荒 利美	小島 重信	佐藤 コウ 八幡 義晃	鈴木 久義 9/30 10/1 鈴木 久義
昭 和 38 年	荒 利美	小島 重信	佐藤 コウ 9/30 10/1 佐藤 コウ 八幡 義晃	鈴木 久義
昭 和 39 年	荒 利美 4/14 6/6 佐藤 清照 9/30 10/1 小島 重信	小島 重信 9/30 10/1 八幡 義晃 12/20	佐藤 コウ 9/30 10/1 島 六郎 八幡 義晃 9/30 12/21 加藤 政蔵	鈴木 久義 6/2 7/11 澤田 栄
昭 和 40 年	小島 重信 9/30 10/1 島 六郎	1/26 島 六郎 9/30 10/1 佐藤 コウ	島 六郎 1/25 10/1 伏見 忠亀 佐藤 コウ 9/30 加藤 政蔵	澤田 栄
昭 和 41 年	島 六郎	佐藤 コウ	加藤 政蔵 伏見 忠亀	澤田 栄 9/30 10/1 澤田 栄
昭 和 42 年	島 六郎 9/30 10/1 加藤 政蔵	佐藤 コウ 8/11 8/12 加藤 政蔵 9/30 10/1 伏見 忠亀	佐藤 コウ 9/30 10/1 木村 フミ 加藤 政蔵 8/11 伏見 忠亀 9/30 10/1 大谷 明	澤田 栄
昭 和 43 年	加藤 政蔵 12/20 12/21 加藤 政蔵	伏見 忠亀	木村 フミ 大谷 明 9/30 10/1 大谷 明	澤田 栄
昭 和 44 年	加藤 政蔵 12/8 12/9 大谷 明	伏見 忠亀 9/30 10/1 大谷 明 12/8 12/9 石橋 仁	10/1 石橋仁 12/8 12/9 加藤 政蔵 大谷 明 9/30 木村 フミ	澤田 栄
昭 和 45 年	大谷 明	石橋 仁	加藤 政蔵 木村 フミ	澤田 栄 9/30 10/1 澤田 栄
昭 和 46 年	大谷 明	石橋 仁	加藤 政蔵 木村 フミ 9/30 10/1 佐藤 義雄	澤田 栄
昭 和 47 年	大谷 明 9/30 10/1 大谷 明	石橋 仁	加藤 政蔵 12/20 12/21 加藤政蔵 佐藤 義雄	澤田 栄
昭 和 48 年	大谷 明	石橋 仁 9/30 10/1 佐藤 義雄	佐藤 義雄 9/30 10/1 豊田ミネ 加藤 政蔵	澤田 栄
昭 和 49 年	大谷 明	佐藤 義雄 9/30 10/1 荒木 英一	加藤 政蔵 豊田 ミネ	澤田 栄 9/30 10/1 佐藤 義雄

年代	委員長名	委員長職務代理者	委 員 名	教育長名
昭 和 50 年	大谷 明	荒木 英一	加藤 政蔵 豊田 ミネ	佐藤 義雄 9/30 10/1 佐藤 義雄
昭 和 51 年	大谷 明 9/30 10/1 大谷 明	荒木 英一 9/30 10/1 豊田 ミネ	豊田 ミネ 9/30 10/1 荒木 英一 加藤 政蔵 12/20 12/21 加藤政蔵	佐藤 義雄
昭 和 52 年	大谷 明	豊田 ミネ 9/30 10/1 荒木 英一	荒木 英一 9/30 10/1 豊田 ミネ 加藤 政蔵	佐藤 義雄
昭 和 53 年	大谷 明	荒木 英一 9/30 10/1 豊田 ミネ	豊田 ミネ 9/30 加藤 政蔵	佐藤 義雄
昭 和 54 年	大谷 明 9/30 10/1 加藤 政蔵	豊田 ミネ	加藤 政蔵 9/30 10/1 鈴木 隆勲 10/1 渡辺 正雄	佐藤 義雄 9/30 10/1 大谷 明
昭 和 55 年	加藤 政蔵 12/20 12/24 鈴木 隆勲	豊田 ミネ	12/21 荒 恒幸 鈴木隆勲 12/23 渡辺 正雄 12/23	大谷 明 9/30 10/1 大谷 明
昭 和 56 年	鈴木 隆勲 12/23 12/24 渡辺 正雄	豊田 ミネ 9/30 10/1 渡辺 正雄 12/23 12/24 荒 恒幸	渡辺 正雄 9/30 10/1 佐伯 言子 荒 恒幸 12/23 12/24 鈴木 隆勲	大谷 明
昭 和 57 年	渡辺 正雄 12/23 12/24 荒 恒幸	荒 恒幸 12/23 12/24 佐伯 言子	鈴木 隆勲 佐伯言子 12/23 12/24 渡辺 正雄	大谷 明
昭 和 58 年	荒 恒幸	佐伯 言子	鈴木 隆勲 9/30 10/1 鈴木 隆勲 渡辺 正雄 9/30 10/1 渡辺 正雄	大谷 明
昭 和 59 年	荒 恒幸 12/20	佐伯 言子	鈴木 隆勲 渡辺 正雄 12/21 荒 恒幸	大谷 明 9/30
昭 和 60 年	1/8 佐伯 言子 9/30 10/1 荒 恒幸	佐伯 言子 1/7 1/8 鈴木 隆勲	荒 恒幸 9/30 10/1 佐伯 言子 鈴木 隆勲 1/7 1/5 阿部 智義 1/7 渡辺 正雄	1/8 阿部 智義
昭 和 61 年	荒 恒幸	鈴木 隆勲	渡辺 正雄 佐伯 言子	阿部 智義
昭 和 62 年	荒 恒幸	鈴木 隆勲 9/30 10/1 佐伯 言子	佐伯 言子 9/30 10/1 園部 淳 渡辺 正雄 9/30 10/1 天野 淳乗	阿部 智義
昭 和 63 年	荒 恒幸 12/20 12/23 佐伯 言子	佐伯 言子 12/22 12/23 園部 淳	天野 淳乗 12/21 高橋 俊雄 園部 淳 12/22	阿部 智義
平 成 元 年	佐伯 言子 9/30 10/2 園部 淳	園部 淳 10/1 10/2 天野 淳乗	天野 淳乗 9/30 10/1 永井 清美 高橋 俊雄	阿部 智義 1/4 1/5 阿部 智義
平 成 2 年	園部 淳	天野 淳乗	高橋 俊雄 永井 清美	阿部 智義 4/9 4/10 佐藤 栄
平 成 3 年	園部 淳 9/30 10/1 園部 淳	天野 淳乗 9/30 10/1 天野 淳乗	高橋 俊雄 永井 清美	佐藤 栄
平 成 4 年	園部 淳	天野 淳乗	高橋 俊雄 12/20 12/21 荒 恒幸 永井 清美	佐藤 栄
平 成 5 年	園部 淳 9/30 10/1 天野 淳乗	天野 淳乗 9/30 10/1 永井 清美	永井 清美 9/30 10/1 園部 淳 荒 恒幸	佐藤 栄 1/4 1/5 佐藤 栄
平 成 6 年	天野 淳乗 9/30 10/1 天野 淳乗	永井 清美	園部 淳 荒 恒幸	佐藤 栄
平 成 7 年	天野 淳乗 6/30 7/1 永井 清美	永井 清美 6/30 7/1 荒 恒幸	天野 淳乗 9/30 10/1 椎谷 節子 荒 恒幸 6/30 園部 淳 9/30 10/1 岩本 勝博	佐藤 栄
平 成 8 年	永井 清美	荒 恒幸 12/20 12/21 岩本 勝博	岩本 勝博 12/20 12/21 山崎 嘉明	佐藤 栄
平 成 9 年	永井 清美 2/28 3/1 岩本 勝博	岩本 勝博 2/28 3/1 椎谷 節子	3/18 菊地 信子 9/30 10/1 菊地 信子	佐藤 栄 1/4 1/5 武田 昭

年代	委員長名	委員長職務代理者	委 員 名	教育長名
平成 10 年	岩本 勝博	椎谷 節子	山崎 嘉明 菊地 信子	武田 昭
平成 11 年	岩本 勝博 9/30 10/1 岩本 勝博	椎谷 節子 9/30 10/1 椎谷 節子	山崎 嘉明 菊地 信子	武田 昭
平成 12 年	岩本 勝博 9/30 10/1 椎谷 節子	椎谷 節子 9/30 10/1 山崎 嘉明 12/20 12/21 山崎 嘉明	山崎 嘉明 9/30 10/1 岩本 勝博 菊地 信子	武田 昭
平成 13 年	椎谷 節子 9/30 10/1 岩本 勝博	山崎 嘉明	菊地 信子 9/30 10/1 菊地 信子 岩本 勝博 9/30 10/1 椎谷 節子	武田 昭 1/4 1/5 武田 昭
平成 14 年	岩本 勝博	山崎 嘉明	椎谷 節子 菊地 信子	武田 昭 1/18 4/1 佐藤 利郎
平成 15 年	岩本 勝博 9/30 10/1 山崎 嘉明	山崎 嘉明 9/30 10/1 菊地 信子	椎谷 節子 9/30 10/1 太田 雅利 菊地 信子 9/30 10/1 安良 紀男	佐藤 利郎
平成 16 年	山崎 嘉明 9/30 10/1 菊地 信子	菊地 信子 9/30 10/1 安良 紀男	安良 紀男 9/30 太田 雅利 10/1 山崎 嘉明 12/20 12/21 小畑強子	佐藤 利郎
平成 17 年	菊地 信子 9/30 10/1 安良 紀男	安良 紀男 9/30 10/1 太田 雅利	太田 雅利 9/30 10/1 倉本まり子 小畑 強子	佐藤 利郎 1/4 1/5 佐藤 利郎
平成 18 年	安良 紀男	太田 雅利	小畑 強子 倉本まり子	佐藤 利郎
平成 19 年	安良 紀男 9/30 10/1 太田 雅利	太田 雅利 9/30 10/1 小畑 強子	倉本まり子 10/1 安良 紀男	佐藤 利郎
平成 20 年	太田 雅利	小畑 強子	安良 紀男 7/1 松本 光典 倉本まり子	佐藤 利郎
平成 21 年	太田 雅利 9/30 10/1 小畑 強子	小畑 強子 9/30 10/1 倉本まり子	安良 紀男 松本 光典 10/1 太田 雅利 倉本まり子 9/30	佐藤 利郎 1/4 1/5 植田 守
平成 22 年	小畑 強子	倉本まり子	太田 雅利 松本 光典 4/1 山田 耕一郎	植田 守 2/15 2/16 安良 紀男
平成 23 年	小畑 強子	倉本まり子	松本 光典 太田 雅利 9/30 10/1 太田 孝泰 10/1 宗形 明子	安良 紀男 9/30 10/1 山田 耕一郎
平成 24 年	小畑 強子 9/30 10/1 倉本まり子	倉本まり子 9/30 10/1 松本 光典	10/1 小畑 強子 松本 光典 9/30 太田 孝泰 宗形 明子	山田 耕一郎 9/20 10/22 堀川 利夫
平成 25 年	倉本まり子 9/30 10/1 太田 孝泰	松本 光典 9/30 10/1 宗形 明子	小畑 強子 太田 孝泰 9/30 宗形 明子 9/30 10/1 松本 光典 10/31 森 陽子	堀川 利夫 1/4 1/5 堀川 利夫
平成 26 年	太田 孝泰 9/30 10/1 宗形 明子	宗形 明子 9/30 10/1 太田 孝泰	小畑 強子 森 陽子 松本 光典	堀川 利夫
平成 27 年	宗形 明子	太田 孝泰 9/30 10/1 小畑 強子	小畑 強子 9/30 森 陽子 松本 光典 2/2 4/1 関根 進 10/1 菅野 明彦	堀川 利夫
平成 28 年	宗形 明子	小畑 強子 12/20	森 陽子 関根 進 菅野 明彦	堀川 利夫
平成 29 年	宗形 明子 1/4		森 陽子 関根 進 菅野 明彦	堀川 利夫 1/4

※平成29年1月5日から新制度に移行

年代	教育長	教育長職務代理者	委 員 名	備 考
平成 29 年	1/5 堀川 利夫	1/5 宗形 明子	森 陽子 関根 進 菅野 明彦	新制度移行
平成 30 年	堀川 利夫	宗形 明子	森 陽子 関根 進 菅野 明彦	
令和 元年	堀川 利夫	宗形 明子	森 陽子 関根 進 菅野 明彦	
令和 2 年	堀川 利夫 4/9 4/27 福地 憲司	宗形 明子	森 陽子 関根 進 菅野 明彦	
令和 3 年	福地 憲司	宗形 明子	森 陽子 関根 進 菅野 明彦	
令和 4 年	福地 憲司	宗形 明子	森 陽子 関根 進 菅野 明彦	
令和 5 年	福地 憲司 1/4 1/5 福地 憲司	宗形 明子	森 陽子 関根 進 菅野 明彦	
令和 6 年	福地 憲司	宗形 明子	森 陽子 関根 進 菅野 明彦	
令和 7 年	福地 憲司 3/31 4/1 福地 裕之	宗形 明子	森 陽子 関根 進 菅野 明彦	
令和 8 年	福地 裕之 1/4 1/5 福地 裕之	宗形 明子	森 陽子 関根 進 菅野 明彦	

- 昭和29. 3月 相馬市制施行
1町7村（中村町、大野村、飯豊村、八幡村、日立木村、磯部村、山上村、玉野村）
- 12月 公民館運営審議会発足
30. 8月 中村第二小学校校舎改築
31. 4月 中村第三小学校開設（中村第一小学校から分離）
4月 磯部中学校給食開始
5月 磯部中学校教室増築
5月 中村第二中学校図書館増築
6月 玉野中学校校舎改築
7月 桜丘小学校と改称（中村第三小学校）
32. 5月 中村第二中学校柔道場完成
10月 日立木小学校完全給食開始
33. 2月 桜丘小学校校舎完成
9月 体育協会発足
34. 4月 山上小学校小田原分校廃止
4月 中村第一小学校・山上小学校完全給食開始
4月 中村第一中学校に特殊学級新設
35. 1月 八幡小学校北校舎改築
1月 玉野中学校体育館完成
3月 大野小学校校舎完成
4月 玉野教職員住宅移転
10月 桜丘小学校体育館完成
12月 玉野小・中学校体育館完成
36. 3月 八幡小学校完全給食開始
3月 中村第三中学校（現・向陽中学校）認可
3月 中村第二中学校教室増築
3月 社会教育委員設置
37. 3月 桜丘小学校完全給食開始
3月 磯部小学校校舎改築
3月 磯部中学校給食調理室完成
7月 向陽中学校校舎1期工事完成
8月 中村第一中学校から向陽中学校へ生徒一部移転
8月 大野中学校から中村第一中学校へ生徒全員移転
9月 中村第二中学校技術室完成
38. 1月 体育指導委員設置
2月 磯部小・中学校体育館完成
3月 向陽中学校校舎2期工事完成
4月 中村第二小学校焼失
4月 大野中学校を中村第一中学校へ統合
5月 向陽中学校へ飯豊校舎・山上校舎の生徒を移転
10月 飯豊小学校現在地へ移転（旧、飯豊中学校跡地）
39. 2月 中村第二小学校体育館完成
3月 中村第二小学校校舎完成
3月 玉野中学校完全給食開始
3月 向陽中学校へ宇多校舎の生徒を移転し、完全統合
40. 2月 山上小学校体育館完成
3月 磯部小学校校舎増築
3月 向陽中学校体育館・音楽室完成
4月 飯豊小学校給食調理室完成
4月 中村第二中学校完全給食開始
41. 2月 玉野教職員住宅増築
2月 玉野小・中学校体育館増築
2月 第1回市民体育大会実施
42. 2月 中村第一小学校体育館完成
3月 市民会館完成
4月 「相馬市民の歌」制定
8月 桜丘小学校プール完成
11月 向陽中学校体育用具室完成
43. 4月 大野幼稚園開設
4月 スポーツ少年団発足
43. 7月 八幡小学校プール完成
10月 青少年問題協議会設置
44. 3月 相馬市史4発刊
4月 八幡幼稚園・山上幼稚園開設
4月 桜丘・磯部小学校特殊学級設置
4月 交通安全教育センター開設
7月 少年センター開設
10月 向陽中学校用務員室完成
45. 4月 日立木幼稚園開設
4月 向陽中学校特殊学級設置
7月 飯豊小学校プール完成
46. 3月 山上小学校中井塚分校廃止
4月 スクールバス運行開始
4月 養護学校開設（仮校舎・中村第一中学校）
4月 玉野幼稚園開設
5月 中村第一小学校校舎完成
7月 向陽中学校プール完成
10月 中村第二中学校校舎焼失
12月 相馬市史5発刊
47. 3月 日立木小学校校舎完成
3月 養護学校校舎1期工事完成
3月 勤労者体育センター完成（川沼体育館）
4月 飯豊幼稚園・磯部幼稚園開設
4月 養護学校校舎へ移転
7月 中村第二中学校校舎1期工事完成
9月 日立木幼稚園園舎移転
48. 2月 市役所庁舎焼失
3月 日立木小学校体育館完成
3月 中村第二中学校校舎2期工事完成
3月 養護学校校舎2期工事完成
7月 大野小学校簡易プール完成
7月 玉野小・中学校プール完成
8月 教育文化センター博物館完成
49. 1月 八幡小学校体育館完成
3月 養護学校校舎3期工事完成
4月 社会教育指導員設置
5月 中村第二中学校校舎3期工事完成
7月 日立木小学校・山上小学校プール完成
7月 教育文化センター博物館開館
9月 文化団体連絡協議会発足
50. 3月 相馬市史3発刊
4月 日立木小学校校庭拡張
7月 中村第二小学校プール完成
8月 養護学校校庭遊具設置
51. 3月 「相馬市民憲章」「相馬市の木・鳥・花」制定
3月 相馬市史6発刊
7月 磯部小学校簡易プール完成
53. 3月 中村第一中学校現校舎完成
3月 文化財保護審議会設置
8月 全国高校総合体育大会・第30回全日本高校女子ソフトボール選手権大会開催
9月 中村第一中学校音楽室完成
11月 現玉野公民館完成
11月 市民会館内に図書館設置
12月 相馬市史2発刊
54. 3月 スクールバス一部廃止（山上小・向陽中分）
3月 桜丘小学校校舎増築
3月 磯部公民館完成
4月 向陽中学校完全給食開始
4月 第1回市民歩け歩け大会実施
8月 中村第一中学校東校舎完成

- 54. 11月 中村第一中学校北校舎・給食調理室完成
- 12月 中村第一中学校全生徒移転
- 55. 3月 日立木公民館完成
- 3月 長友グラウンド夜間照明設置
- 5月 玉野小学校機械警備開始
- 12月 相馬港テニスコート完成
- 56. 3月 中村第一中学校体育館完成
- 7月 磯部小学校プール改修
- 57. 3月 磯部中学校校舎完成
- 3月 図書館新築工事完成
- 3月 共同福祉施設完成(コミュニティセンター)
- 4月 松川浦荘体育館完成
(相馬市松川浦スポーツセンター体育館)
- 11月 磯部中学校給食調理室完成
- 58. 2月 大野小学校体育館完成
- 2月 磯部中学校体育館完成
- 3月 玉野中学校職員住宅(校長用)改築
- 4月 中村第二中学校体育館焼失
- 4月 図書館協議会発足
- 8月 大樹町・豊頃町親善使節団交流開始
- 9月 相馬市史1発刊
- 59. 1月 中村第二中学校体育館完成
- 1月 玉野幼稚園園舎完成
- 3月 中村第二中学校武道館完成
- 3月 玉野小学校職員住宅(校長用)改築
- 3月 市民プール完成
- 60. 2月 玉野小学校校舎完成
- 4月 図書館内に「本の読み聞かせボランティア」発足
- 7月 玉野小学校プール完成
- 7月 市民プール開設
- 12月 磯部中学校物置完成
- 61. 1月 飯豊幼稚園園舎完成
- 3月 山上小学校校舎・給食調理室完成
- 3月 中村第一中学校技術室完成
- 9月 青少年健全育成市民会議設立
- 12月 山上幼稚園園舎完成
- 62. 2月 玉野小・中学校給食調理室完成
- 10月 八幡公民館焼失
- 12月 八幡幼稚園園舎完成
- 63. 3月 八幡公民館完成
- 平成元. 3月 飯豊小学校校舎完成
- 2. 7月 英語指導助手配置
- 3. 3月 桜丘小学校校舎完成
- 3月 日立木幼稚園園舎完成
- 4. 1月 二の丸グラウンド夜間照明設置
- 6月 中村城跡大手門倒壊
- 8月 図書館に視聴覚機器(VTR, CD)を設置
- 5. 2月 磯部幼稚園園舎改築完成
- 2月 大野公民館完成
- 3月 八幡小学校校舎完成
- 7月 中村城跡大手門再建
- 6. 2月 飯豊公民館完成
- 3月 大野幼稚園園舎完成
- 8月 大野小学校校舎完成
- 7. 3月 山上公民館完成
- 4月 生涯学習推進本部設置
- 10月 第50回国民体育大会ソフトボール競技開催
- 11月 第1回松川浦大橋ふれあいマラソン大会開催
- 8. 3月 磯部小学校校舎完成
- 3月 中村第二中学校体育館物置完成
- 3月 向陽中学校給食調理室改修

- 3月 生涯学習振興計画策定
- 9. 4月 市民ギャラリー開設
- 10. 2月 向陽中学校「心の相談員」配置
- 10月 中村第二小学校校舎完成
- 10月 スポーツアリーナそうま完成、三道会館解体
- 11. 3月 養護学校給食調理室全面改修(ドライ方式)
- 8月 中村第一小学校給食調理室全面改修(ドライ方式)
- 10月 黒木多目的広場完成
- 11月 松川浦パークゴルフ場開場
- 12月 中村第二小学校体育館完成
- 12. 4月 養護学校高等部開設
- 4月 適応指導教室(ふれあい広場)発足
- 8月 中村第二小学校プール完成
- 13. 4月 事務局体制二部制(教育部、生涯学習部)
- 4月 少年センターが教育委員会へ移管
- 4月 中村第二小学校児童クラブ開設(中村第二小学校内)
- 8月 中村第二中学校給食調理室全面改修(ドライ方式)
- 9月 日立木小学校給食調理室全面改修(ドライ方式)
- 11月 東部公民館完成
- 12月 松川浦パークゴルフ場 さくらコースオープン
- 14. 4月 預かり保育開始(日立木幼稚園・八幡幼稚園)
- 4月 飯豊小学校児童クラブ開設(飯豊幼稚園内)
- 4月 桜丘小学校へ「心の相談員」配置
- 5月 図書館ボランティアの受け入れを開始
- 7月 向陽中学校校舎改築工事起工
- 7月 レクリエーション協会発足
- 8月 中村第一中学校給食調理室全面改修(ドライ方式)
- 12月 そうま男女共生プラン21発刊
- 15. 4月 事務局に生涯学習部スポーツ振興課を新設
- 4月 松川浦スポーツセンター開設
(松川浦荘体育館と野球場を市に移管、
松川浦パークゴルフ場と併設)
- 4月 川沼体育館開設(勤労者体育センターを市に移管)
- 4月 コミュニティセンター開設
(相馬共同福祉施設を市に移管)
- 4月 角田公園テニスコート開設
- 4月 大野小学校児童クラブ開設(大野小学校内)
- 4月 預かり保育開始
(大野幼稚園・飯豊幼稚園・山上幼稚園)
- 5月 相馬市史編さん委員会設置
- 6月 現向陽中学校舎改築完成
- 7月 向陽中学校舎解体
- 7月 生涯学習ボランティア登録開始
- 16. 3月 市民ギャラリーを廃止
- 3月 市民会館分館を市役所分庁舎に移管
- 4月 図書館が相馬駅前「振興ビル」内に移転
- 4月 市単独小学校英語活動支援員配置
- 4月 中央公民館が独立設置
(市民会館分館から図書館跡地へ)
- 4月 生涯学習会館を新設
(地域振興整備公団相馬開発所跡地へ)
- 4月 長友グラウンド、二の丸球場、相馬東
グラウンドがスポーツ振興課に管理移管
- 4月 預かり保育開始(磯部幼稚園)
- 4月 第1回相馬市中学校総合体育大会実施
- 16. 8月 教育研究実践センターを新設
(福島県方法務局相馬支局跡地へ)
- 9月 向陽中学校屋内運動場改築工事起工
- 10月 松川浦スポーツセンター 相撲道場オープン

- 17. 8月 向陽中学校屋内運動場完成・屋内運動場解体
- 9月 第1回相馬市小学校相撲大会実施
- 10月 振興ビル7階に市民ギャラリー開設
- 18. 4月 学校教育課に指導主事1名増員
- 4月 市史編さん室設置
- 4月 子どもと親の相談員設置
- 6月 市教委による授業研究中心の学校訪問開始
- 9月 飯豊小学校屋内運動場改築工事起工
- 10月 相馬市中高学力向上対策協議会設置
- 3月 第1回相馬市小中学生学力コンテスト表彰式
- 19. 1月 市単独非常勤講師配置
- 4月 光陽パークゴルフ場(6コース、54ホール)供用開始
- 4月 光陽ソフトボール場(4面)供用開始
- 7月 飯豊小学校屋内運動場改築工事完成
- 20. 4月 相馬市歴史民俗資料館設置
(教育文化センター博物館の名称変更)
- 4月 心がふれあう相談員配置
- 4月 特別支援教育支援員配置
- 7月 教育委員6名体制
- 7月 学校耐震診断調査結果公表(第1回目)
- 11月 「平成19年度教育委員会の主な事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書」を議会報告と市民へ公表
- 21. 6月 学校耐震診断調査結果公表(第2回目)
- 10月 日立木小学校校舎耐震補強工事完成
- 12月 学校耐震診断調査結果公表(第3回目)
- 12月 光陽パークゴルフ場管理棟(食堂棟)増設工事完成
- 22. 2月 中村第一中学校本校舎耐震補強工事完成
- 3月 中村第一中学校音楽棟耐震補強工事完成
- 3月 中村第一小学校校舎改築工事起工
- 4月 福島県立相馬養護学校開校
(相馬市立養護学校の県立移管)
- 8月 日立木小学校屋内運動場耐震補強工事完成
- 8月 中村第一小学校屋内運動場耐震補強工事完成
- 10月 相馬光陽多目的交流広場(わいわい広場)完成
- 10月 第16回全国報徳サミット相馬大会開催
- 11月 八幡小学校屋内運動場耐震補強工事完成
- 23. 2月 相馬市教育振興基本計画策定
- 2月 中村第一小学校校舎改築完成
- 3月 3月11日東日本大震災により教育施設に甚大な被害
- 4月 相馬フォロアーチームによる心のケア事業開始
- 5月 光陽パークゴルフ場(3コース、27ホール)供用開始
- 5月 相馬市立小中学校グラウンド表土剥ぎ業務施工
- 7月 光陽サッカー場(4面)供用開始
- 8月 相馬フォロアーチームが特定非営利活動法人となる
- 9月 相馬市教育復興子育て基金条例の制定
- 9月 相馬市立小中学校グラウンド表土剥ぎ業務竣工
- 10月 東日本大震災に伴う相馬市立幼稚園保育料の減免実施
- 11月 相馬の子どもが考える東日本大震災発表会の開催
相馬市立玉野幼稚園休園
- 24. 3月 被災中学校(中村二中、磯部中)に
アイパッド導入
- 3月 馬陵公園トイレ完成
- 3月 角田公園テニスコート増設(7.8コート)
- 4月 松川浦パークゴルフ場はまなすコースオープン

- 24. 4月 緊急雇用対策事業により小中学校にICT
支援員、学力向上講師、図書整理員、事務
支援員を配置
- 5月 一般社団法人エル・システムジャパンと
「音楽による生きる力をはぐくむ事業」の
ための協定を締結
- 5月 桜丘小学校校舎災害復旧工事完成
- 5月 飯豊小学校校舎災害復旧工事完成
- 6月 仮設住宅における寺子屋事業実施
- 7月 学力向上のための特色ある学校づくり事業
実施
- 7月 新市民会館建設工事起工
- 8月 相馬市立小中学校敷地内除染業務起工
- 9月 中村第一小学校外構工事完成
- 10月 山上小学校屋内運動場改築工事完成
- 10月 相馬市教育実践センタートイレ増設工
事完成
- 11月 中村第一小学校防球ネット設置工事完成
- 12月 大野小学校校舎災害復旧工事完成
- 12月 市民会館を会場にエル・システムジャパン
クリスマスコンサート開催
- 25. 1月 磯部小学校屋内運動場解体
- 1月 中学生を対象にした東京大学医科学研究所
上教授による放射線教育講演会を開催
- 3月 山上小第二グラウンド表土剥ぎ業務起工
- 3月 山上小学校屋内運動場解体
- 3月 中村第二小学校校舎・屋内運動場災害復旧
工事完成
- 3月 中村第一小学校屋内運動場災害復旧工事完
成
- 3月 向陽中学校校舎・屋内運動場災害復旧工事
完成
- 3月 山上小第二グラウンド表土剥ぎ業務竣工
- 4月 緊急雇用対策事業により幼稚園・小中学校
に教育支援員を配置
- 4月 磯部小学校屋内運動場起工式
- 4月 LVMH子どもアートメゾン建設工事起工式
- 4月 相馬市立小学校プール除染業務委託起工
- 5月 教育復興子育て基金により生涯学習会館で
中学生を対象に学力向上支援事業を開始
- 6月 歴史資料収蔵館建設工事起工
- 6月 相馬市立小中学校敷地内除染業務起工
- 7月 磯部コミュニティセンター建築工事完成
- 7月 市民会館解体工事完成
- 7月 相馬市立小学校プール除染業務委託竣工
- 9月 相馬市民会館建設工事完成
- 9月 桜丘小学校屋内運動場改築工事完成
- 10月 相馬光陽サッカー場リニューアル
(FIFA・JFA支援)
- 26. 2月 磯部小学校屋内運動場改築工事完成
- 5月 相馬光陽サッカー場夜間照明利用開始
- 7月 LVMH子どもアート・メゾン完成
- 7月 歴史資料収蔵館・郷土蔵建設工事完成
- 8月 小・中学校、幼稚園の全教室に扇風機設置
全校の保健室にエアコン設置
- 10月 相馬光陽ソフトボール場リニューアル
- 10月 第1回市町村対抗福島県ソフトボール大会
の開催
- 12月 相馬こどもドーム寄贈
(屋内スポーツ施設建設募金団体)

27. 2月 中央公民館（千客万来館）完成 28. 3月 中村第一中学校屋内運動場改修工事完了 （大規模改修・太陽光発電設置工事） 3月 新市民プール建設工事起工式 4月 小・中学校でのキャリア教育開始 4月 小学校における英語教育開始 4月 田代駒焼登窯活用のため土地取得 6月 玉野幼稚園、玉野小学校、玉野中学校を廃止する条例改正案が議決 10月 市役所新庁舎落成 29. 3月 玉野幼稚園・小学校・中学校閉校式 3月 初代栃東関優勝額修復作業完了 3月 小中学校グラウンド埋設放射線汚染土砂搬出完了 3月 山上幼稚園休園 4月 田代駒焼登窯登り窯上屋完成 5月 新市民プール営業開始 11月 旧市民プール解体 12月 中村第一中学校トイレ洋式化工事完了 30. 3月 磯部小学校プール解体工事完了 3月 磯部幼稚園休園 3月 角田公園テニスコート夜間照明増設（7.8コート） 3月 松川浦パークゴルフ場スプリンクラー増設（はまなすコース） 3月 光陽パークゴルフ場アテスト棟完成 4月 市内小・中学校給食費無料化実施 7月 山上小学校校舎大規模改修工事完了 10月 八幡小・飯豊小空調機設置工事（普通教室）完了 11月 中一小・中一中・向陽中空調機設置工事（普通教室）完了 11月 大野小・桜丘小トイレ洋式化工事完了 12月 中村第二中学校校舎改築工事完了 31. 3月 磯部小学校プール改築工事完了 3月 中村第二中学校旧校舎解体工事完了 令和元. 6月 大野小・磯部小・磯部中空調機設置工事（普通教室）完了 7月 桜丘小・中二小空調機設置工事（普通教室）完了 10月 令和元年東日本台風災害により、生涯学習施設に甚大な被害 2. 3月 飯豊小・八幡小トイレ洋式化工事完了 4月 スポーツアリーナそうま第二体育館オープン 6月 相馬支援学校旧校舎を県から管理移管 7月 相馬市尾浜ビーチバレーボール場オープン 8月 日立木小校舎長寿命化改修工事完了 3. 2月 磯部小・磯部中トイレ洋式化工事完了 2月 13日福島県沖地震、教育委員会施設に甚大な被害 3月 中二小・向陽中トイレ洋式化工事完了 各学校GIGAスクール対応情報設備改修工事完了 4月 LVMH子どもアート・メゾン再開 4. 3月 16日福島県沖地震、教育委員会施設に甚大な被害 11月 第27回全国報徳サミット相馬市大会開催 5. 2月 第75回優良公民館表彰受賞 3月 令和3年2月発生の福島県沖地震により被害を受けた教育委員会施設の復旧工事完了	5. 3月 相馬市教育振興基本計画2023策定 7月 旧玉野小学校及び旧玉野中学校の敷地及び建物を普通財産に用途変更し、市財政課に所管替え 7月 令和3年2月福島県沖地震以降、休館していた歴史資料収蔵館が再開 6. 4月 令和4年3月発生の福島県沖地震により被害を受けた教育委員会施設の復旧工事完了 9月 日立木小学校屋内運動場照明LED改修工事完了 12月 向陽中学校屋内運動場照明LED改修工事完了 12月 磯部中学校の位置を変更する条例改正案が可決 7. 3月 市史編さん事業終了に伴い市史編さん室を閉室 4月 磯部中学校が磯部小学校校舎を使用して学校活動を開始 4月 少年センターを市長部局に移管 11月 飯豊幼稚園園舎LED改修工事完了 11月 桜丘小学校校舎LED改修工事完了 12月 中村第一中学校校舎LED改修工事完了 12月 八幡幼稚園園舎LED改修工事完了 2月 飯豊小学校校舎LED改修工事完了 2月 日立木小学校プール解体工事完了 8. 3月 日立木幼稚園休園
---	---

令和８年度 相馬市の教育

発行者 相馬市教育委員会

住 所 〒976-8601

福島県相馬市中村字北町 63 番地の 3

電 話 0244-37-2183

FAX 0244-37-2617

メール ky-somu@city.soma.lg.jp